

川原湯中原Ⅲ遺跡

八ッ場ダム建設工事に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書第57集



2018

国 土 交 通 省
公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

川原湯中原Ⅲ遺跡

八ッ場ダム建設工事に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書第57集

2018

国 土 交 通 省
公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団



遺跡遠景(西上空から)



遺跡全景(北から)

序

八ッ場ダムは、利水・治水・発電を行う多目的ダムとして吾妻川の中流に計画され、現在は吾妻郡長野原町を中心に工事が進められています。この建設工事に伴う埋蔵文化財の発掘調査は、当事業団が平成6年度から実施しており、本年度で24年目を迎えています。

川原湯中原Ⅲ遺跡は平成6年度に調査が実施され、調査の結果、縄文時代から近世にかけての遺構、遺物が数多く検出されました。

今回は縄文時代と平安時代、それに中近世の遺構と遺物に関する報告をまとめる事が出来ました。特徴的な遺構、遺物としては、縄文時代の居住の跡や、平安時代やそれ以後の時期の狩猟のために掘削された数多くの陥し穴が注目されます。これにより、様々な資料を提供することで、この地域における生業を考える上で重要な発見となりました。

更に、この地が吾妻川流域における居住域として、古くから利用されていたことを示す発見となりました。

発掘調査から報告書刊行に至るまで、国土交通省八ッ場ダム工事事務所、群馬県教育委員会、ならびに長野原町教育委員会をはじめとする関係機関や、地元関係者の皆様には、多大なるご支援、ご協力を賜りました。本報告書を上梓するにあたり、衷心より感謝申し上げます。

本書が長野原町、吾妻郡、ひいては群馬県における歴史研究の新たな資料として活用されることを願い序といたします。

平成30年3月

公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

理事長 中野 三智男

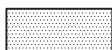
例 言

- 1 本書は、平成28年度の八ッ場(やんば)ダム建設工事に伴う川原湯中原Ⅲ(かわらゆなかはら さん)遺跡の発掘調査報告書である。
- 2 今回の発掘調査の範囲は、群馬県吾妻郡長野原町大字川原湯 197、198-1、198-2、200番地である。
本遺跡の名称は、長野原町教育委員会が実施した分布調査報告書『長野原町の遺跡』1990 に基づく。
(遺跡 I D1347、県文化財システム遺跡番号 長野原町0019、八ッ場ダム関係埋蔵文化財遺跡番号 YD2-04)
- 3 発掘調査は、国土交通省関東地方整備局からの委託により、公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団が実施した。
本遺跡の発掘調査時の組織体制は次の通りである。
期 間 平成28年 8月 1日～平成28年 9月30日
面 積 3,842㎡
調査担当 麻生敏隆(上席専門員・調査統括)・黒田 晃(主任調査研究員)
- 4 発掘資料の整理および報告書の作成は、国土交通省関東地方整備局からの委託により、公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団が実施した。整理・報告書の作成期間・体制は次の通りである。
期 間 平成30年 2月 1日～平成30年 3月31日
編 集 麻生敏隆
遺構写真 麻生敏隆・黒田 晃 遺物写真 麻生敏隆 遺物観察 麻生敏隆
写真図版作成 齊田智彦・デジタル班 保存処理 関 邦一・板垣泰之
- 5 本遺跡の発掘調査、及び整理作業については、下記の機関に協力を頂いた。
埋蔵文化財遺跡掘削工事 歴史の杜・吉澤建設・南波建設吾妻地区埋蔵文化財遺跡掘削工事経常共同企業体
遺構測量 株式会社測研 石器実測・トレース シン技術コンサル株式会社
- 6 石材同定にあたっては飯島静男氏(群馬地質研究会)にご教示を得た。
- 7 出土遺物および遺構・遺物の図面・写真類は、一括して群馬県埋蔵文化財センターで保管の予定である。
- 8 本遺跡に関して、本報告以前にその概要が収録・公表されたのは下記の書籍である。
『年報36』 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 2017、『遺跡は今25』 八ッ場ダム調査事務所 2017
- 9 発掘調査および本書の作成にあたり、下記の諸氏よりご協力・ご助言を得た。記して感謝の意を表したい。(敬称略)
国土交通省八ッ場ダム工事事務所 群馬県教育委員会 長野原町教育委員会 白石光男 富田孝彦 川原湯区

凡 例

- 1 本書で使用した国家座標は、日本測地系によるものである。本調査ではその数値をそのままグリッドとして使用した。
- 2 本書における遺構番号は算用数字で、調査時に付されたものをそのまま使用した。
- 3 遺構図・遺物図の縮尺は、原則として以下の通りである。縮尺の異なるものが併載される場合は、それぞれにスケールを付すか、遺物番号に縮尺率を併記した。
遺構図 竪穴住居 1 : 40 土坑・ピット 1 : 40 その他は明記
遺物図 土師器・須恵器・灰釉陶器・中近世陶磁器 1 : 3
古銭・鉄製品 1 : 1、1 : 2
- 4 遺物番号は本文・挿図・表・写真図版と一致する。
- 5 竪穴住居等の面積は、住居の周縁をプランメーター（タニタ プラニックス7）を用いて3回測定し、その平均値を記した。
- 6 挿図中の方位は調査時に使用したグリッドに準拠したものであるが、本文中の軸方向記載で用いた方位には、真北を用いた補正を行っている。
- 7 遺物観察表の出土位置の数字は調査時の取り上げ番号である。
- 8 遺物観察表の計測値には次の略語を使用した。
「底部径」→「底」 「重さ」→「重」 「口縁部径」→「口」 「長さ」→「長」 「厚さ」→「厚」
- 9 遺物の長さ・重量の計測にあたっては、製品、製造会社名、商品名、目量を表記する。
パーソナル電子天びん 株式会社エー・アンド・デイ EK-i/EW-iシリーズ 計測0.1g単位
カーボンファイバーノギス 株式会社田島製作所 BLACK-15 計測0.01cm単位
- 10 各地図について、使用した原図類の名称については、その都度記載している。
- 11 遺構図に使用したトーンの種類は下記の通りである。

灰釉陶器施釉



目次

口絵

序

例言 凡例

目次 挿図目次 表目次 写真目次

報告書抄録

第1章 調査の方法と経過	1
第1節 発掘調査に至る経緯	1
第2節 発掘調査の方法	2
第3節 発掘調査の経過	3
第4節 整理の方法と経過	4
第2章 遺跡の環境	5
第1節 地理	5
第2節 地形と地質	6
第3節 歴史	6
第4節 基本土層	12
第3章 検出された遺構と遺物	13
第1節 遺跡の概要	13
第2節 縄文時代	16
第3節 平安時代	21
第4節 中近世以降	36
第4章 まとめ	68

遺構一覧表

遺物観察表

写真図版

奥付

付図

挿図目次

第1図	川原湯中原Ⅲ遺跡位置図	1
第2図	調査区の設定	2
第3図	段丘面分布図	5
第4図	周辺遺跡	9
第5図	基本土層	12
第6図	川原湯中原Ⅲ遺跡全体図	14
第7図	川原湯中原Ⅲ遺跡縄文時代遺構分布図	15
第8図	1号竪穴住居	16
第9図	川原湯中原Ⅲ遺跡遺物分布図	(折込)
第10図	遺物集中出土遺物(1)	19
第11図	遺物集中出土遺物(2)	20
第12図	川原湯中原Ⅲ遺跡平安時代遺構分布図	21
第13図	土坑(1)	23
第14図	土坑(2)	24
第15図	土坑(3)	25
第16図	土坑(4)	27
第17図	土坑(5)	28
第18図	土坑(6)	29
第19図	土坑(7)	31
第20図	土坑(8)	32
第21図	土坑(9)	33
第22図	土坑(10)	34
第23図	土坑(11)	35
第24図	川原湯中原Ⅲ遺跡中近世以降遺構分布図	36
第25図	土坑(12)	38
第26図	土坑(13)	39
第27図	土坑(14)	40
第28図	土坑(15)	42
第29図	土坑(16)	44
第30図	土坑(17)	46
第31図	土坑(18)	48
第32図	土坑(19)	50
第33図	土坑(20)	51
第34図	土坑(21)	52
第35図	土坑(22)	53
第36図	土坑(23)	55
第37図	土坑(24)	57
第38図	土坑(25)	59
第39図	土坑(26)・ピット	60
第40図	164号土坑出土遺物	67
第41図	70号土坑出土遺物	68
第42図	遺構外出土遺物	68

表目次

表1	周辺遺跡一覧表	10
表2	遺構一覧表	68
表3	遺物観察表	71

写真目次

P L. 1	1. 川原湯中原Ⅲ遺跡(西上空から)
	2. 川原湯中原Ⅲ遺跡全景(南から)
P L. 2	1. 川原湯中原Ⅲ遺跡全景(南から)
	2. 川原湯中原Ⅲ遺跡全景(東から)
P L. 3	1. 1号竪穴住居全景(北から)
	2. 1号竪穴住居炉セクション(北から)
	3. 1号竪穴住居炉掘り方全景(東から)
	4. 1号竪穴住居掘り方全景(東から)
	5. 2号土坑セクション(東から)
	6. 2号土坑全景(東から)
	7. 3号土坑セクション(北東から)
	8. 3号土坑全景(北東から)
	9. 4号土坑セクション(北東から)
	10. 4号土坑全景(北東から)
P L. 4	1. 5号土坑セクション(東から)
	2. 5号土坑全景(東から)
	3. 6号土坑セクション(北東から)
	4. 6号土坑全景(北東から)
	5. 7号土坑セクション(北東から)
	6. 7号土坑全景(北東から)
	7. 8号土坑セクション(北西から)
	8. 8号土坑全景(北西から)
	9. 11号土坑セクション(北東から)
	10. 11号土坑全景(北東から)
	11. 13号土坑セクション(西から)
	12. 13号土坑全景(西から)
	13. 16号土坑セクション(北東から)
	14. 16号土坑全景(北東から)
	15. 17号土坑セクション(東から)
P L. 5	1. 17号土坑全景(東から)
	2. 18号土坑セクション(西から)
	3. 18号土坑全景(西から)
	4. 21号土坑セクション(北東から)
	5. 21号土坑全景(北東から)
	6. 22号土坑セクション(北から)
	7. 22号土坑全景(北から)
	8. 24号土坑セクション(北東から)
	9. 24号土坑全景(北東から)
	10. 27号土坑セクション(北東から)
	11. 27号土坑全景(北東から)
	12. 28号土坑全景(東から)
	13. 36号土坑セクション(北西から)
	14. 36号土坑全景(北から)
	15. 40号土坑セクション(西から)
P L. 6	1. 40号土坑全景(東から)
	2. 42号土坑セクション(北東から)
	3. 42号土坑全景(西から)
	4. 64号土坑セクション(西から)
	5. 64号土坑全景(東から)
	6. 66号土坑セクション(北から)
	7. 66号土坑全景(北から)
	8. 74号土坑セクション(北から)
	9. 74号土坑全景(北から)
	10. 76号土坑セクション(北から)
	11. 76号土坑全景(西から)
	12. 104号土坑セクション(西から)
	13. 104号土坑全景(北から)
	14. 106号土坑セクション(北から)
	15. 106号土坑全景(北から)
P L. 7	1. 111号土坑セクション(北西から)
	2. 111号土坑全景(北西から)
	3. 117号土坑セクション(西から)

- | | | | |
|---------|-----------------------|---------|----------------------|
| | 4. 117号土坑全景(西から) | | 10. 127号土坑全景(北から) |
| | 5. 128号土坑セクション(北から) | | 11. 149号土坑セクション(東から) |
| | 6. 128号土坑全景(東から) | | 12. 149号土坑全景(北から) |
| | 7. 129号土坑セクション(北から) | | 13. 157号土坑セクション(北から) |
| | 8. 129号土坑全景(西から) | | 14. 157号土坑全景(北から) |
| | 9. 147号土坑セクション(北西から) | | 15. 1号土坑セクション(北西から) |
| | 10. 147号土坑全景(北から) | P L. 12 | 1. 1号土坑全景(北から) |
| | 11. 148号土坑セクション(南東から) | | 2. 9号土坑セクション(北から) |
| | 12. 148号土坑全景(北から) | | 3. 9号土坑逆茂木セクション(北から) |
| | 13. 152号土坑セクション(北西から) | | 4. 9号土坑全景(北から) |
| | 14. 152号土坑全景(北西から) | | 5. 15号土坑セクション(北西から) |
| | 15. 153号土坑セクション(東から) | | 6. 15号土坑全景(北西から) |
| P L. 8 | 1. 153号土坑全景(東から) | | 7. 25号土坑セクション(北から) |
| | 2. 156号土坑セクション(北西から) | | 8. 29号土坑セクション(南から) |
| | 3. 156号土坑全景(北西から) | | 9. 29号土坑全景(北から) |
| | 4. 159号土坑セクション(北西から) | | 10. 30号土坑セクション(北から) |
| | 5. 159号土坑全景(南西から) | | 11. 30号土坑全景(北から) |
| | 6. 160号土坑セクション(北西から) | | 12. 31号土坑セクション(北西から) |
| | 7. 160号土坑全景(南西から) | | 13. 31号土坑全景(北から) |
| | 8. 161号土坑セクション(北から) | | 14. 32号土坑セクション(西から) |
| | 9. 161号土坑全景(西から) | | 15. 32号土坑全景(北から) |
| | 10. 166号土坑セクション(北東から) | P L. 13 | 1. 39号土坑セクション(東から) |
| | 11. 166号土坑全景(北東から) | | 2. 39号土坑全景(北から) |
| | 12. 167号土坑セクション(北西から) | | 3. 43号土坑セクション(北から) |
| | 13. 167号土坑全景(南西から) | | 4. 43号土坑全景(北から) |
| | 14. 173号土坑セクション(東から) | | 5. 44号土坑セクション(北西から) |
| | 15. 173号土坑全景(北から) | | 6. 44号土坑全景(北西から) |
| P L. 9 | 1. 178号土坑全景(北から) | | 7. 46号土坑セクション(北から) |
| | 2. 179号土坑セクション(北西から) | | 8. 46号土坑全景(北から) |
| | 3. 179号土坑全景(北西から) | | 9. 47号土坑セクション(北から) |
| | 4. 14号土坑セクション(北から) | | 10. 47号土坑全景(北から) |
| | 5. 14号土坑全景(北から) | | 11. 50号土坑セクション(東から) |
| | 6. 23号土坑セクション(北から) | | 12. 50号土坑全景(東から) |
| | 7. 23号土坑全景(西から) | | 13. 52号土坑セクション(北から) |
| | 8. 33号土坑セクション(西から) | | 14. 52号土坑全景(北から) |
| | 9. 33号土坑全景(北から) | | 15. 53号土坑セクション(北西から) |
| | 10. 37号土坑セクション(南東から) | P L. 14 | 1. 53号土坑全景(北から) |
| | 11. 38号土坑セクション(南東から) | | 2. 54号土坑セクション(東から) |
| | 12. 37・38号土坑全景(西から) | | 3. 54号土坑全景(北から) |
| | 13. 48号土坑セクション(北から) | | 4. 55号土坑セクション(北から) |
| | 14. 48号土坑全景(北から) | | 5. 55号土坑全景(北から) |
| | 15. 49号土坑セクション(東から) | | 6. 56号土坑セクション(北から) |
| P L. 10 | 1. 49号土坑全景(北から) | | 7. 56号土坑全景(北から) |
| | 2. 51号土坑セクション(北から) | | 8. 57号土坑セクション(北から) |
| | 3. 51号土坑全景(北から) | | 9. 57号土坑全景(北から) |
| | 4. 58号土坑セクション(北から) | | 10. 59号土坑セクション(北から) |
| | 5. 58号土坑全景(北から) | | 11. 59号土坑全景(北から) |
| | 6. 63号土坑セクション(北から) | | 12. 60号土坑セクション(北から) |
| | 7. 63号土坑全景(西から) | | 13. 60号土坑全景(北西から) |
| | 8. 65号土坑セクション(北から) | | 14. 61号土坑セクション(北から) |
| | 9. 65号土坑全景(西から) | | 15. 61号土坑全景(北から) |
| | 10. 85号土坑セクション(北東から) | P L. 15 | 1. 62号土坑セクション(北から) |
| | 11. 85号土坑全景(北から) | | 2. 62号土坑全景(北西から) |
| | 12. 87号土坑セクション(北東から) | | 3. 67号土坑セクション(北から) |
| | 13. 87号土坑全景(北から) | | 4. 67号土坑全景(北から) |
| | 14. 89号土坑セクション(北西から) | | 5. 68号土坑セクション(北から) |
| | 15. 89号土坑全景(北から) | | 6. 68号土坑全景(北から) |
| P L. 11 | 1. 113号土坑セクション(東から) | | 7. 69号土坑セクション(北から) |
| | 2. 113号土坑全景(北から) | | 8. 69号土坑全景(北から) |
| | 3. 122号土坑セクション(北から) | | 9. 70号土坑セクション(北から) |
| | 4. 122号土坑全景(北から) | | 10. 70号土坑遺物出土状態(北から) |
| | 5. 123号土坑セクション(北西から) | | 11. 70号土坑全景(北から) |
| | 6. 123号土坑全景(北から) | | 12. 71号土坑セクション(北から) |
| | 7. 126号土坑セクション(北から) | | 13. 71号土坑全景(北から) |
| | 8. 126号土坑全景(北から) | | 14. 72号土坑セクション(北西から) |
| | 9. 127号土坑セクション(北から) | | 15. 72号土坑全景(北西から) |

- P L. 16 1. 73号土坑セクション(北から)
2. 73号土坑全景(北から)
3. 75号土坑セクション(北から)
4. 75号土坑全景(北から)
5. 77号土坑セクション(北西から)
6. 77号土坑全景(北から)
7. 78号土坑セクション(北東から)
8. 78号土坑全景(北から)
9. 79号土坑セクション(北から)
10. 79号土坑全景(北から)
11. 80号土坑セクション(北から)
12. 80号土坑全景(北から)
13. 81号土坑セクション(北東から)
14. 81号土坑全景(北東から)
15. 83号土坑セクション(北東から)
- P L. 17 1. 83号土坑全景(北東から)
2. 84号土坑セクション(北西から)
3. 84号土坑全景(北西から)
4. 90号土坑セクション(南から)
5. 90号土坑全景(北から)
6. 91号土坑セクション(北西から)
7. 91号土坑全景(北西から)
8. 92号土坑セクション(北西から)
9. 92号土坑全景(北西から)
10. 93号土坑セクション(北東から)
11. 93号土坑全景(北東から)
12. 100号土坑セクション(北東から)
13. 100号土坑全景(北から)
14. 103号土坑セクション(東から)
15. 103号土坑全景(東から)
- P L. 18 1. 105号土坑セクション(北から)
2. 105号土坑全景(北から)
3. 107号土坑セクション(北から)
4. 107号土坑全景(北から)
5. 114号土坑セクション(北から)
6. 114号土坑全景(北西から)
7. 115号土坑セクション(北から)
8. 115号土坑全景(北から)
9. 118号土坑セクション(北から)
10. 118号土坑全景(北から)
11. 119号土坑セクション(北から)
12. 119号土坑全景(北から)
13. 120号土坑セクション(北西から)
14. 120号土坑全景(北西から)
15. 121号土坑セクション(北から)
- P L. 19 1. 121号土坑全景(北から)
2. 124号土坑セクション(北から)
3. 124号土坑全景(北から)
4. 125号土坑セクション(北から)
5. 125号土坑全景(北東から)
6. 130号土坑セクション(北から)
7. 130号土坑全景(北から)
8. 131号土坑セクション(東から)
9. 131号土坑全景(北から)
10. 132号土坑セクション(東から)
11. 132号土坑全景(北から)
12. 133号土坑セクション(北東から)
13. 133号土坑全景(北から)
14. 134号土坑セクション(北から)
15. 134号土坑全景(北から)
- P L. 20 1. 135号土坑セクション(北から)
2. 135号土坑全景(北から)
3. 136号土坑セクション(東から)
4. 136号土坑全景(北から)
5. 137号土坑セクション(北から)
6. 137号土坑全景(北から)
7. 138号土坑セクション(北から)
8. 138号土坑全景(北から)
9. 139号土坑セクション(北から)
10. 139号土坑全景(北から)
11. 140号土坑セクション(北から)
12. 140号土坑全景(北から)
13. 141号土坑セクション(北から)
14. 141号土坑全景(北から)
15. 142号土坑セクション(北から)
- P L. 21 1. 142号土坑全景(南から)
2. 143号土坑セクション(北から)
3. 143号土坑全景(北から)
4. 144号土坑セクション(北から)
5. 144号土坑全景(北から)
6. 146号土坑セクション(北西から)
7. 146号土坑全景(北西から)
8. 150号土坑セクション(北東から)
9. 150号土坑全景(北から)
10. 151号土坑セクション(北西から)
11. 151号土坑全景(北西から)
12. 154号土坑セクション(東から)
13. 154号土坑全景(東から)
14. 158号土坑セクション(北から)
15. 158号土坑全景(北から)
- P L. 22 1. 168号土坑セクション(北から)
2. 169号土坑セクション(北から)
3. 169号土坑全景(北から)
4. 175号土坑全景(北西から)
5. 180号土坑セクション・全景(東から)
6. 183号土坑セクション(東から)
7. 183号土坑全景(北から)
8. 184号土坑セクション(北東から)
9. 184号土坑全景(北から)
10. 185号土坑セクション(東から)
11. 185号土坑全景(東から)
12. 190号土坑全景(北から)
13. 10号土坑セクション(北西から)
14. 10号土坑全景(北西から)
15. 12号土坑セクション(北西から)
- P L. 23 1. 12号土坑全景(北から)
2. 19号土坑セクション(北西から)
3. 19号土坑全景(北から)
4. 20号土坑セクション(北西から)
5. 20号土坑全景(北から)
6. 26号土坑セクション(北東から)
7. 26号土坑全景(北東から)
8. 34号土坑セクション(南から)
9. 34号土坑全景(東から)
10. 35号土坑セクション(北西から)
11. 35号土坑全景(北東から)
12. 41号土坑セクション(北東から)
13. 41号土坑全景(北から)
14. 45号土坑セクション(南西から)
15. 45号土坑全景(北西から)
- P L. 24 1. 82号土坑セクション(北東から)
2. 82号土坑全景(北から)
3. 86号土坑セクション(北東から)
4. 86号土坑全景(北から)
5. 88号土坑セクション(北東から)
6. 94・95・96号土坑セクション(北から)
7. 94・95・96号土坑全景(北から)
8. 97号土坑セクション(北から)
9. 97号土坑全景(北から)
10. 98号土坑セクション(北から)
11. 98号土坑全景(北から)
12. 99号土坑セクション(北から)

- 13. 99号土坑全景(北から)
- 14. 101号土坑セクション(北西から)
- 15. 101号土坑全景(南東から)
- P L. 25
 - 1. 102号土坑セクション(北西から)
 - 2. 102号土坑全景(東から)
 - 3. 108号土坑セクション(北西から)
 - 4. 108号土坑全景(西から)
 - 5. 109号土坑セクション(南西から)
 - 6. 109号土坑全景(北から)
 - 7. 110号土坑セクション(西から)
 - 8. 110号土坑全景(北から)
 - 9. 112号土坑セクション(東から)
 - 10. 112号土坑全景(北東から)
 - 11. 116号土坑セクション(西から)
 - 12. 116号土坑全景(北から)
 - 13. 145号土坑セクション(北西から)
 - 14. 145号土坑全景(北東から)
 - 15. 155号土坑セクション(東から)
- P L. 26
 - 1. 155・181号土坑全景(東から)
 - 2. 162号土坑セクション(北西から)
 - 3. 162号土坑全景(北西から)
 - 4. 163号土坑セクション(西から)
 - 5. 163号土坑全景(北から)
 - 6. 164号土坑セクション(北から)
 - 7. 164号土坑全景(南から)
 - 8. 165号土坑セクション(西から)
 - 9. 165号土坑全景(東から)
 - 10. 170号土坑セクション(北から)
 - 11. 171・172号土坑全景(南西から)
 - 12. 174号土坑全景(北から)
 - 13. 176号土坑全景(北東から)
 - 14. 177号土坑全景(北から)
 - 15. 186号土坑セクション(東から)
- P L. 27
 - 1. 186号土坑全景(東から)
 - 2. 187号土坑セクション(北東から)
 - 3. 187号土坑全景(北から)
 - 4. 188号土坑セクション(北東から)
 - 5. 188号土坑全景(北から)
 - 6. 189号土坑全景(東から)
 - 7. 1号ピットセクション(北から)
 - 8. 1号ピット全景(北から)
 - 9. 2号ピットセクション(北から)
 - 10. 2号ピット全景(北から)
 - 11. 3号ピットセクション(北から)
 - 12. 3号ピット全景(北から)
 - 13. 4号ピットセクション(北西から)
 - 14. 4号ピット全景(北から)
 - 15. 5号ピットセクション(北西から)
- P L. 28
 - 1. 5号ピット全景(北西から)
 - 2. 6号ピットセクション(北から)
 - 3. 6号ピット全景(北から)
 - 4. 1・2号縄文遺物集中全景(西から)
 - 5. 1号縄文遺物集中出土状態(東から)
 - 6. 1号縄文遺物集中出土状態(西から)
 - 7. 2号縄文遺物集中出土状態(東から)
 - 8. 表土掘削(北から)
 - 9. 遺構確認作業(北から)
- P L. 29
 - 1. 土坑(陥し穴)掘削作業(西から)
 - 2. 土坑掘削作業(西から)
 - 3. 縄文遺物集中地点調査(南から)
 - 4. 縄文遺物集中地点調査(西から)
 - 5. 測量作業(南から)
 - 6. 竪穴住居調査(東から)
- P L. 30 遺物集中出土遺物
- P L. 31 70号土坑出土遺物・164号土坑出土遺物・遺構外出土遺物

報告書抄録

書名ふりがな	かわらゆなかはらさんいせき
書名	川原湯中原Ⅲ遺跡
副書名	八ッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
巻次	59
シリーズ名	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書
シリーズ番号	639
編著者名	麻生敏隆
編集機関	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
発行機関	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
発行年月日	20180315
作成法人ID	21005
郵便番号	377-8555
電話番号	0279-52-2511
住所	群馬県渋川市北橘町下箱田784-2
遺跡名ふりがな	かわらゆなかはらさんいせき
遺跡名	川原湯中原Ⅲ遺跡
所在地ふりがな	ぐんまけんあがつまぐんながのはらまちおおあざかわらゆ
遺跡所在地	群馬県吾妻郡長野原町大字川原湯
市町村コード	10424
遺跡番号	0019
北緯(世界測地系)	365458
東経(世界測地系)	1386926
調査期間	20160801-20160930
調査面積	3,842㎡
調査原因	八ッ場ダム建設工事
種別	集落/その他
主な時代	縄文/平安/中・近世
遺跡概要	集落—縄文—竪穴住居1、遺物集中2、平安—土坑43、中近世—土坑146、ピット7など
特記事項	縄文時代中期後半の竪穴住居や遺物集中地点2か所、平安時代の陥し穴、中近世の土坑、墓壇、ピットなど
要約	吾妻川の右岸に形成された河岸段丘最上位面上に位置し、北に緩やかな傾斜の扇状地形の先端部である。標高は561.5～554.5mで、東西を谷地形に挟まれる。現在の河床は520m、そこからの高さが約40～35mに位置する。縄文時代の中期後半の竪穴住居1棟や遺物集中地点2か所、平安時代の陥し穴、近世の土坑や墓壇、ピットなどが検出された。

第1章 調査の方法と経過

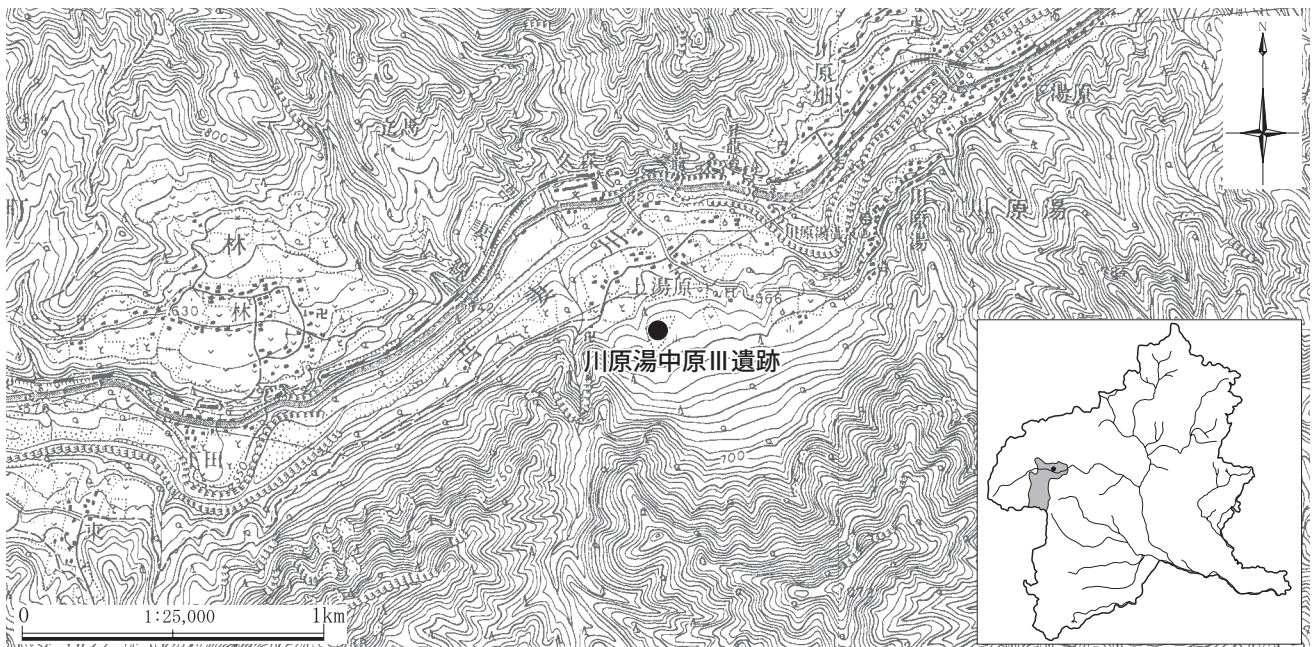
第1節 発掘調査に至る経緯

八ッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査は、建設省関東地方建設局と群馬県教育委員会、長野原町教育委員会、吾妻町教育委員会が、その実施に関する協議を重ね、建設省関東地方建設局長と群馬県教育委員会教育長が、平成6年3月18日に「八ッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査の実施に関する協定書」を締結し、八ッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査事業の実実施計画が決定された事によって開始される事となった。実施計画書に示された調査組織等の役割は、調査実施機関は群馬県教育委員会で、発掘調査機関は財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団である。この協定をふまえて、同年4月1日に関東地方建設局長と群馬県教育委員会教育長により発掘調査受託契約を、同日に群馬県教育委員会教育長と財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団理事長により発掘調査受委託契約を締結し、平成6年度から八ッ場ダム進入路関連遺跡を調査箇所とする八ッ場ダム埋蔵文化財発掘調査が開始された。

その後、平成11年4月1日に「八ッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財調査の実施に関する協定の一部を変更する協定書」を締結し、それ以降は調査実施機関を財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団に変更し、現在の調査体制に至っている。

さらに、平成17年4月1日に期間変更の協定書変更がなされ、平成28年度末までに第5回の変更を行い、協定書に基づき調査を継続している。

川原湯中原Ⅲ遺跡は、平成26年度の試掘調査の成果を踏まえ、平成28年度の発掘調査が行われた。期間は8月から9月までの2か月で、3,842㎡である。



第1図 川原湯中原Ⅲ遺跡位置図（国土地理院 1/25,000 地形図「長野原」・「群馬原町」使用）

第2節 発掘調査の方法

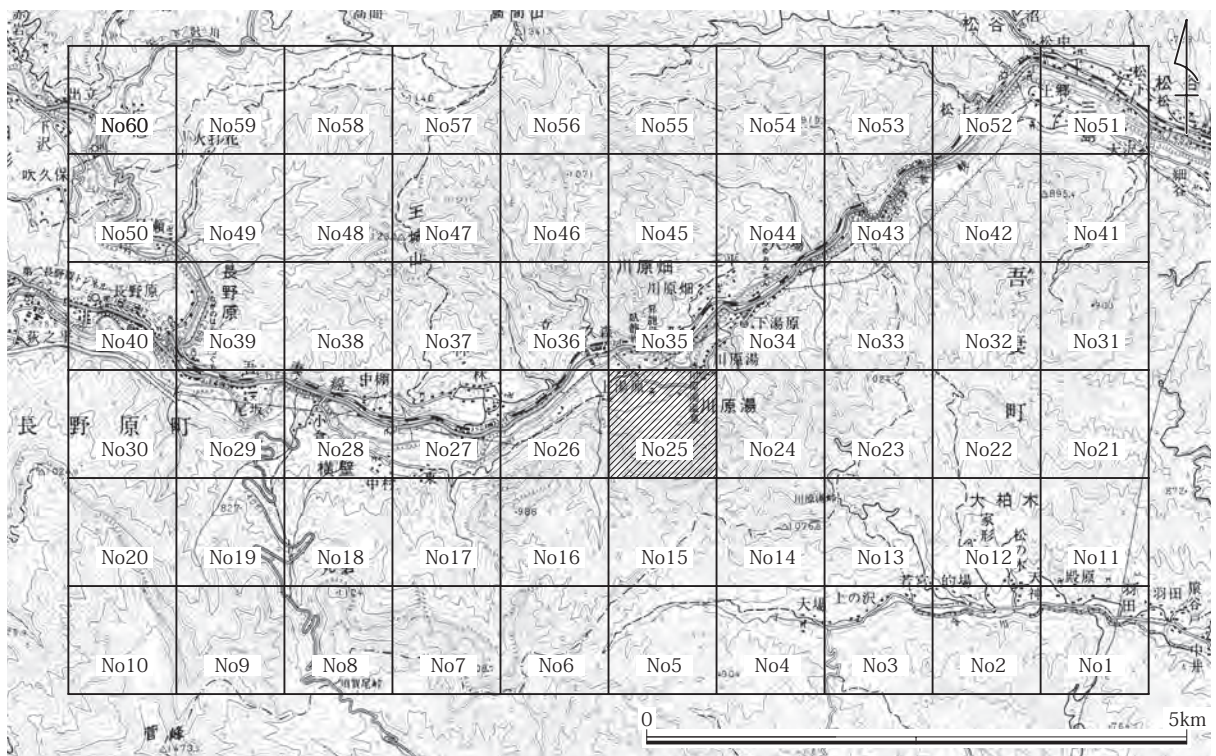
平成6年度から始まったハッ場ダム建設に伴う埋蔵文化財の発掘調査においては遺跡名称の略号、調査区(グリッド)の設定については「ハッ場ダム関係埋蔵文化財発掘調査方法」に基づき実施されてきた。本報告でもこれに準じ必要箇所について記載する事とする。

発掘調査における遺跡番号はハッ場ダム建設にかかわる長野原町の大字5地区(1. 川原畑、2. 川原湯、3. 横壁、4. 林、5. 長野原)ごとに番号を付与し、ハッ場ダム建設に伴う略称「YD」の後ろに続けた。略称、地区

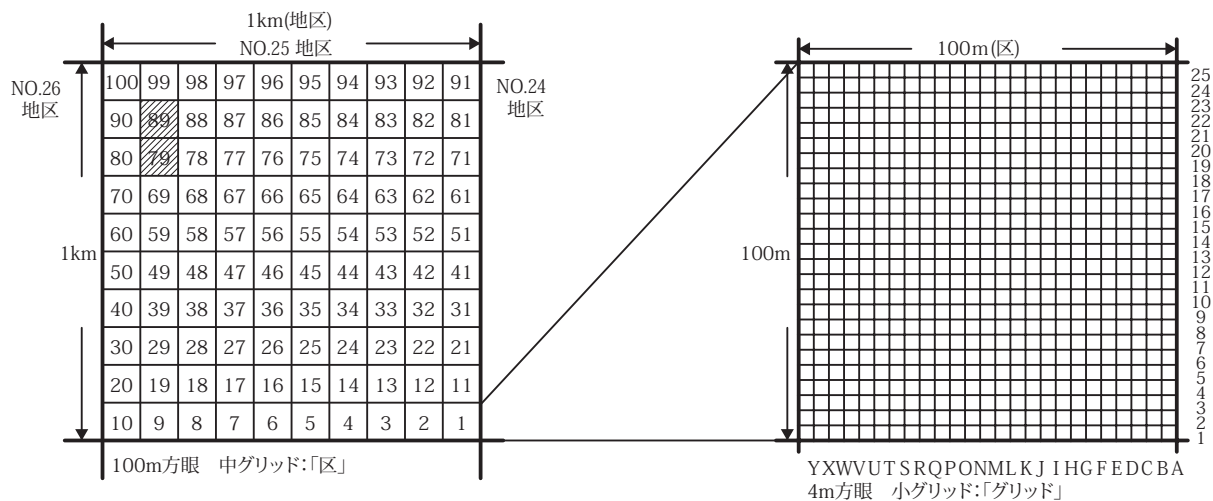
番号の次にはハイフン(-)を記入し、その次に各地区内に所在する遺跡に対して発掘調査順に通し番号を付与して遺跡略称とした。川原湯中原Ⅲ遺跡の場合は、(YD2-04)である。

調査区(グリッド)については、ハッ場ダム建設に伴う埋蔵文化財対象地域内を国家座標(2002年4月改正以前の日本測地系)の日本平面直角座標IX系を使用し、吾妻郡吾妻町(現東吾妻町)大柏木の東部付近を基点(X=58000.00、Y=-97000.00)とした。

この基点から国家座標に準じて西・北方向に座標を設



NO.25地区=川原湯中原Ⅲ



第2図 調査区の設定

定した。ハツ場ダム建設に伴う埋蔵文化財対象地域内は基点から西へ10km、北へ6kmの広範囲に所在する事から1km四方の大区画(地区と呼称)を西へ10区画、北へ6区画の計60区画を設定した。

この大区画の内部を100m四方の中区画(区と呼称)に区分し、南東角から南列を西に1区、2区、10区とし、次の列を11区～20区のように100区まで設定した。

この中区画の内部は4m四方の625個の小区画に細分した。この細分した区画は南東角を基点に西へはA～Yまでのアルファベット、北へは1～25までの数字を付与して各区画を区分した。すなわち、川原湯中原Ⅲ遺跡の所在する25地区79・89区の基点となる小区画は25地区79区A-1と呼称される事になる。

この小区画を基にして遺構図測量、遺物取り上げ、旧石器時代等の試掘調査を実施する際の基準として使用した。

第3節 発掘調査の経過

川原湯中原Ⅲ遺跡遺跡の発掘調査は、基本的に以下の調査方法で行われた。

1. 掘削機(バックホー)による基本土層の第Ⅰ層の表土である暗褐色土層の掘削を行う。
2. 第Ⅱ層の中近世遺構確認・検出面、及び第Ⅲ層の平安時代確認・検出面層、さらにその下位からの縄文時代遺構の検出にあたって、安全に留意して重機と並行した人手による遺構確認作業を行い、個々の調査を行う。(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ面)
3. 遺構調査終了後、89区を中心に基本土層の第Ⅴ層から下位の地層に対しての試掘を実施し、より古い時代の遺構確認作業を行った。(Ⅵ面)

検出した遺構については平面、土層観察断面等の測量、写真撮影による記録を作成した。遺跡全体図や遺構個別図の測量は委託した。

遺跡全景や遺構個別写真等の記録写真の撮影には中型と小型カメラを併用して、基本的に6×7版白黒と35mmのカラー・白黒(モノクロ)兼用デジタルカメラで行い、遺構全景の撮影には脚立、全体写真の撮影にはラジコンヘリ(ドローン)を使用し、上空から俯瞰写真を撮影した。

すべての調査が終了後に埋め戻し作業を行い、引き渡しを行った。

川原湯中原Ⅲ遺跡発掘調査日誌抄録

8月

- 1日(月) 重機(0.7、10tクローラー)による表土掘削開始。
- 2日(火) 重機による表土掘削継続。
- 4日(木) 作業員による遺構確認作業開始。重機による表土掘削継続。
- 5日(金) 重機による表土掘削継続。
- 8日(月) 土坑1～10、写真撮影、測図。
- 9日(火) 土坑11～31、写真撮影、測図。
- 16日(火) 土坑群調査。
- 31日(水) 土坑群、セクション写真撮影・測図。

9月

- 1日(木) 土坑群、セクション写真撮影・測図。
- 2日(金) 土坑群、全景・セクション写真撮影・測図。
- 5日(月) 土坑群、全景・セクション写真撮影・測図。
- 6日(火) 土坑群、全景・セクション写真撮影・測図。
- 9日(金) 土坑群、全景・セクション写真撮影・測図。
- 12日(月) 土坑群、全景・セクション写真撮影・測図。ドローンによる航空写真撮影。
- 14日(水) 縄文調査、写真撮影・測図。図面チェック。
- 15日(木) 縄文集中地点調査。
- 16日(金) 1号竪穴住居(縄文時代中期～後期)、190号土坑調査。縄文時代遺物出土地点調査。重機(0.7、10tクローラー)による土坑類埋め戻し。
- 21日(水) 1号竪穴住居(縄文時代中期～後期)、190号土坑調査、写真撮影・測図。重機による埋め戻し継続。
- 27日(火)～30日(金) 重機による埋め戻し継続。

第4節 整理の方法と経過

川原湯中原Ⅲ遺跡の整理作業は、平成30年の2月から平成30年の3月までの2か月の計画に基づいて、八ッ場ダム調査事務所で行った。

まず、土器や石器・石製品などの遺物については、平成28年度に外部発注による洗浄・注記などの基礎整理が終了しており遺構別・層位別・地点別の分類・区分けの後に接合・復元作業を開始し、実測個体の選り出しと実測・トレース作業を行った。さらに、図面類については原図全体の確認・台帳化と、使用原図の選り出しと鉛筆によるトレース素図とトレース図作成を実施した。また、出土した遺物の図面上での位置の確認などを行った。そして、仕上がりの確認とともに、レイアウトの作成、遺構や遺物、それに関連する資料の図版作成を行った。

写真関係では、現場で撮影したデジタル35mmと6×7の個々の白黒写真とについては、出土状態など写真の種類などの確認、記録カード・台帳化を行った。特に、デジタルは保存用と活用用の2種類への振り分け編集作業を実施し、報告書刊行後の利用に備える準備をした。

遺物は選り出し個体の写真撮影から行った。これらの作業がほぼ終了した時点で、レイアウトの作成、遺物・遺構・写真図版の作成を開始した。

同時に、報文原稿については整理担当者を中心に執筆したが、一部については発掘調査担当者や各時代・各遺構・遺物を専門分野とする職員らの助言・協力を得た。

金属製品については、保存処理を施して収録した。

これらの作業をすべて行い、報告書作成の作業が終了し、印刷工程を経て刊行となった。

こうした整理作業にあたっては、測量した遺構図および撮影した写真は、公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団資料管理マニュアルに従って基礎整理を実施した。

また、出土した遺物の土器と石器については発掘調査終了までの時点で外注で洗浄・注記を行い、今回の整理作業まで八ッ場ダム調査事務所にて保管した。

なお、金属器・金属製品については整理作業時に図の作成、写真撮影が可能な状態になるように保存処理を行い、報告書刊行後は本部にて保管の予定である。

本遺跡の整理作業の問題点としては、まず遺物の洗浄の際に鉄製品や遺物への漆などの付着物の有無を十分に

確認・選り出ししておく必要がある。また注記に際して注記箇所の指定の問題がある。

第2章 遺跡の環境

第1節 地理

吾妻郡長野原町は群馬県の西部、長野県との県境に位置する浅間山の北東に位置する。

行政区画としては、東は吾妻郡東吾妻町(旧吾妻町)、北は同郡中之条町(旧六合(くに)村)、北西は同郡草津町、西は同郡嬭恋(つまごい)村、南は長野県軽井沢町、南東は高崎市(旧倉渕(くらぶち)村)にそれぞれ接する。

周囲は標高1,000m～1,800m級の山々が連なり、南東部の高崎市との境に鼻曲(はなまがり：標高1,655m)と浅間隠(あさまかくし：標高1,756.7m)、東の東吾妻町との境に高間(たかま：標高1,341.7m)、西部に浅間隠・菅峰(すがみね：標高1,473.5m)・高間・笹罫(ささとや：標高1,756.7m)、北部に吾嬭(かづま：標高1,181.5m)・葉師(やくし：標高974.4m)等の山々が存在する。

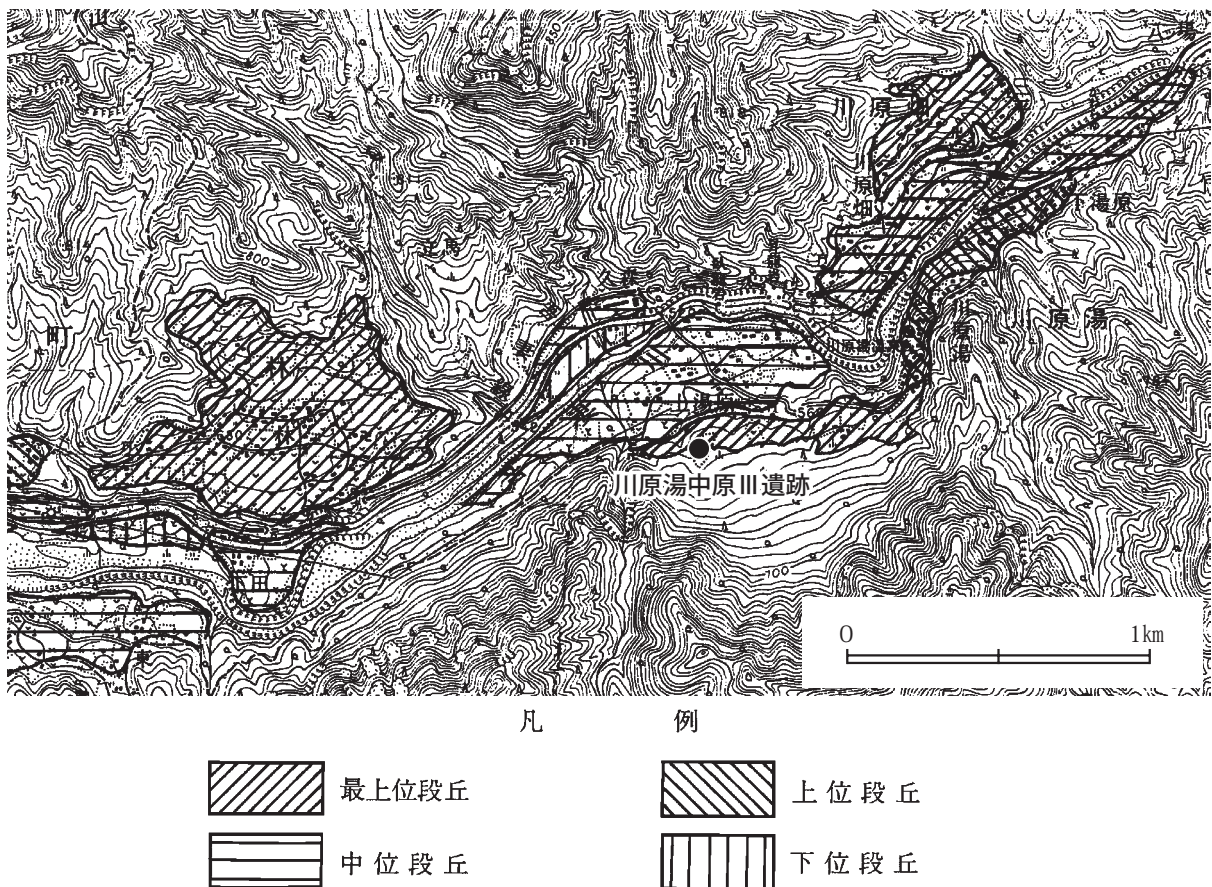
河川では、吾妻郡嬭恋村大字田代と長野県との境界に位置する鳥居峠(とりいとうげ：1,362m)付近から流れ出す吾妻川が東流し、それに万座川や白砂川、それに熊

川等の小河川が南流、あるいは北流して、それぞれ吾妻川に合流する。

主な集落は吾妻川の河岸段丘上にある。吾妻川の谷は長野原地区付近ではその幅がやや広く、河岸に何段かの河岸段丘が発達しているが、川原湯地区より東では基盤の第三紀層を刻み込んで、風光明媚な吾妻渓谷を形成している。

本遺跡の所在する川原湯地区は、南に山を背負った東西に細長い地形を呈し、鳥居峠附近から流れ出す吾妻川が左右両岸に段丘が形成されているものの、山間地特有の河川の蛇行により主に右岸側のみが幅が狭くなっており、一部では渓谷を作り出している。

本遺跡が立地する段丘は最上位面で関東ロームが堆積していることから、その形成時期は完新世の時期と考えられる。この緩やかな傾斜の上位段丘面やその下の中位段丘面の丘陵上に縄文時代から平安時代にかけての遺跡がいくつも存在しており、現在でも住宅地や水田、畑として利用されている。特に、上湯原地域や下湯原地域は、山間の豊富な湧水を利用したの沢水田も営まれている。



第3図 段丘面分布図(国土地理院発行2.5万分の1地形図「長野原」を使用)

参考文献
長野原町誌編纂委員会編 1976 『長野原町誌』上

第2節 地形と地質

長野原町の地形・地質に大きな影響を与えたのは、現在も噴火活動を続けている浅間火山で、町域の北西部、長野県境に位置し、黒斑・仏岩・前掛山・釜山の4つの火山体で構成される標高2,568mの成層火山である。約21,000年前の黒斑火山の噴火では、岩屑流と「応桑泥流」と呼ばれる泥流が発生している。この泥流堆積物は、当時の河床を数十mの厚さで埋めている。その後この堆積物によって吾妻川の浸食が進み、両岸に最上位と上位の段丘面が形成されている。浅間山は、この後も多くの火山堆積物を堆積させているが、特に町域では浅間一草津黄色軽石(As-YPk、10,500～11,500年前)の堆積が顕著である。また、1783(天明3)年の前掛山の噴火により発生した火砕流は吾妻川に流れ込んで泥流となり、今も「天明泥流」として下位段丘や中位段丘を数m～数十mの厚さで覆っている。

平地は吾妻川に沿って僅かに分布しており、階段状の河岸段丘の上位にある。ここはこの地区の主な居住区であり、農業生産の中心地にもなっている。

この段丘は、吾妻川からの比高の差を基準に下位段丘・中位段丘・上位段丘・最上位段丘の4つに分類されている。各段丘面の現在の吾妻川からの平均的な比高は、下位段丘で約10～15m、中位段丘で約30m、上位段丘で約60～65m、最上位段丘で約80～90mとなっている。このうちの上位・最上位の段丘面は約21,000年前に噴出した応桑泥流堆積物を基盤とし、その上に重なる関東ローム層中には、約11,000年前に噴出したと考えられるAs-YPkが最上位面で約2m堆積している。

川原湯地域では、打越地区や川原湯中原Ⅲ遺跡の所在する中原地区が最上位段丘面に、川原湯勝沼遺跡や石川原遺跡や前原遺跡の所在する上湯原地区が中位段丘面に、吾妻川右岸の川沿いの一部が下位段丘面にそれぞれ相当する。

第3節 歴史

この地域の歴史については、既に長野原町教育委員会の富田氏によって詳細な記述がなされており、それを参考に主として川原湯地区を中心に記述する事とするが、各時代の主要な遺跡については周辺地区をも含めて説明する事とする。

長野原町教育委員会が八ッ場ダム建設計画に先行して、1987(昭和62)年から3か年にわたり実施した遺跡分布調査において、183か所の埋蔵文化財包蔵地が確認された。これに石造物などの指定文化財や名勝・天然記念物などを含めると文化財総数は199を数える。1994(平成6)年以降に八ッ場ダム建設に係わる発掘調査の進展に伴い包蔵地はさらに増えている。

旧石器時代 現在までにこの時期の遺跡は確認されていない。ただし、遺構外ながら柳沢城跡で細石器文化に伴うと考えられる珪質頁岩の削器が1点出土している。長野原一本松遺跡でも尖頭器が出土している。

縄文時代 縄文時代になると遺跡数は増大する。この時期の遺跡の主なものとして本遺跡以外に、石畑遺跡、坪井遺跡、長畝Ⅱ遺跡、暮坪遺跡、立馬Ⅱ遺跡、横壁中村遺跡、長野原一本松遺跡、西久保Ⅰ遺跡、幸神遺跡、勘場木遺跡、向原遺跡、滝原Ⅲ遺跡等があげられる。草創期の遺跡として表裏縄文土器が出土した石畑岩陰遺跡が著名であるが、横壁勝沼遺跡からも表採ながら草創期の槍先形尖頭器が出土している。早期は立馬遺跡で初頭の撚糸文期の1棟、前期では坪井遺跡で初頭の花積下層式期の1棟、暮坪遺跡で前期前葉の二ツ木式期の2棟、前期中葉～後葉が楡木Ⅱ遺跡で10棟、中期は立馬Ⅱ遺跡で初頭から前半の五領ヶ台式～阿玉台式の9棟、幸神遺跡で完形の阿玉台式土器を埋設した土坑1基が検出されている。中期後半が最も多く横壁中村遺跡と長野原一本松遺跡では共に250棟以上の大規模な集落を形成していた事が判明している。この他に坪井遺跡の19棟、幸神遺跡2棟、勘場木遺跡1棟、長畝Ⅱ遺跡2棟が検出されている。後期に至っても横壁中村遺跡と長野原一本松遺跡でも引き続き集落が形成されており、他に向原遺跡で5棟検出されている。晩期は川原湯勝沼遺跡で2個の土器を埋葬した土坑が検出され、再埋葬の可能性が指摘されている。

弥生時代 この時期の遺跡は極めて希薄であり、前期は

横壁中村遺跡で櫛王式の甕を埋設した土坑が検出されて、再葬墓の可能性が指摘され、楡木Ⅲ遺跡で土器が集中して出土している。中期後半は立馬Ⅰ遺跡で土器棺墓が1基と竪穴住居が2棟、後期の樽式は二社平遺跡で破片が多数出土している。

古墳時代 1938(昭和13)年に編纂された『上毛古墳綜覧』によれば、長野原町には2基の古墳が存在するとされており、大津の鉄塚と与喜屋の五輪塚が該当するが、現在までに発掘調査によって確認されたものはひとつも無く、現時点では東吾妻町の岩島地区が西限である。集落関係では林宮原Ⅱ遺跡で1棟、下原遺跡での1棟が2例目であり、遺物は1976(昭和51)年に刊行された『草津温泉誌』第巻号にも長野原町大津の金丸製材所の西地点で出土した壺型土器と高坏が掲載されており、これが吾妻川流域の最奥の古墳時代の資料として紹介されている。これらからみて、遺跡の数が極端に少なく、それぞれの規模も小さいことから古墳が構築される土台がなかった可能性が高いと言えよう。

奈良・平安時代 10世紀ごろに編集された『和名類聚抄(わみょうるいじゅうしょう)』によれば、古代律令制での吾妻(阿加豆末：あがつま)郡は、大田(おおた、吾妻町太田地区から吾妻川上流の三島までの右岸一帯)郷、伊参(いさま、中之条町から原町にかけての吾妻川左岸一帯)郷、長田(ながた：中之条町北東部から高山村にかけての名久田川流域)郷の三つの郷に区分され、その郡衙(役所)は原町の大宮巖鼓神社周辺と考えられているが、近年の発掘調査からは疑問視されてきている。一方、長野原町のある西吾妻地区には郷が存在しないとされている。確かに奈良時代の遺構・遺物は極めて希薄で、分布調査でも僅かに確認されているのみである。

だが、平安時代になると遺跡数は増加する。本遺跡以外では、主な遺跡としては長野原一本松遺跡、横壁中村遺跡、林宮原遺跡、向原遺跡、長畝Ⅰ遺跡、坪井遺跡、花畑遺跡、下原遺跡、川原湯勝沼遺跡が挙げられる。各遺跡での竪穴住居の検出数は数棟と少ないものの、楡木Ⅱ遺跡では9世紀後半から10世紀前半にかけての竪穴住居が38棟もまとまって検出されており、「三家」などと書かれた墨書土器の存在から、高崎市山名町にある山ノ上碑に記載された「佐野三家」との関連を強く想定させる。さらに、朝廷の直轄地である「みやけ・ミヤケ・屯倉・

官家」との関連をも想定される。また、西吾妻地区でも最大規模の竪穴住居の数は、たとえ同時存在ではないにしろ、存続期間が9世紀後半から10世紀前半の約百年と短い期間であることから、古代の律令制における地方行政の最も下位の単位である郷に近い形態の集落の存在が推定される。また、町内から瓦塔の破片が発見されており、町重要文化財に指定となっているが、詳細な出土地は不明である。

中世 この時代の西吾妻地区の様子は、吾妻氏の拠点である東吾妻地区に比べて不明な点が多いが、『吾妻鏡』によれば、1241(仁治2)年には三原庄が存在したとされ、信濃源氏の末裔とされる海野氏とその一族の下屋・鎌原・西窪・羽尾氏らの支配下にあったとされている。後の戦国期には齋藤氏や真田氏らが活躍したと記されている。特に、林の地については、1563(永禄6)年の9月の長野原城の戦いの際に、齋藤氏らが王城山から林の神社(現在の王城)を拠点にして、合戦の地となった事が『加沢記』等にも記載されている。羽尾氏から1566(永禄9)年の御山城攻略に功績のあった湯本氏も20貫文を所領している。その後は、齋藤氏が滅亡すると共に、武田氏による湯本氏らへの支配が強化されるが、武田氏やその後の北条氏の滅亡後、真田氏が支配する事となる。この時期の資料としては柳沢城や丸岩城などの城館跡などが中心であったが、近年の発掘調査により掘立柱建物などの屋敷等を検出する遺跡が増えつつある。主な遺跡としては、横壁中村遺跡、二反沢遺跡、下原遺跡等が挙げられる。下原遺跡では中世の畑跡や建物跡が検出されている。二反沢遺跡からは中世の区画跡の他、羽口、鉄滓、椀状滓等の製鉄関連遺物が検出されている。

近世 沼田真田氏による支配の後、1681(天和元)年の真田信直の改易により、この地域の大部分は幕府領や旗本領のいわゆる天領となり、明治維新までその体制が続き、明治以後に林村から1889(明治22)年の1町6村による町村合併により現在の長野原町となった。村高は「寛文郷帳」では125石うち田方14石・畑方111石、「元禄郷帳」では195石、「天保郷帳」と「旧高旧領」では202石である。1857(安政4)年の人別改帳では、戸数73・人数322・馬16と記されている。なお、近世の遺跡の大部分が、1783(天明3)年の浅間山の噴火に伴い噴出した浅間A軽石と泥流堆積物で埋没したものである。主な遺跡としては、下

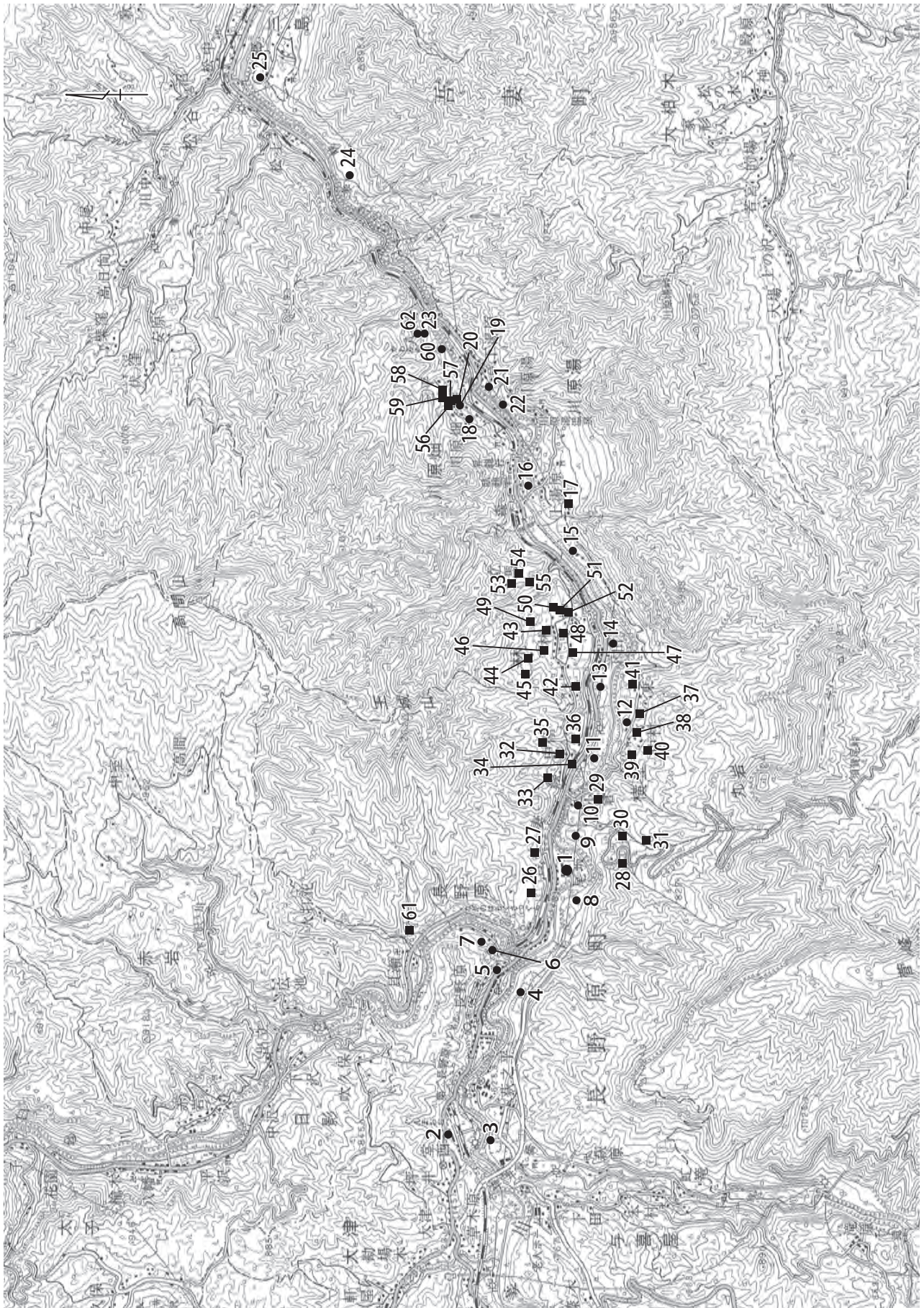
第2章 遺跡の環境

湯原遺跡、東宮遺跡、石川原遺跡、川原湯勝沼遺跡、横壁中村遺跡、下田遺跡、中棚Ⅱ遺跡、久々戸遺跡、尾坂遺跡等が挙げられる。特に、久々戸遺跡の6次調査では、江戸時代の街道である「草津道」が検出されている。小林屋敷遺跡からは地区の豪農であった小林家の屋敷の一部が検出されており、文献との照合もなされている。尾坂遺跡や東宮遺跡からも屋敷が検出されている。林村の被害は、泥押し90石・流死者18・飢人25。生産基盤としては、畑を中心に検出されており、その中に麻の占める割合が高い点、それに対して水田の比率が低い等があげられる。

また、下原遺跡などで1742（寛保2）年の洪水の際に生じた土砂崩れで埋没したと考えられる畑跡も検出されるなど、さらに古い洪水の存在も推定される。

参考文献

（概説書・図録類）尾崎喜左雄監修 1987 『日本歴史地名大系10 群馬県の地名』 平凡社、日本地名大辞典編纂委員会編 1988 『日本地名大辞典』10 群馬県 角川書店、中之条町歴史民俗資料館 2003 『常設展示解説図録』
（県町村史誌）群馬県 1938 『上毛古墳綜覧』 群馬県史蹟名勝天然記念物調査報告第5号、長野原町誌編纂委員会編 1976 『長野原町誌』上、群馬県史編さん委員会編 1990 『群馬県史』 通史編 1、1981 『群馬県史』 資料編 3
（発掘調査報告書）群馬県教育委員会編 1988 群馬県の中世城館跡 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 1995～2007 年報：14～26、1998 長野原久々戸遺跡、2002 長野原一本松遺跡(1)、2002 八ッ場ダム発掘調査集成、2003 久々戸遺跡・中棚Ⅱ遺跡・下原遺跡・横壁中村遺跡、2004 久々戸遺跡・中棚Ⅱ遺跡(2)・西ノ上遺跡・上郷A遺跡、2005 横壁中村遺跡(2)、2005 川原湯勝沼遺跡(2)、2006 横壁中村遺跡(3)、2006 立馬Ⅱ遺跡、2006 上郷B・廣石A・二反沢遺跡、2006 横壁中村遺跡(4)、2006 立馬Ⅰ遺跡、2007 下原遺跡Ⅱ、2007 三平Ⅰ・Ⅱ遺跡、2007 横壁中村遺跡(5)、2007 長野原一本松遺跡(2)、1995～2007 遺跡は今：1～15
長野原町教育委員会 1996 向原遺跡、2000 坪井遺跡Ⅱ、2001 暮坪遺跡、2004 林宮原Ⅱ遺跡、2005 小林屋敷遺跡、2007



第4図 周辺遺跡(国土地理院5万分の1地形図「草津」使用)

第2章 遺跡の環境

表1 周辺遺跡一覧表

No.	遺跡名	所在地	主な時代	概要	備考	報告書等
1	尾坂遺跡	長野原町長野原	縄文・弥生・平安・中世・近世	天明三年泥流下の畑・建物。中世の掘立柱建物。縄文時代の住居、土坑。弥生時代の再葬墓、土坑。平安時代の住居、土坑等。	平6・7・11・18・19・20・21～23・25・26・28・29年度事業団調査。平23・26に長野原草津口駅舎整備に伴う調査として一部調査。	②・④・⑤
2	小林家屋敷跡	長野原町長野原	近世	天明三年泥流下の屋敷、礎石建物2、土蔵1、石垣等。分限者小林助左右衛門屋敷の一部。	平14年度町教委調査	⑤
3	旧新井村跡	長野原町与喜屋	近世	昭和55年、自衛隊による町民グラウンド造成中に泥流で埋没した屋敷が発見された。日待供養塔、石臼、農具などが出土。	「長野原町誌」上巻	⑥
4	向原遺跡	長野原町長野原	縄文・弥生・平安	縄文時代中期後半～後期の住居3棟・敷石住居2棟、土坑群。弥生時代中期の土坑、平安時代の住居10棟を検出。	平5年度町教委調査	③
5	町遺跡	長野原町長野原	近世	天明三年泥流下の畑。	平23～25年度事業団調査	④
6	長野原城跡	長野原町長野原	中世	土塁や堀切・物見台などが残る。長野原合戦の舞台となる。	平23年度事業団調査	⑬
7	鶴木Ⅰ遺跡	長野原町長野原	近世	天明三年泥流下の畑、中・近世の陶磁器片。	平16年度町教委調査	⑤
8	久々戸遺跡	長野原町長野原	近世	天明三年泥流下の畑、建物、縄文時代晩期の土器片。	平7・9・10・11・15・26～28年度事業団調査	③・④・⑤⑩・⑤
9	西久保Ⅳ遺跡	長野原町横壁	縄文・近世	天明三年泥流下の畑。縄文時代の土坑等。	平21・23年度事業団調査	⑨
10	西久保Ⅴ遺跡	長野原町横壁	縄文・古墳・中世・近世	縄文時代中期・後期から古墳時代前期の遺物検出。天明三年泥流下の水田。	平28・29年度事業団調査	⑤
11	中棚Ⅱ遺跡	長野原町林	平安・中世・近世	天明三年泥流下の畑、および安永九年と考えられる埋没畑等。	平11～13・15・28・29年度事業団調査	③・④・⑤
12	横壁中村遺跡	長野原町横壁	縄文・弥生・平安・中世	縄文時代中期後半から後期後半を中心とする集落跡、縄文時代晩期、弥生時代の土器片、平安・中世の遺構・遺物。	平8～17年度事業団調査	③・⑤・⑦・⑩・⑭・⑰・⑲・⑳・㉓・㉔・㉖・㉗・㉘・㉙
13	下原遺跡	長野原町林	古墳・近世	天明三年泥流下の畑、中世の畑、古墳時代の住居、弥生時代の土器片等。	平12・15・16・29年度事業団調査	③・⑫
14	下田遺跡	長野原町林	平安・近世	天明三年泥流下の畑。江戸・中世の建物。平安時代の住居、陥し穴。縄文時代の掘立柱建物。	平25・26・28・29年度事業団調査	②・⑤
15	川原湯勝沼遺跡	長野原町川原湯	縄文・平安・近世	縄文時代晩期の埋設土器、古墳時代の遺物、平安時代の住居、天明三年泥流下の畑。	平15・16・28年度事業団調査	②・⑥・⑲・⑳・㉓・⑤
16	石川原遺跡	長野原町川原湯	縄文・平安・近世	天明三年泥流下の畑。縄文時代中期の住居、列石、配石。平安時代の住居、陥し穴。近世の畑。	平20・25～29年度事業団調査	⑩・⑤
17	川原湯中原Ⅲ遺跡	長野原町川原湯	縄文・平安・近世	縄文時代の竪穴住居、縄文時代と平安時代から近世にかけての土坑。	平28年度事業団調査	⑤・本報告
18	西宮遺跡	長野原町川原畑	平安・近世	天明三年泥流下の建物複数、酒蔵、道、石垣、井戸、畑等。	平20・26～29年度事業団調査	⑩・⑤
19	東宮遺跡	長野原町川原畑	近世	天明三年泥流下の屋敷。大型の建物が良好な状態で検出、土台、大引、床板等多くの建築材が残る。また、下駄や団扇、石臼等の当時の道具類も多く出土。	平7・9・19～21・26～29年度事業団調査	②・⑩・⑳・㉓・⑤
20	三ツ堂岩陰遺跡	長野原町川原畑	江戸	江戸時代中期以前の墓地跡。	平28年度事業団調査	⑤
21	西ノ上遺跡	長野原町川原湯	近世	天明三年泥流下の畑。平安時代の陥し穴、弥生時代の土坑等。	平14・27・29年度事業団調査	④・⑤
22	下湯原遺跡	長野原町川原湯	縄文・弥生・平安・中世・近世	縄文時代中期の土坑。平安時代の住居。天明三年泥流下の畑・道。	平27～29年度事業団調査	⑩・⑤
23	石畑遺跡	長野原町川原畑	縄文	天明三年泥流下の畑。	平9・10・29年度事業団調査	②
24	上郷西遺跡	東吾妻町	平安・近世	弥生時代前期の土坑。平安時代の住居。	平19年度事業団調査	⑳
25	上郷岡原遺跡	東吾妻町	縄文・近世	天明三年泥流下の畑、水田、礎石建物等。近世の墓坑。平安時代の住居、縄文時代の住居、土坑。	平14・15・17～19年度事業団調査	⑬・⑳・㉓
26	長野原一本松遺跡	長野原町長野原	縄文・平安	縄文時代中期～後期にかけての集落跡、大型の掘立柱建物、敷石住居などを検出、平安時代の住居、中世の掘立柱建物や多くの土坑等が検出されている。	平6～17・19・20年度事業団調査	①・⑮・⑲・㉔・⑳・㉖・㉗
27	幸神遺跡	長野原町長野原	縄文	縄文時代中期の住居・土坑。陥し穴。	平8・9・14・17・18年度事業団調査	⑬
28	柳沢城跡	長野原町横壁	中世	別城一郭付随と呼ばれる特殊な構造、曲輪、堀、土居などを検出、常滑、瀬戸、美濃、珠洲焼、さらには中国陶磁などが出土。	平5年度町教委調査	⑩
29	西久保Ⅰ遺跡	長野原町横壁	縄文	縄文時代後期の住居、水場を検出。中・近世の礎石建物。	平6・10・12・29年度調査	②
30	西久保Ⅱ遺跡	長野原町横壁	平安	散布地。		
31	西久保Ⅲ遺跡	長野原町横壁	縄文	散布地。		
32	榎木Ⅰ遺跡	長野原町林	縄文	縄文時代の土坑、散布地。	平10・21年度事業団調査	⑨
33	榎木Ⅱ遺跡	長野原町林	縄文	縄文時代早期の集落、前期、中期の住居、平安時代の住居。	平11～13・16・17年度事業団調査	⑱・㉔
34	榎木Ⅲ遺跡	長野原町林	縄文・弥生	縄文時代前期・後期、弥生時代の包含層。	平9年度事業団調査	②
35	二反沢遺跡	長野原町林	中世・近世	中世の石垣を伴う造成跡(旧大乘院堂跡)、近世水路、畑。	平12年度事業団調査	⑨
36	中棚Ⅰ遺跡	長野原町林	縄文・平安・中世・近世	縄文時代早期の遺物、平安時代の住居。	平23年度町教委、平29年度事業団調査	⑩
37	山根Ⅰ遺跡	長野原町横壁	縄文・平安	散布地、磨製石斧、石鏃、石棒などの石器類出土。		
38	山根Ⅱ遺跡	長野原町横壁	平安・近世	平安時代の散布地。		
39	山根Ⅲ遺跡	長野原町横壁	縄文・近世	縄文時代中期後半の住居、土坑等。	平10・13・18年度事業団調査	②・⑬
40	山根Ⅳ遺跡	長野原町横壁	縄文・近世	縄文～平安時代散布地。		
41	横壁勝沼遺跡	長野原町横壁	縄文	縄文時代中期～後期の土器片、槍先形尖頭器出土。	平6・7年度事業団調査	②
42	林宮原遺跡	長野原町林	古墳・平安	古墳時代の住居1、平安時代の住居6、土坑6。	平15・20年度町教委、平24・27年度事業団調査	町教委2004・⑩・⑤⑩・⑤⑩
43	上原Ⅰ遺跡	長野原町林	縄文	縄文時代前期初頭の住居、中期の住居。平安時代の住居、陥し穴等。	平15年度町教委、平24年度事業団調査	

No.	遺跡名	所在地	主な時代	概要	備考	報告書等
44	上原Ⅱ遺跡	長野原町林	縄文	縄文時代中期の住居。	平16年度事業団、平23年度町教委調査	60
45	上原Ⅲ遺跡	長野原町林	縄文	平安時代の住居、鍛冶遺構、陥し穴群。	平25・27年度事業団、平23年度町教委調査	50・61
46	上原Ⅳ遺跡	長野原町林	縄文・近世	縄文時代後期の敷石住居、配石遺構。	平15・21年度事業団、平20・24年度町教委調査	17・39・62
47	林中原Ⅰ遺跡	長野原町林	縄文・弥生・中世・近世	縄文時代前期～後期住居、配石等。中・近世の掘立柱建物。	平15・20・21年度町教委、平19～21年度事業団調査	43・56・64
48	林中原Ⅱ遺跡	長野原町林	縄文・弥生・中世・近世	縄文時代後期の集落跡。敷石住居、晩期の土器片。弥生時代中期の住居、土坑。中・近世の掘立柱建物。	平15・20・21年度町教委、平20・21年度事業団調査	48・57・65
49	花畑遺跡	長野原町林	縄文・平安	平安時代の住居、陥し穴群。	平9～12年度事業団調査	2
50	東原Ⅰ遺跡	長野原町林	縄文	縄文時代土器片、陥し穴。	平6・9・20・21年度事業団調査	35
51	東原Ⅱ遺跡	長野原町林	縄文	縄文時代後期土器片、石器出土。	平10・20・21年度事業団調査	35
52	東原Ⅲ遺跡	長野原町林	平安・近世	縄文時代早期～後期の包含層。中・近世の掘立柱建物。内耳鍋、古瀬戸等出土。江戸時代の礎石建物。	平20・21年度事業団調査	35
53	立馬Ⅰ遺跡	長野原町林	縄文	縄文時代早期～晩期の住居。弥生時代中期後半の土器棺墓。	平13・14・17年度事業団調査	11
54	立馬Ⅱ遺跡	長野原町林	縄文	縄文時代草創期・早期の土器・石器。中期初頭～前半の住居9棟、中期後半の住居1棟。平安時代前後の陥し穴等。	平14・15年度事業団調査	8
55	立馬Ⅲ遺跡	長野原町林	縄文・平安	縄文時代早期の集落、前期、中期の住居、平安時代の陥し穴。	平19年度事業団調査	26
56	上ノ平Ⅰ遺跡	長野原町川原畑	縄文・平安	縄文時代中期の集落、平安時代の住居、陥し穴。	平18・19・28年度事業団調査	23・49・51
57	上ノ平Ⅱ遺跡	長野原町川原畑	縄文・平安	縄文、平安時代の散布地。		
58	三平Ⅰ遺跡	長野原町川原畑	縄文・弥生・平安	縄文時代早期～前期の集落。弥生時代中期の土坑、平安時代の陥し穴。	平16・17・24・25年度事業団、平20年度町教委調査	13・59
59	三平Ⅱ遺跡	長野原町川原畑	縄文・平安	縄文時代早期～前期の包含層、掘立柱建物等。	平16年度事業団調査	13
60	二社平遺跡	長野原町川原畑	近世	天明三年泥流下の畑。	平28・29年度事業団調査	51
61	居家以岩陰遺跡	長野原町長野原	縄文・弥生・古墳・近世・近代	縄文時代早期～晩期。	平26～29年度國學院大學考古学研究室調査	68
62	石畑Ⅰ岩陰遺跡	長野原町川原畑	縄文・中世・近世	縄文時代前期～中世の遺物。天明三年泥流下の畑。	平29年度事業団調査	67

※第4図上の●は天明泥流下遺構検出遺跡

参考文献

① 長野原一本松遺跡(1) (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団報告書 第287集 (以下 (財)群埋文○集) 2002

② ハッ場ダム発掘調査集成(1)東宮・石畑・川原湯勝沼・横壁勝沼・西久保Ⅰ・山根Ⅲ・下田・花畑・楡木Ⅲ・尾坂 (財)群埋文303集 2003

③ 久々戸遺跡・中棚Ⅱ遺跡・下原・横壁中村遺跡 (財)群埋文319集 2003

④ 久々戸遺跡(2)・中棚Ⅱ遺跡(2)・西ノ上・上郷A遺跡 (財)群埋文349集 2004

⑤ 横壁中村遺跡(2) (財)群埋文355集 2005

⑥ 川原湯勝沼遺跡(2) (財)群埋文356集 2005

⑦ 横壁中村遺跡(3) (財)群埋文368集 2006

⑧ 立馬Ⅱ遺跡 (財)群埋文375集 2006

⑨ 上郷B遺跡・廣石A遺跡・二反沢遺跡 (財)群埋文379集 2006

⑩ 横壁中村遺跡(4) (財)群埋文381集 2006

⑪ 立馬Ⅰ遺跡 (財)群埋文388集 2006

⑫ 下原遺跡Ⅱ (財)群埋文389集 2007

⑬ 三平Ⅰ・Ⅱ遺跡 (財)群埋文401集 2007

⑭ 横壁中村遺跡(5) (財)群埋文406集 2007

⑮ 長野原一本松遺跡(2) (財)群埋文408集 2007

⑯ 上郷岡原遺跡(1) (財)群埋文410集 2007

⑰ 山根Ⅲ遺跡(2)・上原Ⅳ遺跡・幸神遺跡 (財)群埋文429集 2008

⑱ 楡木Ⅱ遺跡(1) (財)群埋文432集 2008

⑲ 長野原一本松遺跡(3) (財)群埋文433集 2008

⑳ 横壁中村遺跡(6) (財)群埋文436集 2008

㉑ 上郷岡原遺跡(2) (財)群埋文438集 2008

㉒ 横壁中村遺跡(7) (財)群埋文439集 2008

㉓ 上ノ平Ⅰ遺跡(1) (財)群埋文440集 2008

㉔ 長野原一本松遺跡(4) (財)群埋文441集 2008

㉕ 上郷西遺跡 (財)群埋文448集 2008

㉖ 立馬Ⅲ遺跡 (財)群埋文457集 2009

㉗ 楡木Ⅱ遺跡(2) (財)群埋文458集 2009

㉘ 長野原一本松遺跡(5) (財)群埋文461集 2009

㉙ 横壁中村遺跡(8) (財)群埋文462集 2009

㉚ 横壁中村遺跡(9) (財)群埋文466集 2009

㉛ 上郷岡原遺跡(3) (財)群埋文471集 2009

㉜ 上郷A遺跡(2) (財)群埋文473集 2009

㉝ 横壁中村遺跡(10) (財)群埋文488集 2010

㉞ 横壁中村遺跡(11) (財)群埋文492集 2010

㉟ 東原Ⅰ遺跡・東原Ⅱ遺跡・東原Ⅲ遺跡 (財)群埋文502集 2010

㊱ 東宮遺跡(1) (財)群埋文514集 2011

㊲ 横壁遺跡(12) (財)群埋文526集 2012

㊳ 東宮遺跡(2) (財)群埋文536集 2012

㊴ 楡木Ⅰ遺跡・上原Ⅳ(2)遺跡・西久保Ⅳ遺跡 (公財)群馬県埋蔵文化財調査事業団報告書 第549集(以下 (公財)群埋文○集) 2012

㊵ 長野原一本松遺跡(6) (公財)群埋文554集 2013

㊶ 横壁中村遺跡(13) (公財)群埋文559集 2013

㊷ 長野原一本松遺跡(7) (公財)群埋文578集 2014

㊸ 長野原城跡・林中原Ⅰ遺跡 (公財)群埋文586集 2014

㊹ 横壁中村遺跡(14) (公財)群埋文587集 2014

㊺ 町遺跡 (公財)群埋文593集 2014

㊻ 上原Ⅰ遺跡・上原Ⅲ遺跡・林宮原遺跡 (公財)群埋文604集 2016

㊼ 尾坂遺跡 社会資本整備総合交付金事業 長野原草津口駅舎整備に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 (公財)群埋文546集 2012

㊽ 林中原Ⅱ遺跡(2) (公財)群埋文617集 2016

㊾ 上ノ原Ⅰ遺跡(2) (公財)群埋文623集 2017

㊿ 年報35 (公財)群埋文 2016

㊿ 年報36 (公財)群埋文 2017

㊿ 旧新井村跡 長野原町埋蔵文化財調査報告第1集(以下 長野原○集) 長野原町の遺跡 一町内遺跡詳細分布調査報告書一 長野原町教育委員会(以下 町教委) 1990

㊿ 向原遺跡 長野原第5集 向原遺跡 町教委 1996

㊿ 小林家屋敷跡 長野原第12集 小林家屋敷跡 町教委 2005

㊿ 嶋木Ⅰ遺跡 長野原第15集 町内遺跡Ⅴ 町教委 2005

㊿ 林中原Ⅰ遺跡 長野原第20集 町教委 2010

㊿ 林中原Ⅱ遺跡 長野原第21集 町内遺跡Ⅹ 町教委 2011

㊿ 林宮原遺跡Ⅶ 長野原第23集 町教委 2011

㊿ 三平Ⅰ遺跡 長野原第26集 町教委 2013

㊿ 上原Ⅱ遺跡 長野原第30集 林地区遺跡群 町教委 2017

㊿ 上原Ⅲ遺跡 長野原第30集 林地区遺跡群 町教委 2017

㊿ 上原Ⅳ遺跡 長野原第30集 林地区遺跡群 町教委 2017

㊿ 中棚Ⅰ遺跡 長野原第30集 林地区遺跡群 町教委 2017

㊿ 林中原Ⅰ遺跡Ⅺ 長野原第30集 林地区遺跡群 町教委 2017

㊿ 林中原Ⅱ遺跡Ⅹ 長野原第30集 林地区遺跡群 町教委 2017

㊿ 長野原町『長野原町誌』上巻 1976

㊿ 長野原町『長野原町の自然』1988

㊿ 居家以岩陰遺跡 國學院大學文学部考古学実習報告第53集 2014

第4節 基本土層

川原湯中原Ⅲ遺跡は吾妻川右岸の上位段丘面に立地する。基本土層は、基本的には長野原町の吾妻川右岸に位置する遺跡と同様であるが、遺跡内の東側には谷頭が存在し、台地そのものに南側の山からの崩落堆積層が部分的に認められ、尾根部分と谷地部分では大きく異なる。

なお、遺跡の基本土層の北壁と東壁の確認位置は第6図に示した。

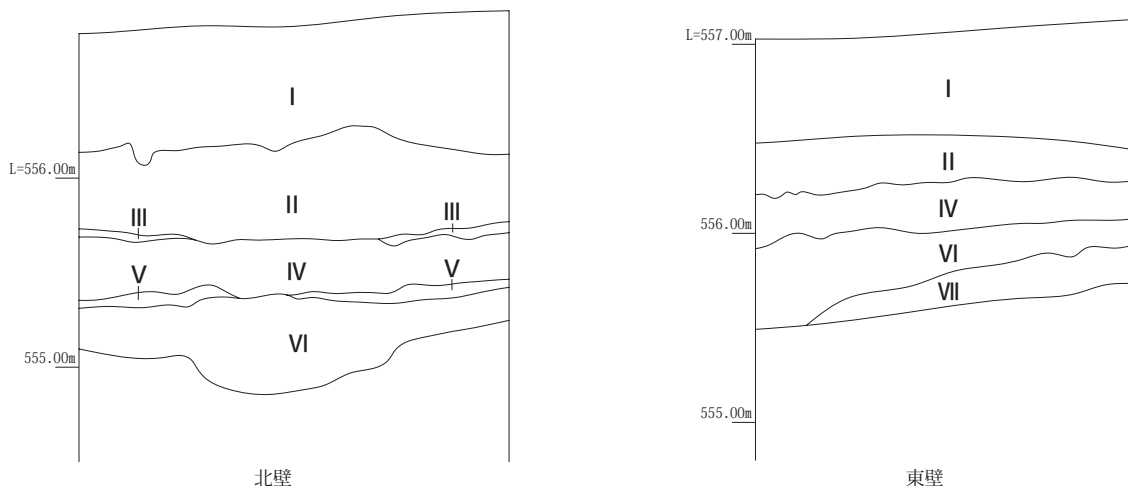
川原湯中原Ⅲ遺跡の基本土層

- I層 現表土 畑の耕作土。層厚10cm。浅間A軽石(As-A)などを含む。現代から中世の土壌。
- II層 黒褐色土 層厚10～20cm。比較的粗粒の黄色軽石を多く含む。上面が中近世の確認面。
- III層 暗褐色土～黒褐色土 黄色軽石を多く含む。色調が特に暗い。主に縄文時代中期を含む。
- IV層 縄文時代に発生したと思われる斜面崩落による堆積土。遺跡の東側に部分的に認められる。
- V層 褐色土 VII層のローム層への漸位層。粒子細かく、しまり強い。榎木Ⅱ・V層に対比。
- VI層 褐色土ローム 粒子細かい。しまり粘性ともIII層より強い。白色あるいは黄色軽石粒を3～5%含む。縄文時代の遺構確認面及び遺物包含層に相当する。
- VII層 浅間草津黄色軽石(As-YPk)層厚80～90cmで、パミス粒径は最大20～30mm。最上層部及び最下層部には硬化したアッシュの純堆積。
- VIII層 ローム層。

上ノ平I遺跡は対岸側の吾妻川左岸の最上位段丘面に立地することから、本遺跡と対比する。

上ノ平I遺跡の基本土層

- I層 現表土 耕作土。層厚10～20cm。浅間A軽石(As-A)を含む。現代から近世にかけての堆積土。
- II層 暗褐色土 細粒の黄色軽石をまばらに含む。平安時代から近世までの堆積土。浅間C軽石(As-C)・D軽石(As-D)。【II層と対比】
- III層 黒褐色土 比較的粗粒の黄色軽石を多く含む。縄文時代中期。浅間六合軽石(As-Kn)。上面が平安時代の確認面。
- IV層 暗褐色土～黒褐色土 黄色軽石を多く含む。色調が特に暗い。主に縄文時代前期から中期。【II層と対比】
- V層 にぶい黄褐色土 暗褐色土にローム土を含む。
- VI層 縄文時代の堆積土。
- VII層 縄文時代に発生したと思われる斜面崩落による堆積土。【IV層と対比】
- VIII層 明るい色調で浅間草津黄色軽石粒を多く含む。
- IX層 黄褐色土 ローム漸移層。縄文時代早期。浅間総社軽石(As-Sj)。【V層と対比】
- X層 黄褐色ローム。ソフト化。
- XI層 ローム土ににぶい黄褐色土をブロック状に含む。【VI層と対比】
- XII層 浅間草津黄色軽石に伴う火山灰層。部分的に硬化。
- XIII層 黄褐色ローム。
- XIV層 浅間草津黄色軽石純層【VII層と対比】



第5図 基本土層

第3章 検出された遺構と遺物

第1節 遺跡の概要

本遺跡の発掘調査の対象地全域は、最上位河岸段丘面である。ここには下位に応桑泥流が、上位には関東ローム層終末期からの堆積以後の土壌が堆積している。その中には年代の鍵層となる軽石や火山灰も堆積しているが、純層ではなく攪拌された状態であり、文化層の把握がやや難しい状態である。

今回の発掘調査による調査面は2面(一部3面)である。確認できた遺構は、古い順に縄文時代、平安時代、及び中近世に属するものである。種類としては生産機能としての土坑が中心である。遺物は縄文時代、弥生時代、平安時代、及び中近世のものである。

調査面積は単面で約3,800㎡であるが、部分的に複数の文化面を有するものの、表土や遺物包含層が耕作などの影響で堆積が薄いために、時代に関係なく遺構確認面がほぼ同一になるため、時代ごとに遺構番号を付加することが出来なかった。

本章では時期の古い順にそれぞれ遺構の種類別に項目を設定し、個々の遺構について説明を加えた。そのため、遺構に付けられた番号順になっていない場合もある。次に、各時代ごとの遺構・遺物にその特徴をみていく事とする。

まず、旧石器時代は試掘トレンチを設定し調査した。As-YPk(浅間草津黄色軽石)を確認したものの、遺構や遺物は検出されなかった。

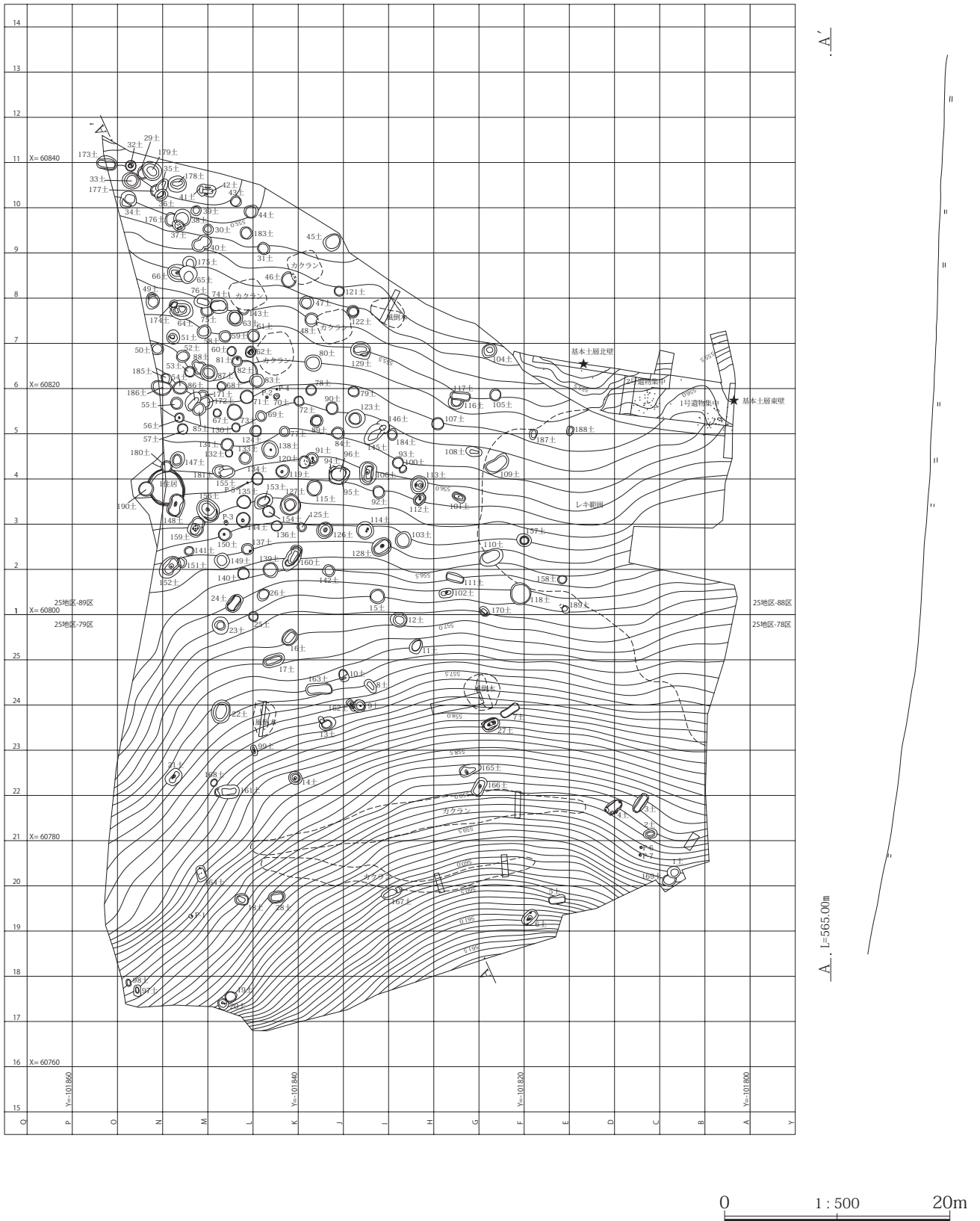
本書で報告する縄文時代は、基本土層のIV層からV層にかけて、遺構として竪穴住居や遺物集中地点などの遺構が多数検出されている。遺物としては中期後半の加曾利E式などの土器や、打製石鏃、打製石斧などの石器が出土している。

次に、平安時代では、北側への傾斜する地形のために住居の南壁の残りが悪いものの、基本土層のII層からIII層にかけて、陥し穴を主体に検出した。この遺構の埋没土層の特徴として、浅間Bテフラと呼ばれる1108(天仁元)年浅間山給源の軽石や火山灰は明確ではないものの、第III層の中に混じり込んでいる。さらに、浅間一粕川軽石と呼ばれる1128(大治3)年に降り積もった火山灰が、埋没途中の陥し穴の堆積層中で検出されていることから、

平安時代の陥し穴が数多く存在したと考えられる。

この他に多数の土坑、ピットなどが検出されているが、あるいはこの中に掘立柱建物群に関連するものも存在するのかもしれない。

出土遺物は縄文時代中期後半の遺物集中での土器や石器を除くと、僅かに近世の施釉陶器や寛永通寶が出土している。



第6図 川原湯中原Ⅲ遺跡全体図

第2節 縄文時代

この時期は、文化層の第3面に相当する。確認面・遺構検出面は主に第Ⅱ層下面から第Ⅲ層にかけてであり、基本土層の第Ⅲ層が包含層である。

検出された遺構は竪穴住居であり、縄文時代中期後半1棟、それに縄文時代中期後半の遺物集中地点が2か所が検出されている。

1 竪穴住居

1号竪穴住居(第8図、P L . 3)

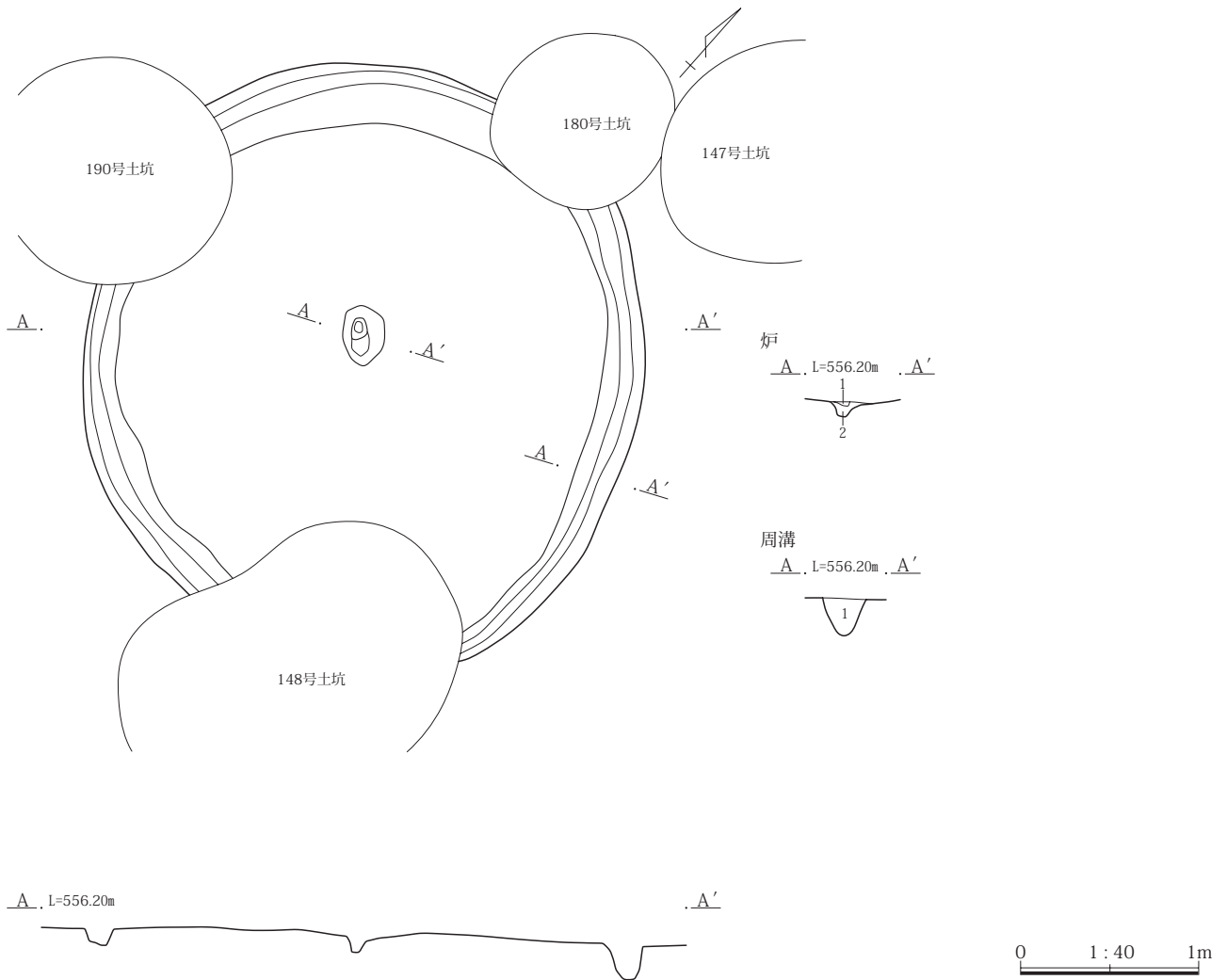
89区M・N-3・4グリッドに位置する。重複関係は3基の148・180・190号土坑とで、床が壊されていることから、新旧関係3基の土坑が新しい。表土が薄いために、検出時には既に住居の床が露出していた。掘り方でやっと確認できたが、ほぼ円形である。遺構確認面から

の深さは約5cm前後と浅く、壁はほとんど不明瞭である。床面は多少の凹凸を有しながらもほぼ平坦な面で、硬く締まっていた。僅かな埋没土は基本土層の第Ⅳ層から第Ⅴ層を中心としている。床のほぼ中央部に浅い掘り込みが存在し、埋没土中に僅かに焼土が混入することから、炉と判定した。床下からは土坑やピットは確認出来なかったが、周溝は確認されたことから、竪穴住居と判定した。遺物はほとんど出土していないが、形状から縄文中期と考えられる。

2 遺物集中

1号遺物集中(第9・10図、P L . 28・30)

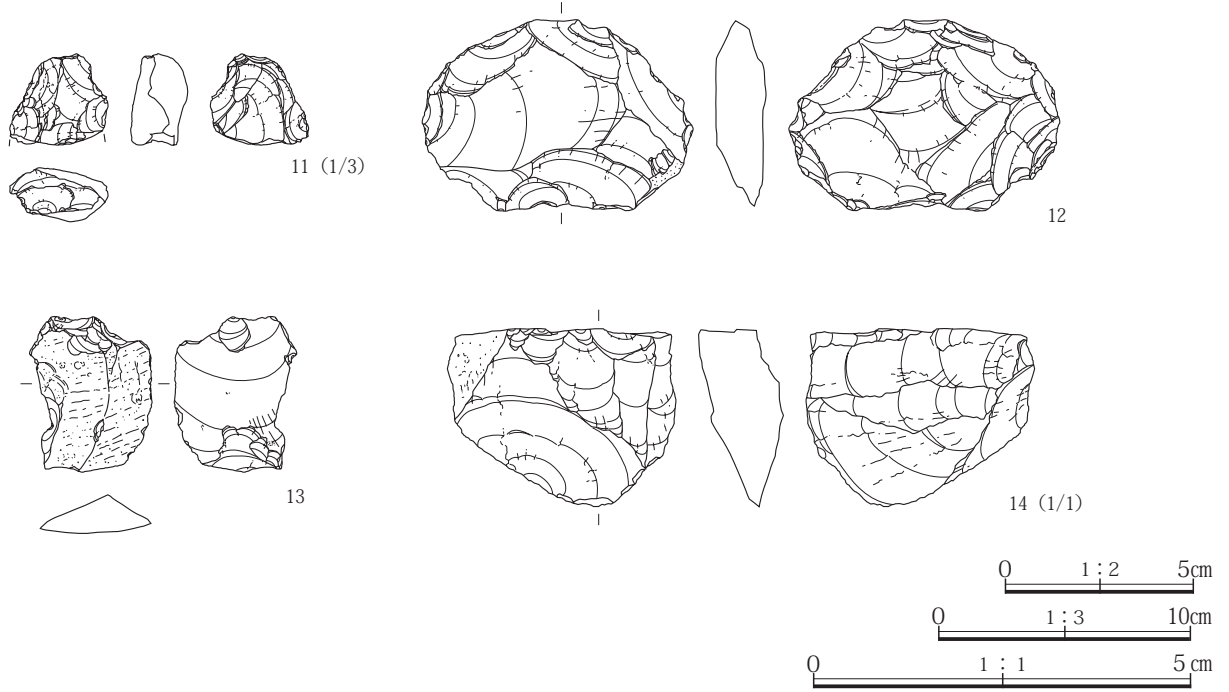
89区A-5、B-4・5グリッドに位置する。重複関係はない。規模は長軸3.0m、短軸2.4mの楕円形の分布である。壁や床などは認められない。埋没土は基本土層



第8図 1号竪穴住居



第10図 遺物集中出土遺物(1)



第11図 遺物集中出土遺物(2)

の第IV層から第V層を中心としている。周囲に土坑ピットや周溝は確認出来なかった。遺物は、縄文時代中期後半の加曾利E式土器や打製石斧等の石器である。

2号遺物集中(第9～11図、P L .28・30)

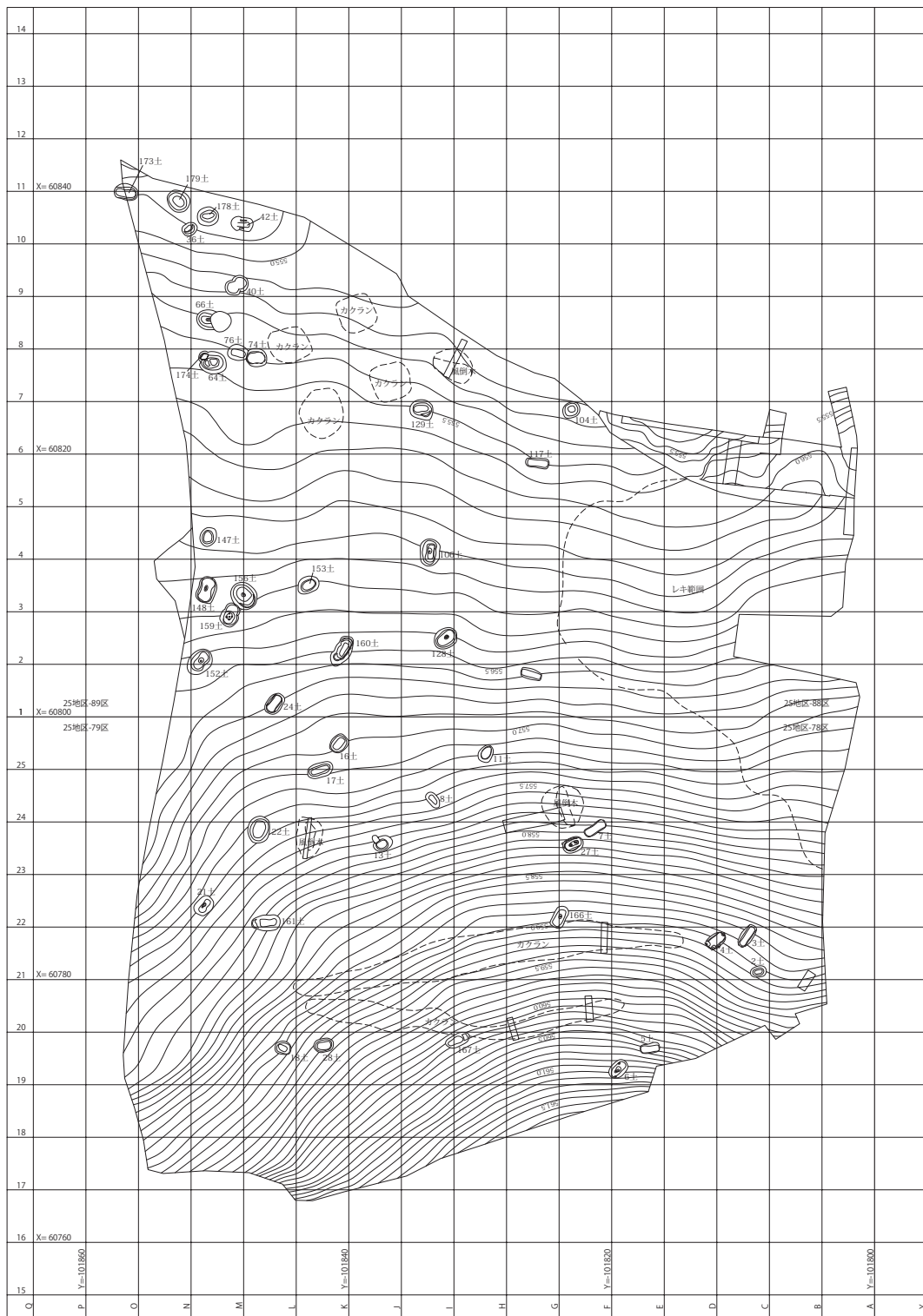
89区B・C-5・6グリッドに位置する。重複関係はない。規模は長軸3.0m、短軸2.8mの楕円形の分布である。壁や床などは認められない。埋没土は基本土層の第IV層から第V層を中心としている。周囲に土坑ピットや周溝は確認出来なかった。遺物は、縄文時代中期後半の加曾利E式土器や打製石斧等の石器である。1号遺物集中地点に比べて、遺物の出土数も分布範囲も少ない。

1号も2号もあるいは円形の分布で、住居状の遺構が想定できるのかもしれない。

第3節 平安時代

本遺跡では、平安時代の遺構、及び遺物が出土している。遺構は主に土坑の中の陥し穴のA類であり、詳細は

第4章で記述している。遺物は須恵器の坏など僅かな点数である。



第12図 川原湯中原Ⅲ遺跡平安時代遺構分布図

1 土坑

本遺跡から出土した土坑については、形状や規模、埋没土の様子などから大きく4類に分類した。1類は遺構確認時の検出形状が楕円形で、現状での遺構掘削時の基本土層Ⅵ層のローム土とⅦ層の浅間草津黄色軽石(As-Ypk)との深度との対比において推定される掘削時の平安時代の土層面から約1m以上と深いことや、掘削終了後の底部の形状が隅丸長方形であることから陥し穴と認定した。2類は遺構確認時も掘削終了時も円形で、土坑の1類と同様に中世の土層面から約1m以上と深いことや、掘削終了後の底部の形状が円形であることから、1類と同様に陥し穴と認定したが、底部の中央にピットが伴う事例もある。3類は2類と同様の円形だが、推定掘削面からの深度が浅い資料を集めた。4類は1・2・3類に該当しない形状・規模の土坑を集めたものである。

このように、1類と2類については陥し穴と認定したが、さらに、「上ノ平Ⅰ遺跡(3)」の方向で行った陥し穴の分類に沿ってしてみると、1類の隅丸長方形については陥し穴でのA類とし、その時期について長野原地区で顕著な浅間粕川テフラ(As-K)が混ざり込む埋没土の様子や形状から、この地域での典型的な平安時代後期と判断した。それに対して、2類の円形については陥し穴のB類とし、その時期について埋没土の様子や形状から、中世と判断した。

2号土坑(第13図、P L . 3)

位置は79区C-21グリッドである。規模は長軸1.23m、短軸0.84m、深さ0.90mで、形状は楕円形である。主軸方位はN-73°-E。所見は土坑の1類で、陥し穴のA類である。

3号土坑(第13図、P L . 3)

位置は79区C-21・22グリッドである。規模は長軸1.86m、短軸0.94m、深さ0.73mで、形状は隅丸長方形である。主軸方位はN-35°-E。所見は土坑の1類で、陥し穴のA類である。

4号土坑(第13図、P L . 3)

位置は79区C・D-21グリッドである。規模は長軸1.56m、短軸1.00m、深さ1.06mで、形状は隅丸長方形であ

る。主軸方位はN-50°-E。所見は土坑の1類で、陥し穴のA類である。

5号土坑(第13図、P L . 4)

位置は79区E-19グリッドである。規模は長軸1.48m、短軸0.76m、深さ0.84mで、形状は隅丸長方形である。主軸方位はN-82°-E。所見は土坑の1類で、陥し穴のA類である。

6号土坑(第14図、P L . 4)

位置は79区E・F-19グリッドである。規模は長軸1.60m、短軸1.08m、深さ0.88mで、形状は隅丸長方形である。主軸方位はN-47°-E。所見は土坑の1類で、陥し穴のA類である。

7号土坑(第14図、P L . 4)

位置は79区F-23・24グリッドである。規模は長軸1.74m、短軸0.74m、深さ0.88mで、形状は隅丸長方形である。主軸方位はN-56°-E。所見は土坑の1類で、陥し穴のA類である。

8号土坑(第14図、P L . 4)

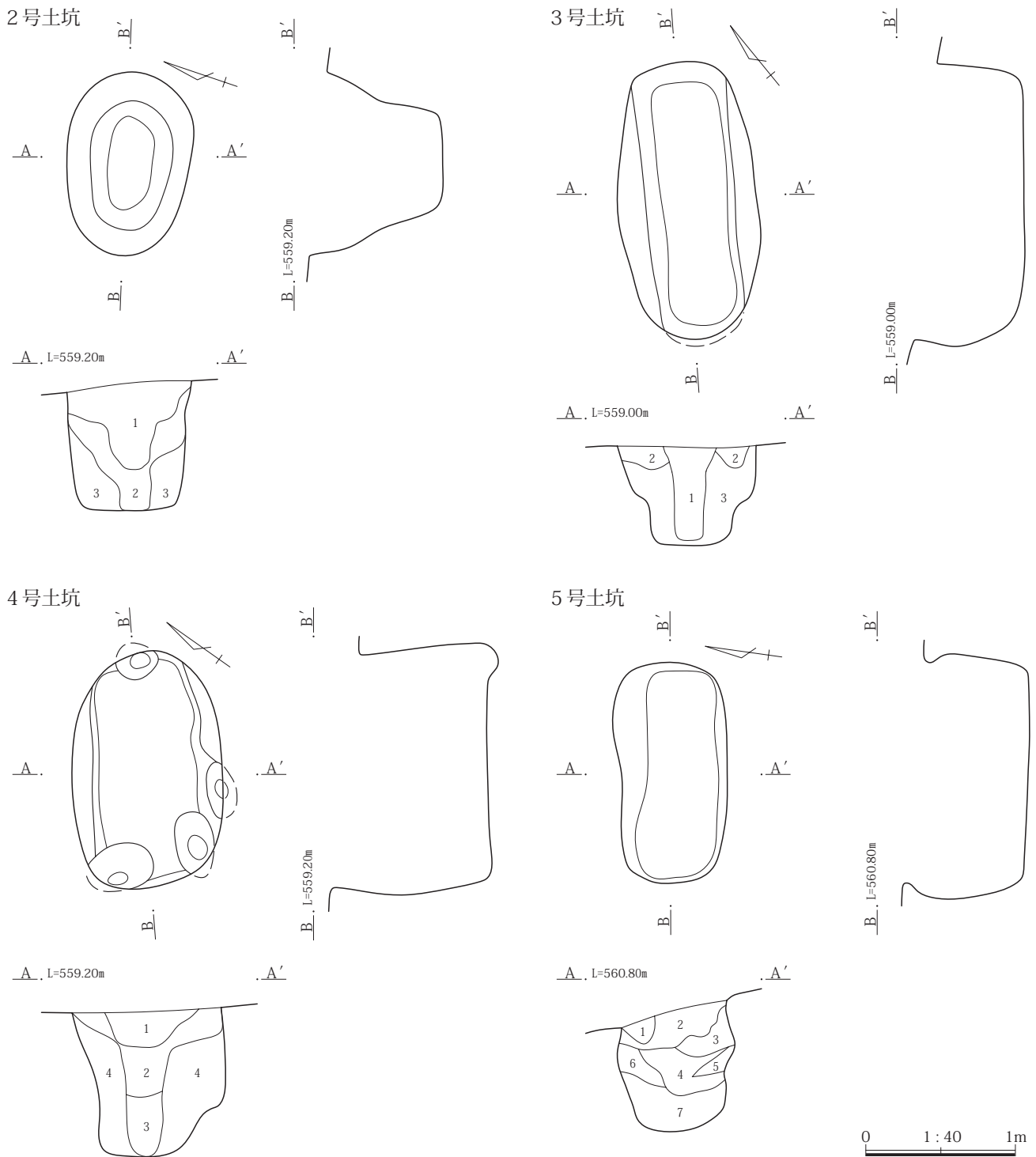
位置は79区I-24グリッドである。規模は長軸1.36m、短軸0.76m、深さ0.67mで、形状は隅丸長方形である。主軸方位はN-42°-W。所見は土坑の1類で、陥し穴のA類である。

11号土坑(第14図、P L . 4)

位置は79区H-25グリッドである。規模は長軸1.36m、短軸1.06m、深さ0.88mで、形状は隅丸長方形である。主軸方位はN-30°-E。所見は土坑の1類で、陥し穴のA類である。

13号土坑(第15図、P L . 4)

位置は79区J-23グリッドである。規模は長軸1.50m、短軸1.15m、深さ2.23mで、形状は隅丸長方形である。主軸方位はN-63°-E。所見は土坑の1類で、陥し穴のA類である。



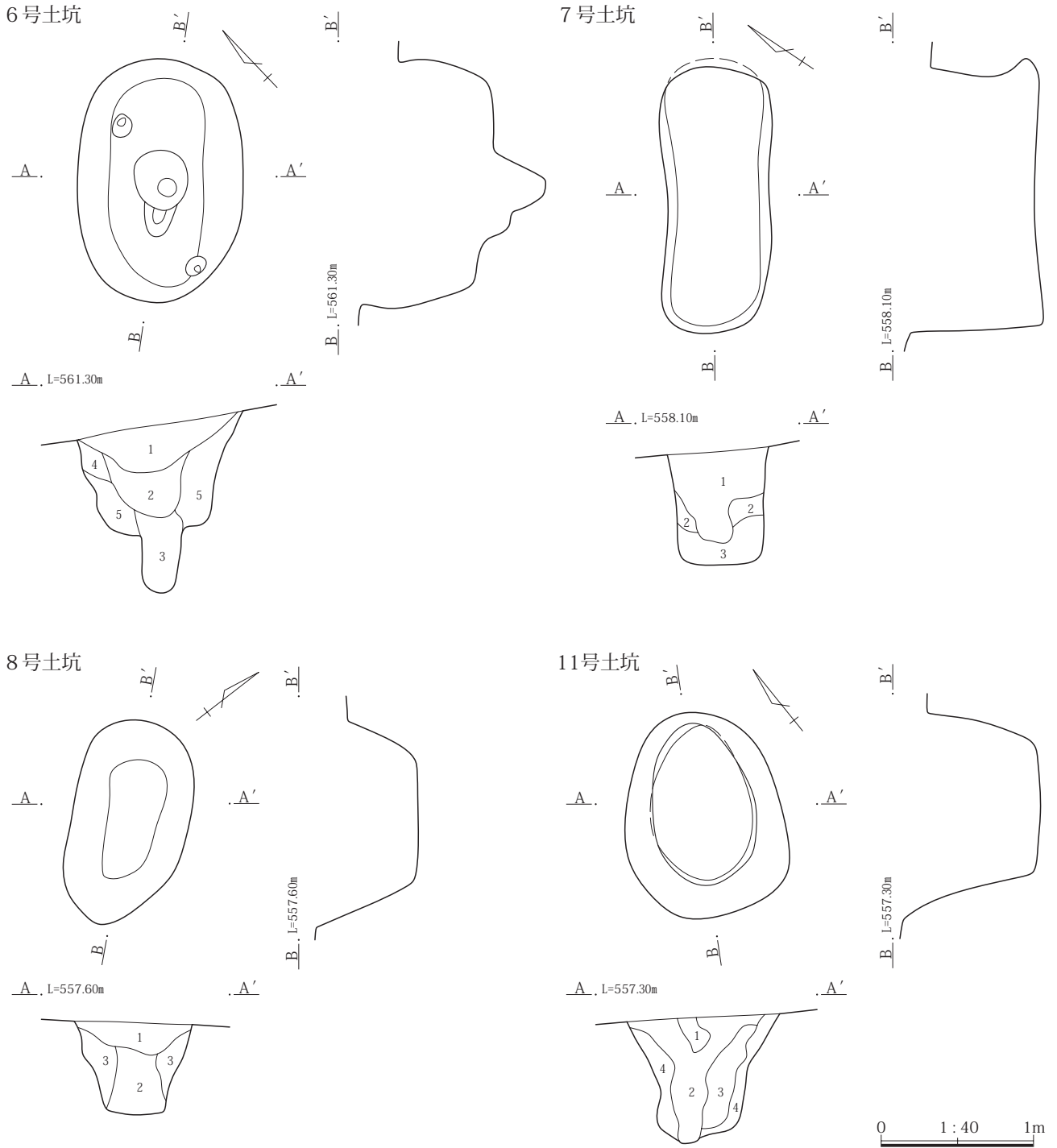
第13図 土坑(1)

16号土坑(第15図、P L. 4)

位置は79区K-25グリッドである。規模は長軸1.45m、短軸1.22m、深さ0.79mで、形状は隅丸長方形である。主軸方位はN-40°-E。所見は土坑の1類で、陥し穴のA類である。

17号土坑(第15図、P L. 4・5)

位置は79区K-24・25グリッドである。規模は長軸2.00m、短軸1.08m、深さ1.04mで、形状は隅丸長方形である。主軸方位はN-70°-E。所見は土坑の1類で、陥し穴のA類である。



第14図 土坑(2)

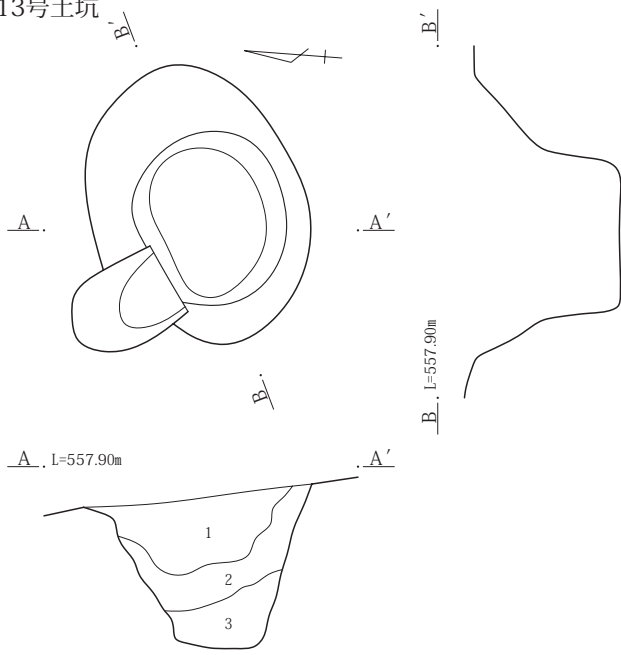
18号土坑(第15図、P L . 5)

位置は79区L-19グリッドである。規模は長軸1.22m、短軸1.00m、深さ0.90mで、形状は隅丸長方形である。主軸方位はN-79°-W。所見は土坑の1類で、陥し穴のA類である。

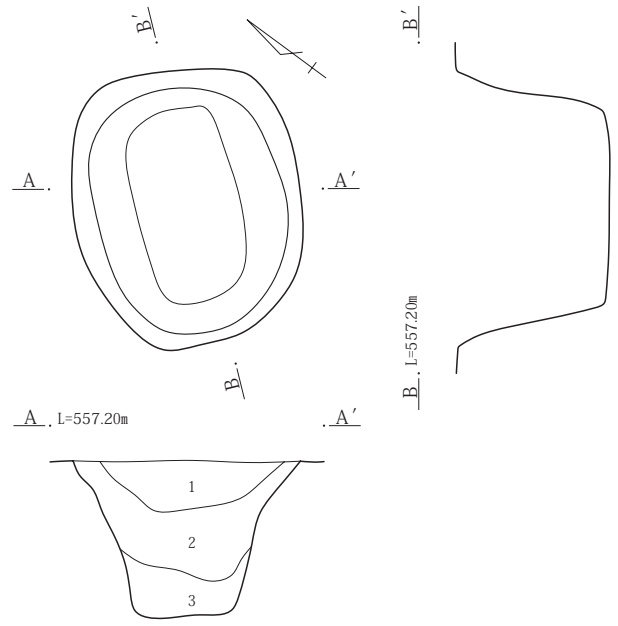
21号土坑(第16図、P L . 5)

位置は79区M-22グリッドである。規模は長軸1.60m、短軸1.22m、深さ0.94mで、形状は隅丸長方形である。主軸方位はN-46°-E。所見は土坑の1類で、陥し穴のA類である。

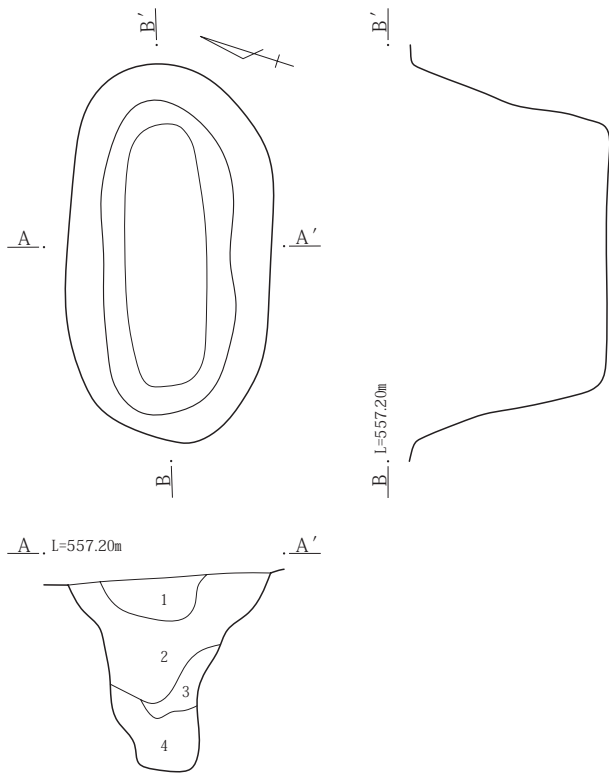
13号土坑



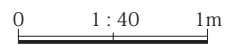
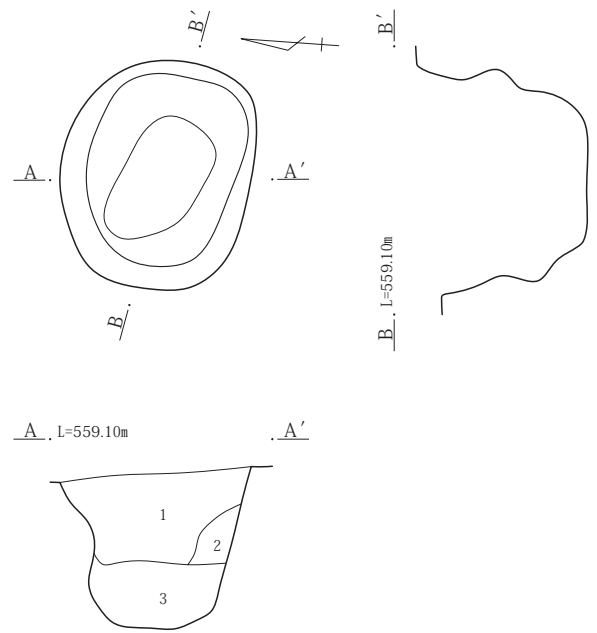
16号土坑



17号土坑



18号土坑



第15図 土坑(3)

第3章 検出された遺構と遺物

22号土坑(第16図、P L . 5)

位置は79区L-23・24グリッドである。規模は長軸2.06m、短軸1.64m、深さ1.05mで、形状は楕円形である。主軸方位はN-10°-E。所見は土坑の1類で、陥し穴のA類である。

24号土坑(第16図、P L . 5)

位置は89区L-1グリッドである。規模は長軸1.72m、短軸1.18m、深さ0.77mで、形状は隅丸長方形である。主軸方位はN-36°-E。所見は土坑の1類で、陥し穴のA類である。

27号土坑(第16図、P L . 5)

位置は79区F-23グリッドである。規模は長軸1.60m、短軸1.11m、深さ1.30mで、形状は隅丸長方形である。主軸方位はN-65°-E。所見は土坑の1類で、陥し穴のA類である。

28号土坑(第17図、P L . 5)

位置は79区K-19グリッドである。規模は長軸1.52m、短軸1.03m、深さ1.09mで、形状は隅丸長方形である。主軸方位はN-77°-E。所見は土坑の1類で、陥し穴のA類である。

36号土坑(第17図、P L . 5)

位置は89区M・N-10グリッドである。規模は長軸1.17m、短軸0.96m、深さ0.97mで、形状は楕円形である。主軸方位はN-66°-E。新旧関係は、35・177号土坑より古い。所見は土坑の1類で、陥し穴のA類である。

40号土坑(第17図、P L . 5・6)

位置は89区L・M-9グリッドである。規模は長軸1.84m、短軸1.30m、深さ0.82mで、形状は隅丸長方形である。主軸方位はN-61°-E。所見は土坑の1類で、陥し穴のA類である。

42号土坑(第17図、P L . 6)

位置は89区L・M-10グリッドである。規模は長軸(1.15)m、短軸1.00m、深さ0.70mで、形状は隅丸長方形である。長軸方位はN-81°-W。新旧関係は、41号土

坑より古い。所見は土坑の1類で、陥し穴のA類である。

64号土坑(第18図、P L . 6)

位置は89区M-7グリッドである。規模は長軸1.94m、短軸1.70m、深さ1.24mで、形状は隅丸長方形である。主軸方位はN-76°-W。新旧関係は174号土坑とは不明。所見は土坑の1類で、陥し穴のA類である。

66号土坑(第18図、P L . 6)

位置は89区M-8グリッドである。規模は長軸1.52m、短軸(1.06)m、深さ0.72mで、形状は隅丸長方形か？主軸方位はN-82°-W。新旧関係は65号土坑より古い。所見は土坑の1類で、陥し穴のA類である。

74号土坑(第18図、P L . 6)

位置は89区L-7・8グリッドである。規模は長軸1.55m、短軸1.40m、深さ0.66mで、形状は隅丸長方形である。主軸方位はN-86°-E。新旧関係は75・76号土坑より古い。所見は土坑の1類で、陥し穴のA類である。

76号土坑(第18図、P L . 6)

位置は89区L・M-7・8である。規模は長軸(1.48)m、短軸1.20m、深さ0.78mで、形状は隅丸長方形である。主軸方位はN-72°-W。新旧関係は74・75号土坑より古い。所見は土坑の1類で、陥し穴のA類である。

104号土坑(第18図、P L . 6)

位置は89区F-6グリッドである。規模は長軸1.32m、深さ1.18mで、形状は隅丸長方形である。所見は土坑の1類で、陥し穴のA類である。

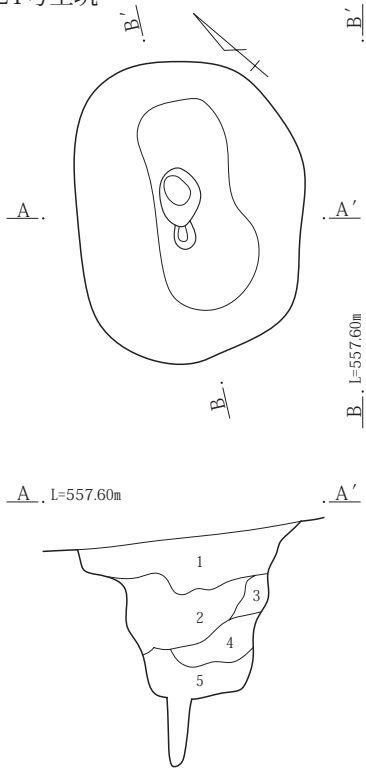
106号土坑(第19図、P L . 6)

位置は89区I-3・4グリッドである。規模は長軸2.06m、短軸1.50m、深さ1.00mで、形状は隅丸長方形である。主軸方位はN-7°-E。所見は土坑の1類で、陥し穴のA類である。

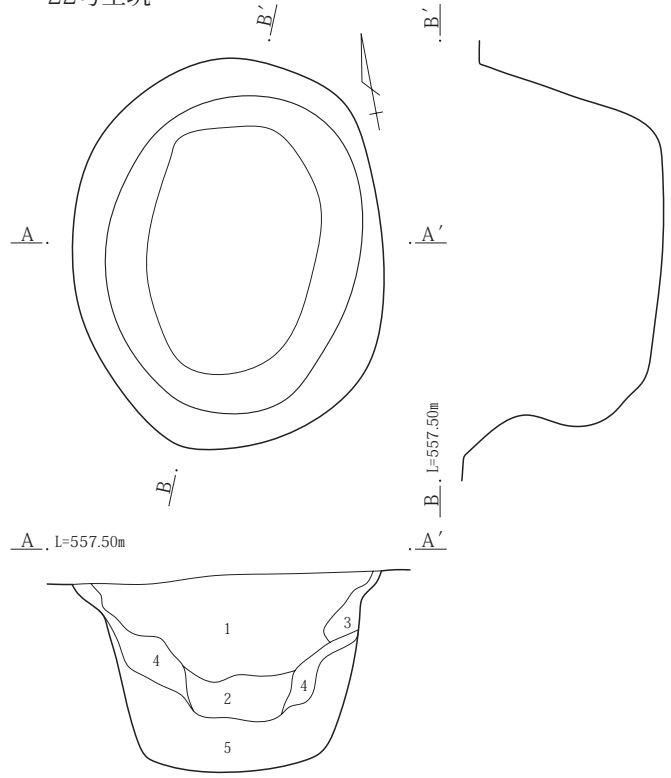
111号土坑(第19図、P L . 7)

位置は89区G-1グリッドである。規模は長軸1.62m、短軸0.80m、深さ1.07mで、形状は隅丸長方形である。

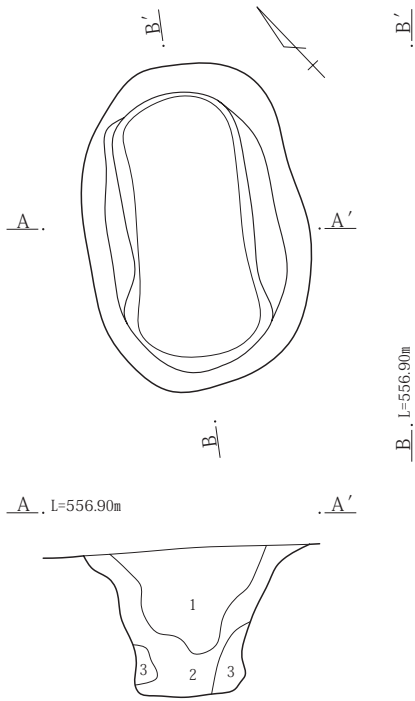
21号土坑



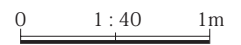
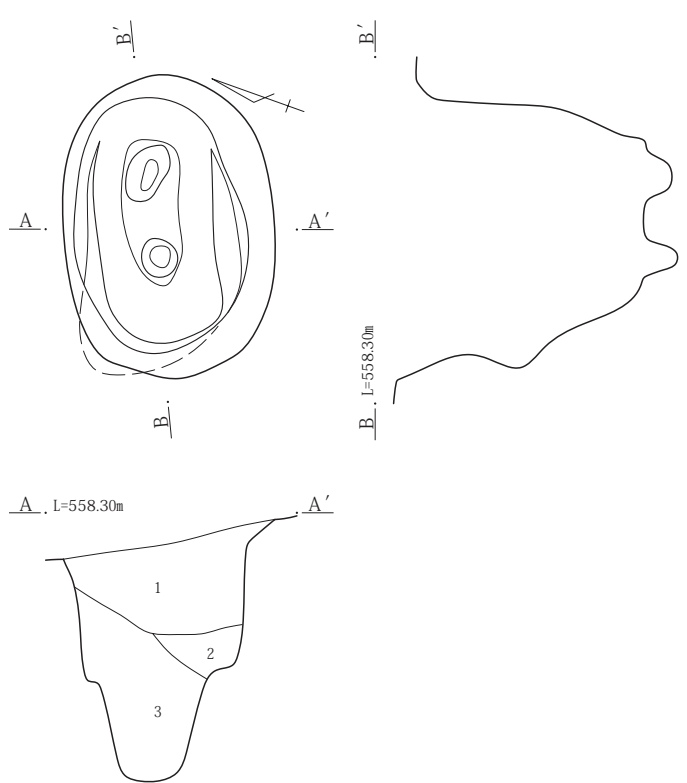
22号土坑



24号土坑

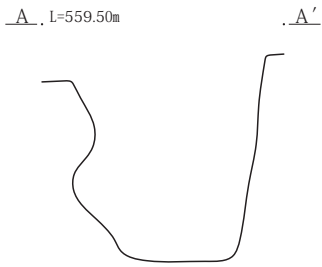
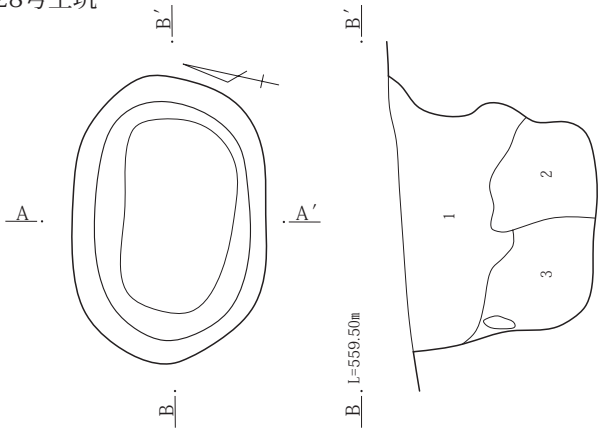


27号土坑

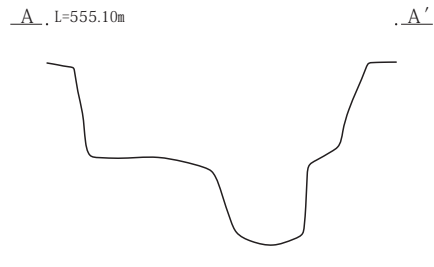
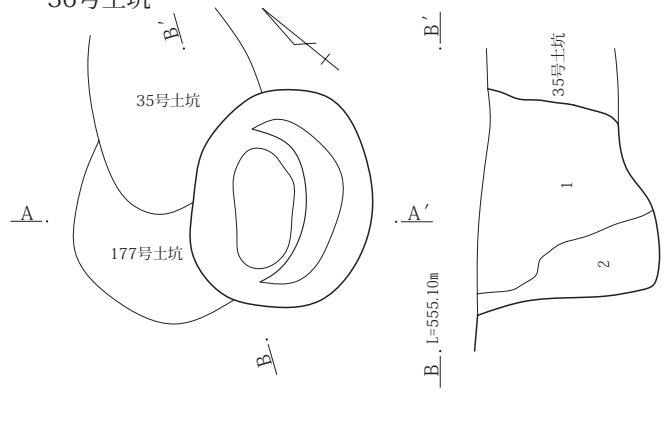


第16図 土坑(4)

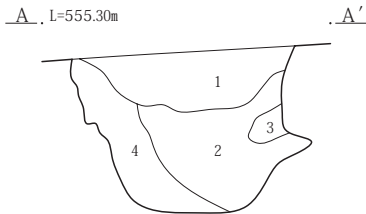
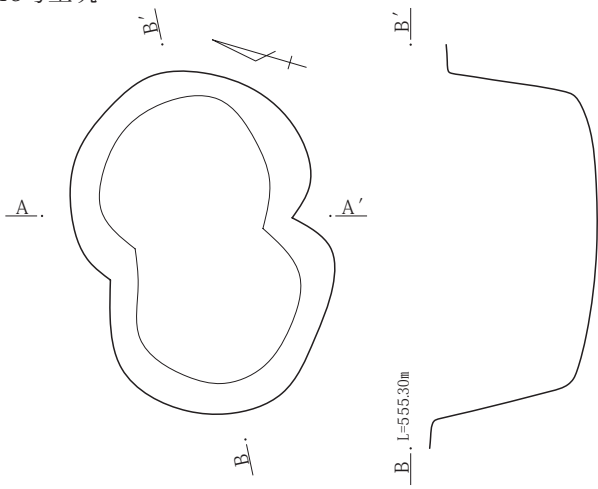
28号土坑



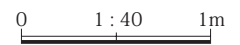
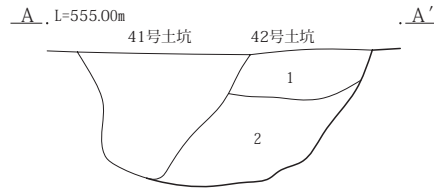
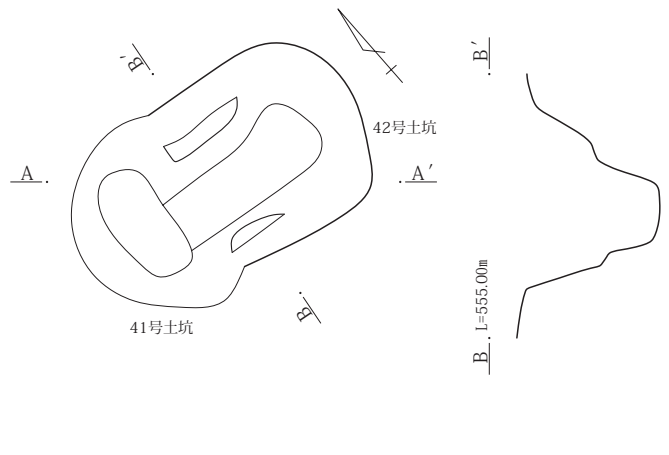
36号土坑



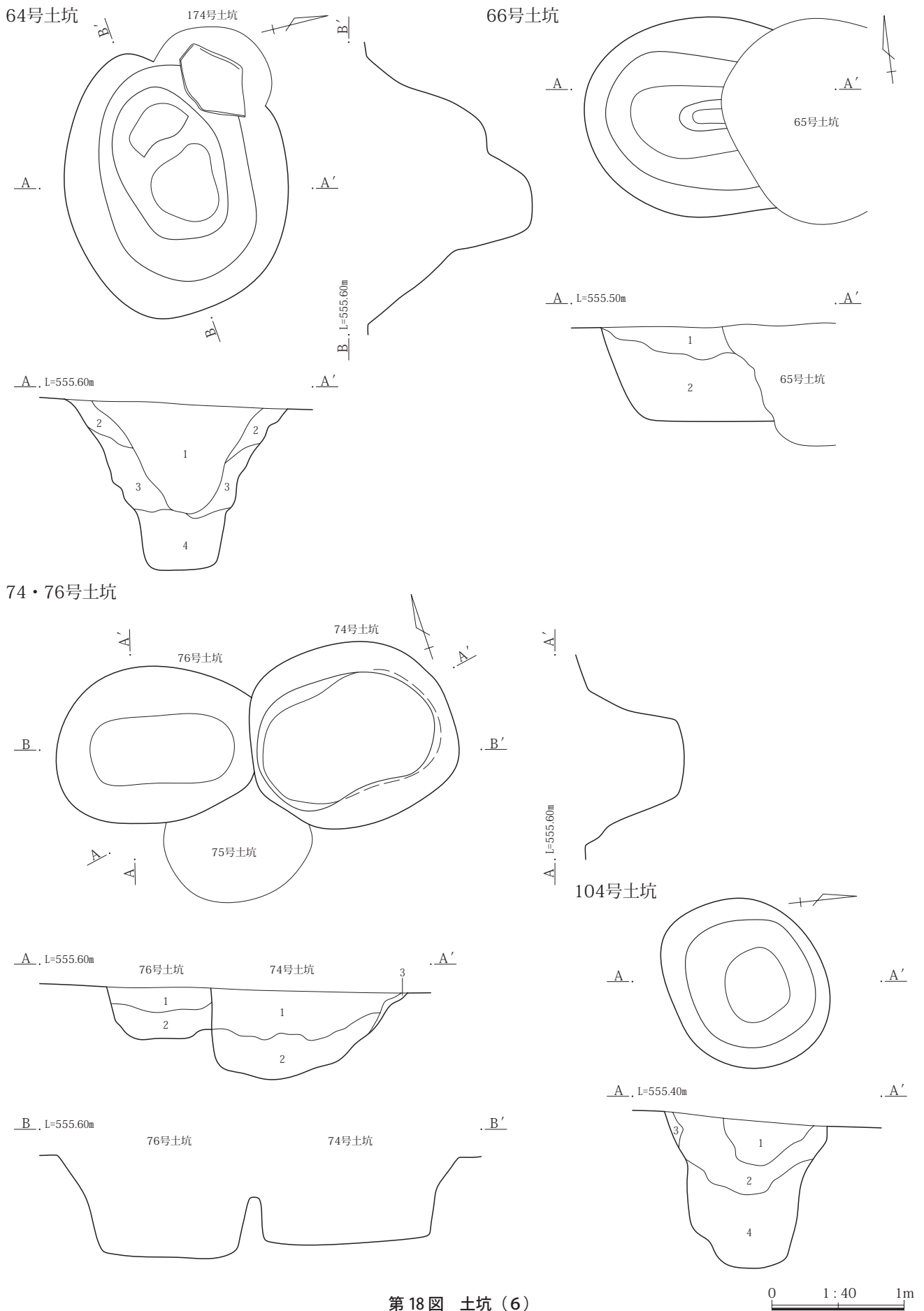
40号土坑



42号土坑



第17図 土坑(5)



第18図 土坑(6)

0 1:40 1m

第3章 検出された遺構と遺物

主軸方位はN-73°-W。所見は土坑の1類で、陥し穴のA類である。

117号土坑(第19図、P L . 7)

位置は89区G-5グリッドである。規模は長軸1.80m、短軸0.76m、深さ1.07mで、形状は隅丸長方形である。主軸方位はN-84°-W。新旧関係は116号土坑より古い。所見は土坑の1類で、陥し穴のA類である。

128号土坑(第19図、P L . 7)

位置は89区H・I-2グリッドである。規模は長軸1.88m、短軸1.48m、深さ1.11mで、形状は楕円形である。主軸方位はN-55°-E。所見は土坑の1類で、陥し穴のA類である。

129号土坑(第20図、P L . 7)

位置は89区I-6・7グリッドである。規模は長軸1.77m、短軸1.47m、深さ1.39mで、形状は隅丸長方形である。主軸方位はN-74°-W。所見は土坑の1類で、陥し穴のA類である。

147号土坑(第20図、P L . 7)

位置は89区M-4グリッドである。規模は長軸1.46m、短軸1.22m、深さ0.83mで、形状は楕円形である。主軸方位はN-17°-E。新旧関係は180号土坑より古い。所見は土坑の1類で、陥し穴のA類である。

148号土坑(第20図、P L . 7)

位置は89区M-3グリッドである。規模は長軸2.00m、短軸1.38、深さ0.82mで、形状は隅丸長方形である。主軸方位はN-20°-E。所見は土坑の1類で、陥し穴のA類である。

152号土坑(第21図、P L . 7)

位置は89区M・N-1・2グリッドである。規模は長軸2.18m、短軸1.56m、深さ0.90mで、形状は隅丸長方形である。主軸方位はN-46°-E。新旧関係は151号土坑より古い。所見は土坑の1類で、陥し穴のA類である。

153号土坑(第20図、P L . 7・8)

位置は89区K-3グリッドである。規模は長軸1.72m、短軸1.24m、深さ0.95mで、形状は隅丸長方形である。主軸方位はN-61°-E。新旧関係は154号土坑より古い。所見は土坑の1類で、陥し穴のA類である。

156号土坑(第21図、P L . 8)

位置は89区L・M-3グリッドである。規模は長軸2.16m、短軸(1.87)m、深さ1.08mで、形状は隅丸長方形である。主軸方位はN-45°-W。新旧関係は159号土坑より古い。所見は土坑の1類で、陥し穴のA類である。

159号土坑(第21図、P L . 8)

位置は89区M-2・3グリッドである。規模は長軸1.78m、短軸1.36m、深さ1.17mで、形状は隅丸長方形である。主軸方位はN-26°-E。新旧関係は156号土坑より新しい。所見は土坑の1類で、陥し穴のA類である。

160号土坑(第22図、P L . 8)

位置は89区J・K-1・2グリッドである。規模は長軸2.52m、短軸1.30m、深さ1.54mで、形状は隅丸長方形である。主軸方位はN-32°-E。所見は土坑の1類で、陥し穴のA類である。

161号土坑(第22図、P L . 8)

位置は79区L-21・22グリッドである。規模は長軸2.17m、短軸1.20m、深さ0.77mで、形状は隅丸長方形である。主軸方位はN-87°-E。所見は土坑の1類で、陥し穴のA類である。

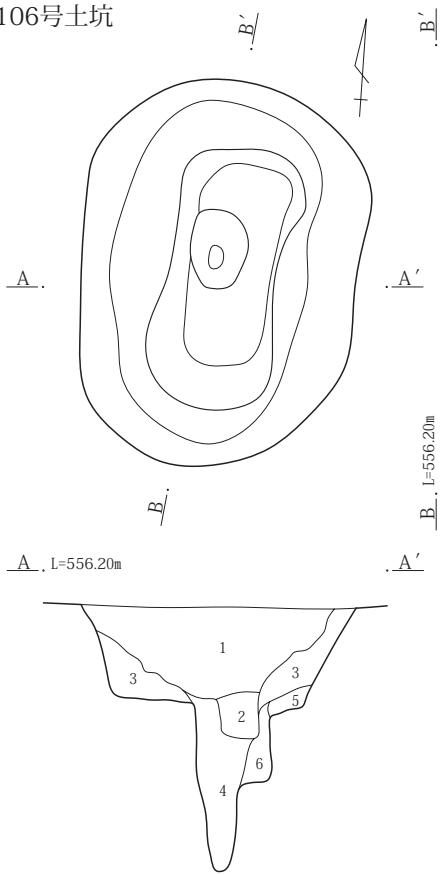
166号土坑(第22図、P L . 8)

位置は79区F・G-21・22グリッドである。規模は長軸1.72m、短軸0.96m、深さ0.71mで、形状は隅丸長方形である。主軸方位はN-26°-E。所見は土坑の1類で、陥し穴のA類である。

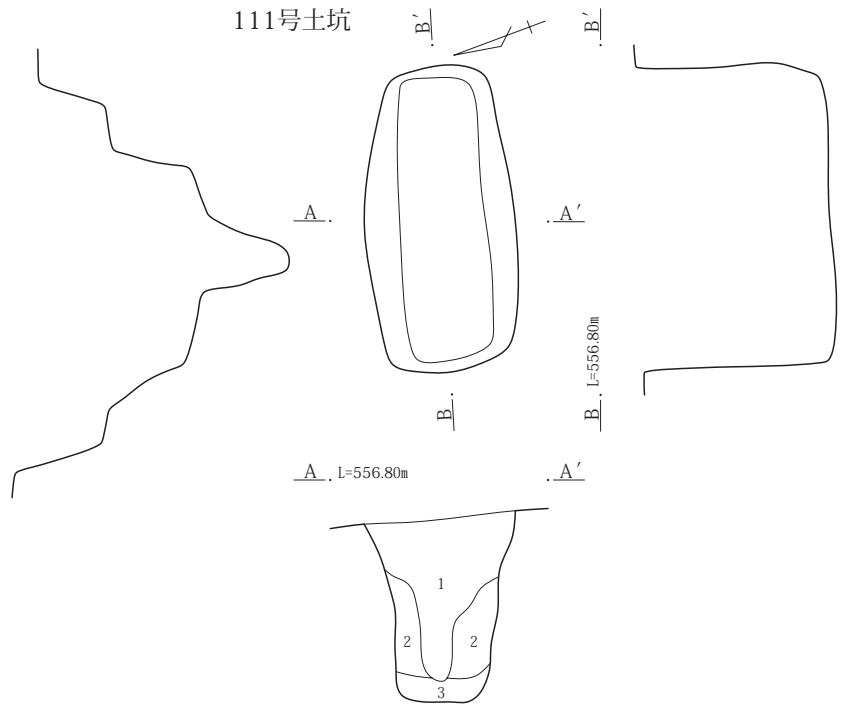
167号土坑(第22図、P L . 8)

位置は79区H・I-19グリッドである。規模は長軸1.90m、短軸0.93m、深さ1.18mで、形状は隅丸長方形である。主軸方位N-67°-E。所見は土坑の1類で、陥し穴

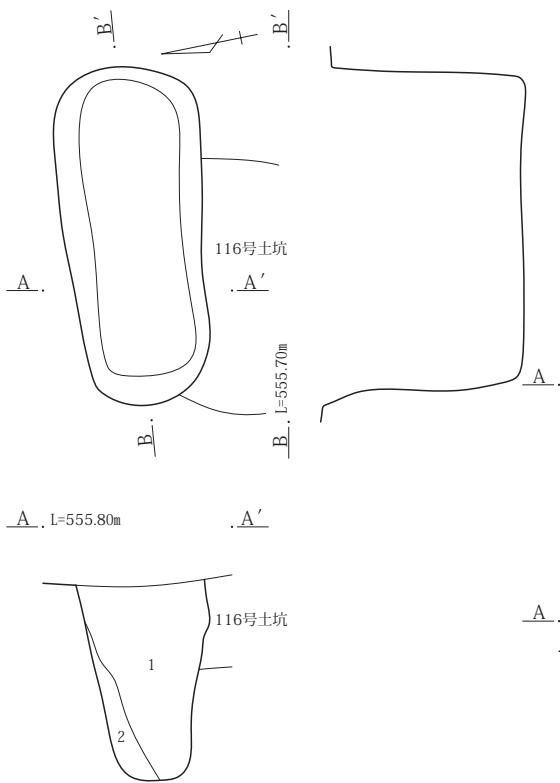
106号土坑



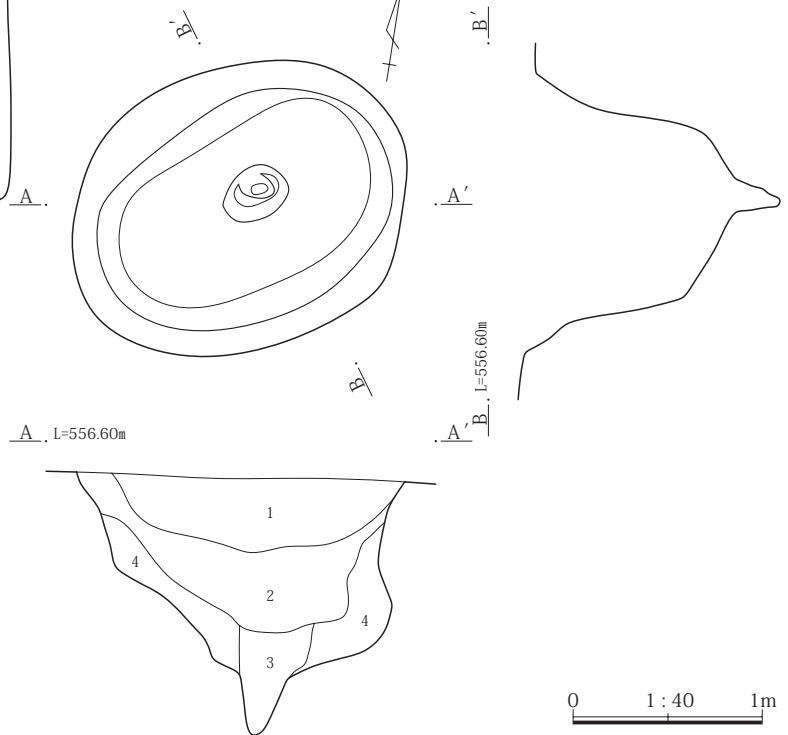
111号土坑



117号土坑

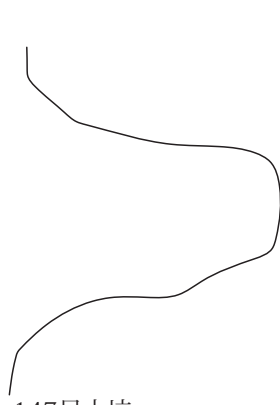
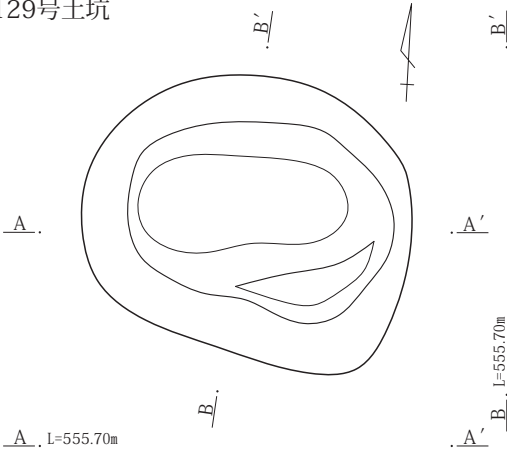


128号土坑



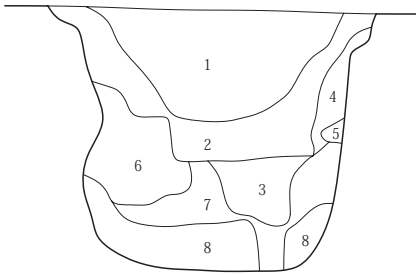
第19図 土坑(7)

129号土坑

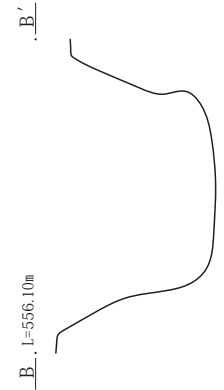
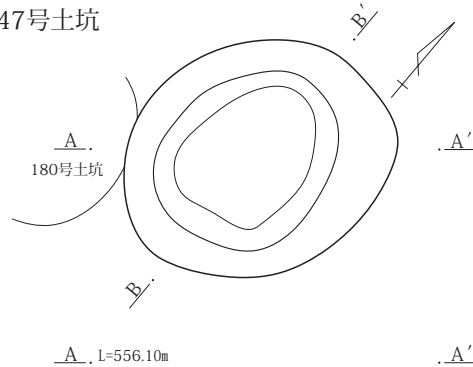


A, L=555.70m

A', L=555.70m
B, L=555.70m
B', L=555.70m



147号土坑

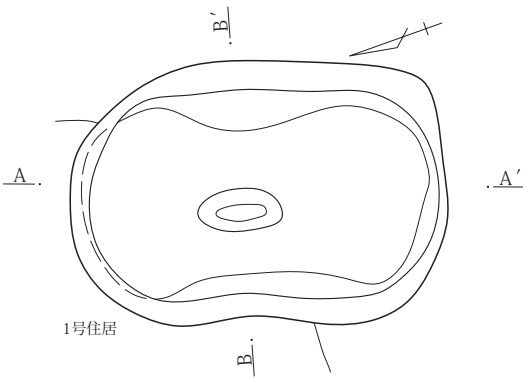


A, L=556.10m
180号土坑

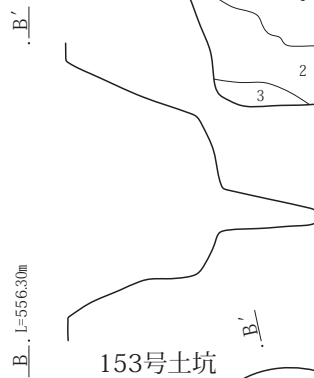
A, L=556.10m

B, L=556.10m

148号土坑



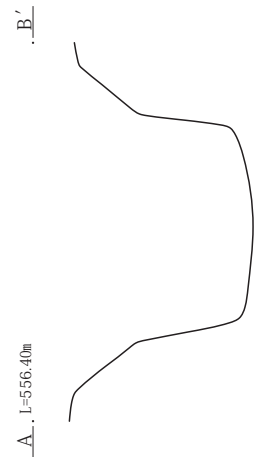
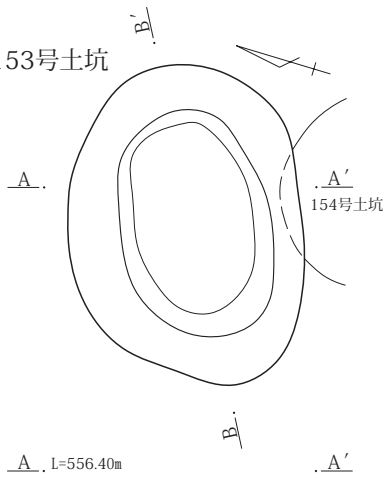
1号住居



A, L=556.30m

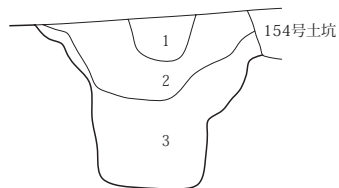
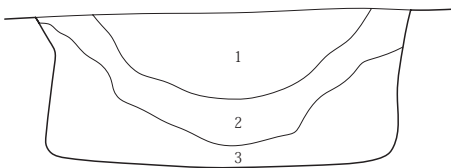
B, L=556.30m

153号土坑



A, L=556.40m

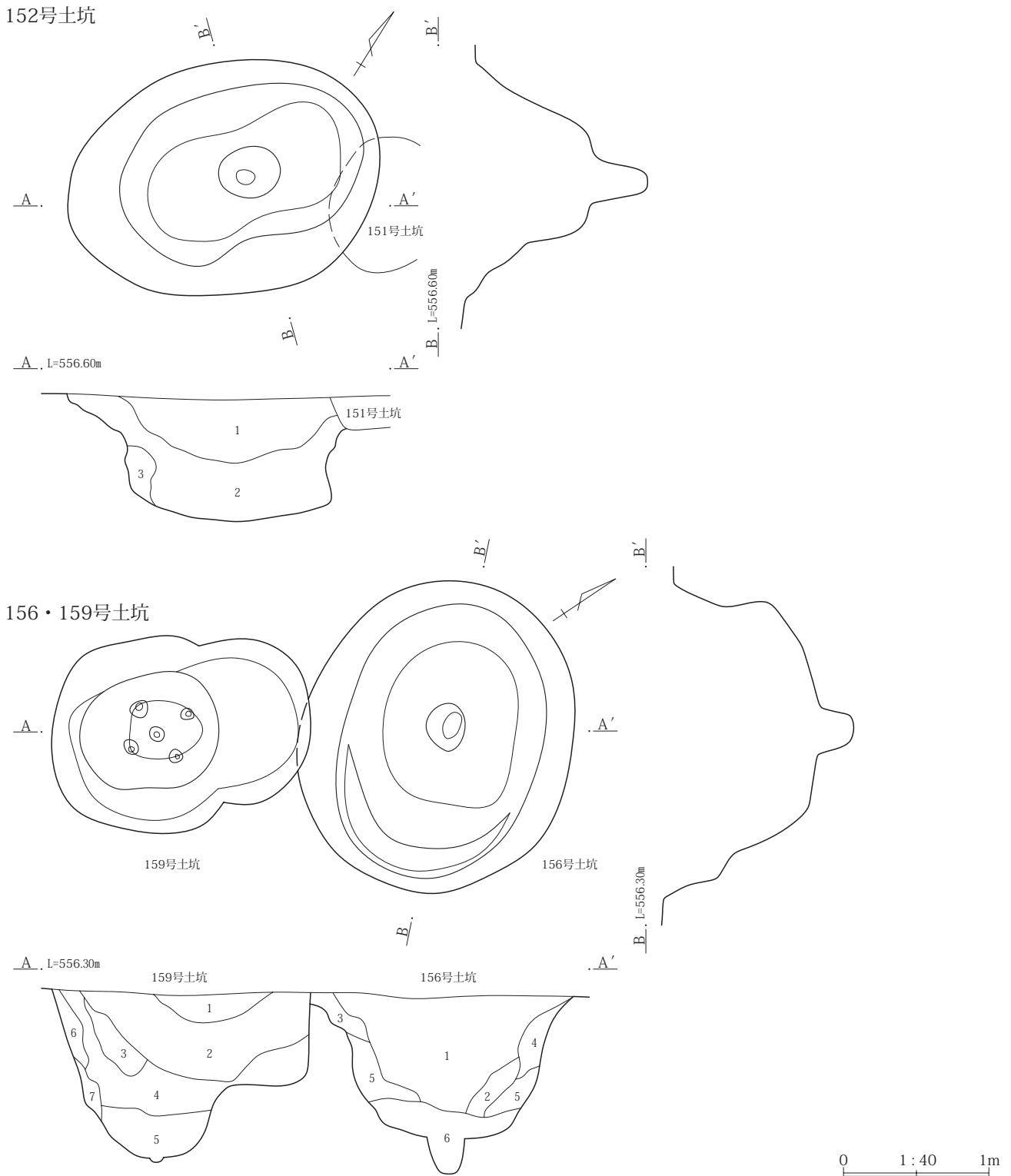
B, L=556.40m



154号土坑



第20図 土坑(8)



第21図 土坑(9)

のA類である。

173号土坑(第23図、P L . 8)

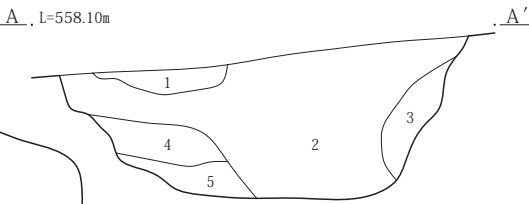
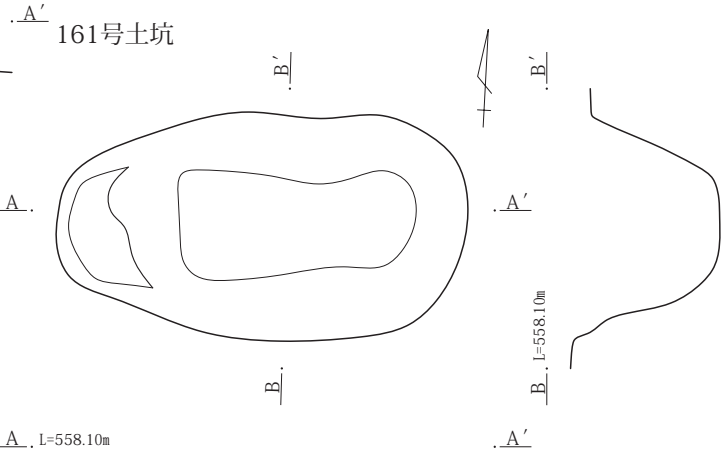
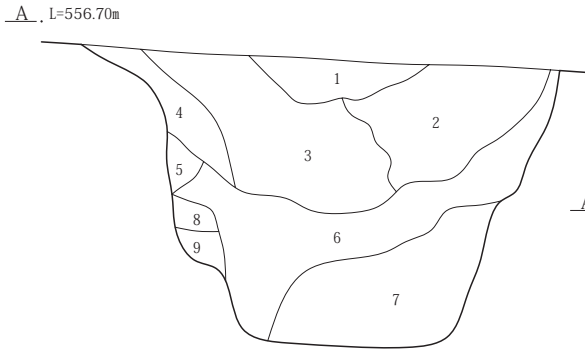
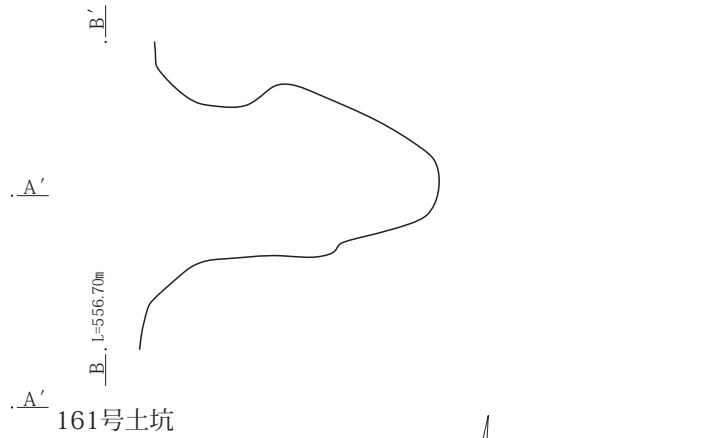
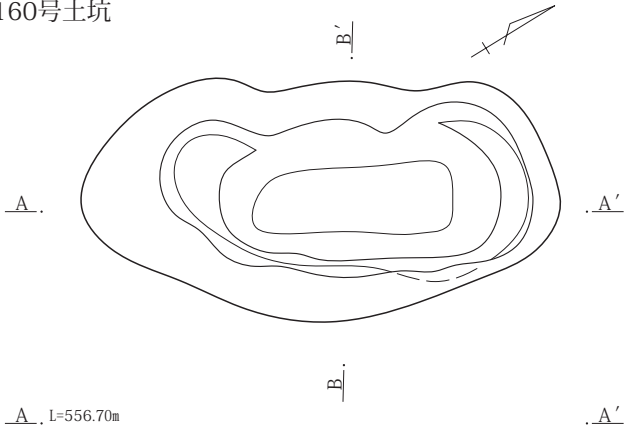
位置は89区O-10・11グリッドである。規模は長軸1.80m、短軸1.22m、深さ0.73mで、形状は隅丸長方形

である。主軸方位はN-82°-W。所見は土坑の1類で、陥し穴のA類である。

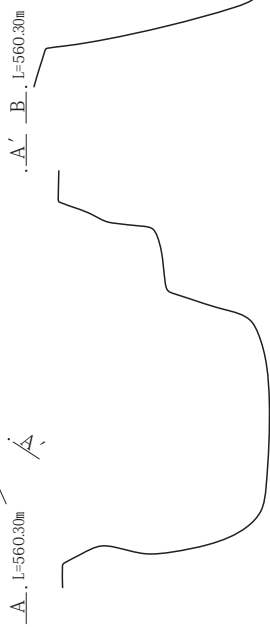
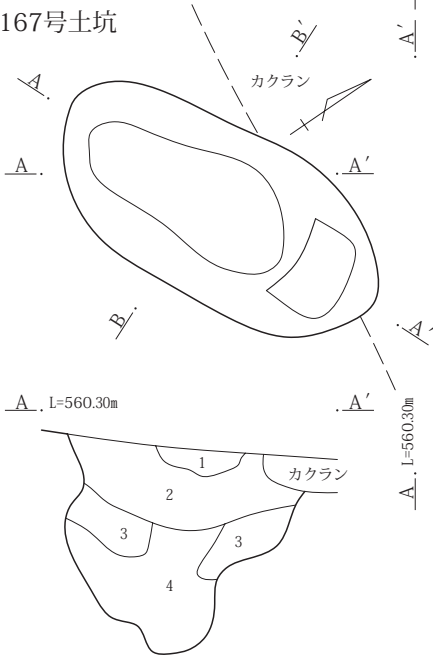
178号土坑(第23図、P L . 9)

位置は89区M-10グリッドである。規模は長軸1.60m、

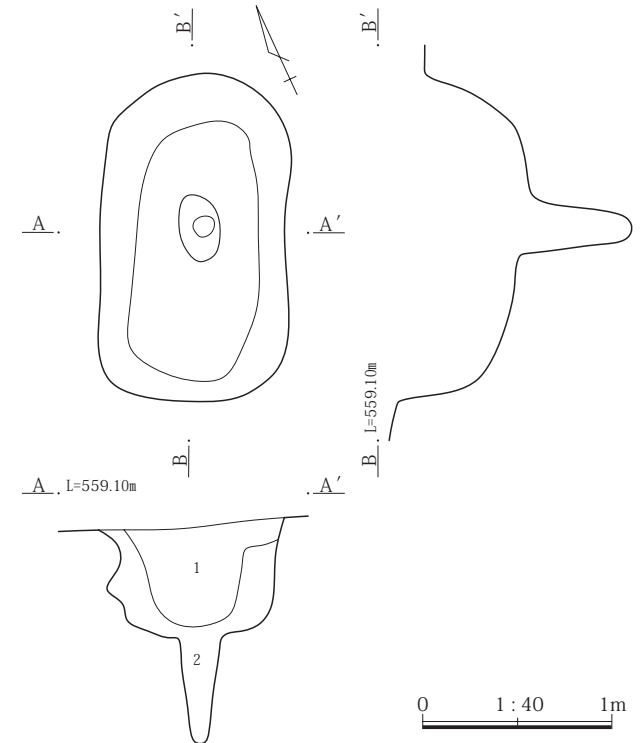
160号土坑



167号土坑

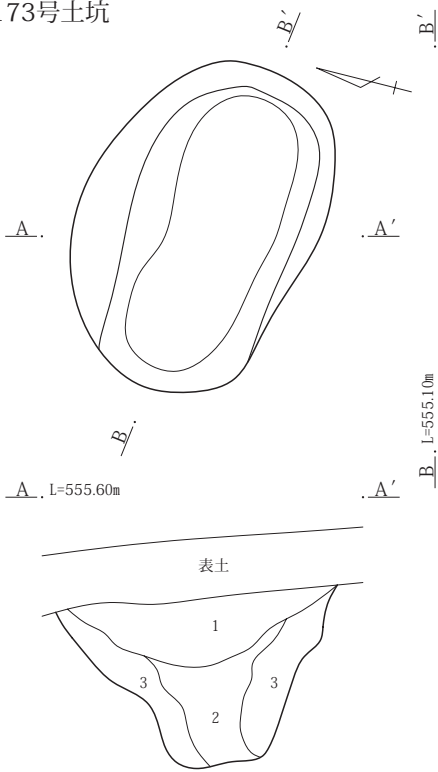


166号土坑

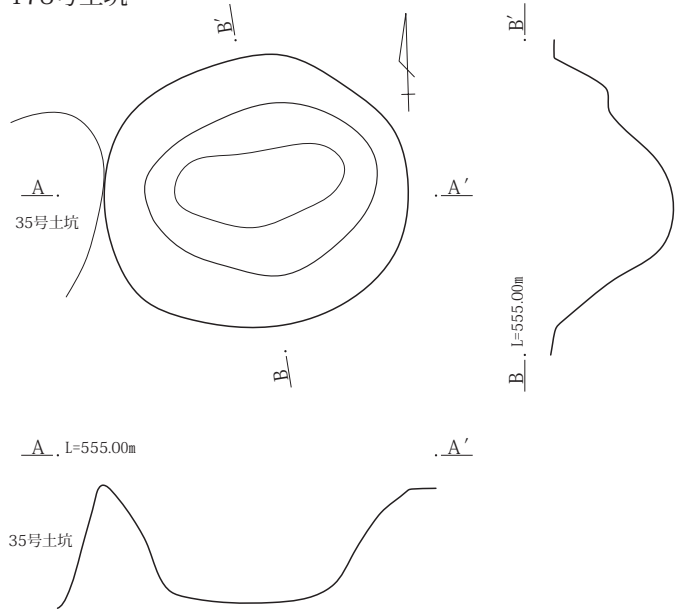


第22図 土坑 (10)

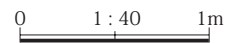
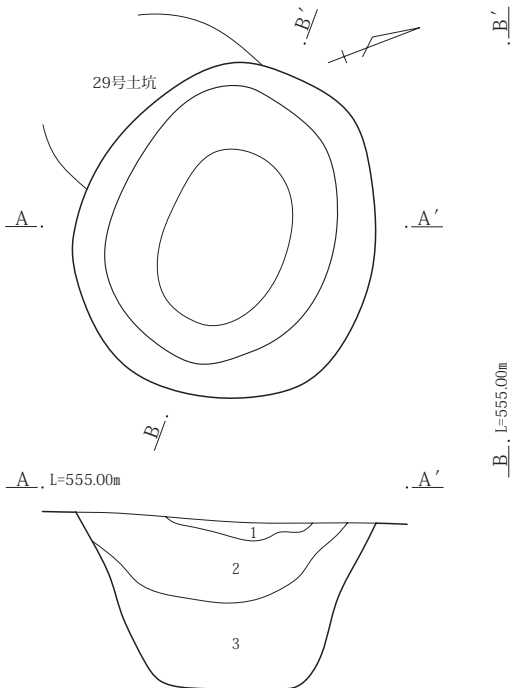
173号土坑



178号土坑



179号土坑



短軸1.40m、深さ0.62mで、形状は楕円形である。主軸方位はN-85°-E。所見は土坑の1類で、陥し穴のA類である。

179号土坑(第23図、P L . 9)

位置は89区N-10・11グリッドである。規模は長軸1.78m、短軸1.58m、深さ0.93mで、形状は隅丸長方形である。主軸方位はN-49°-W。新旧関係は29号土坑より古い。所見は土坑の1類で、陥し穴のA類である。

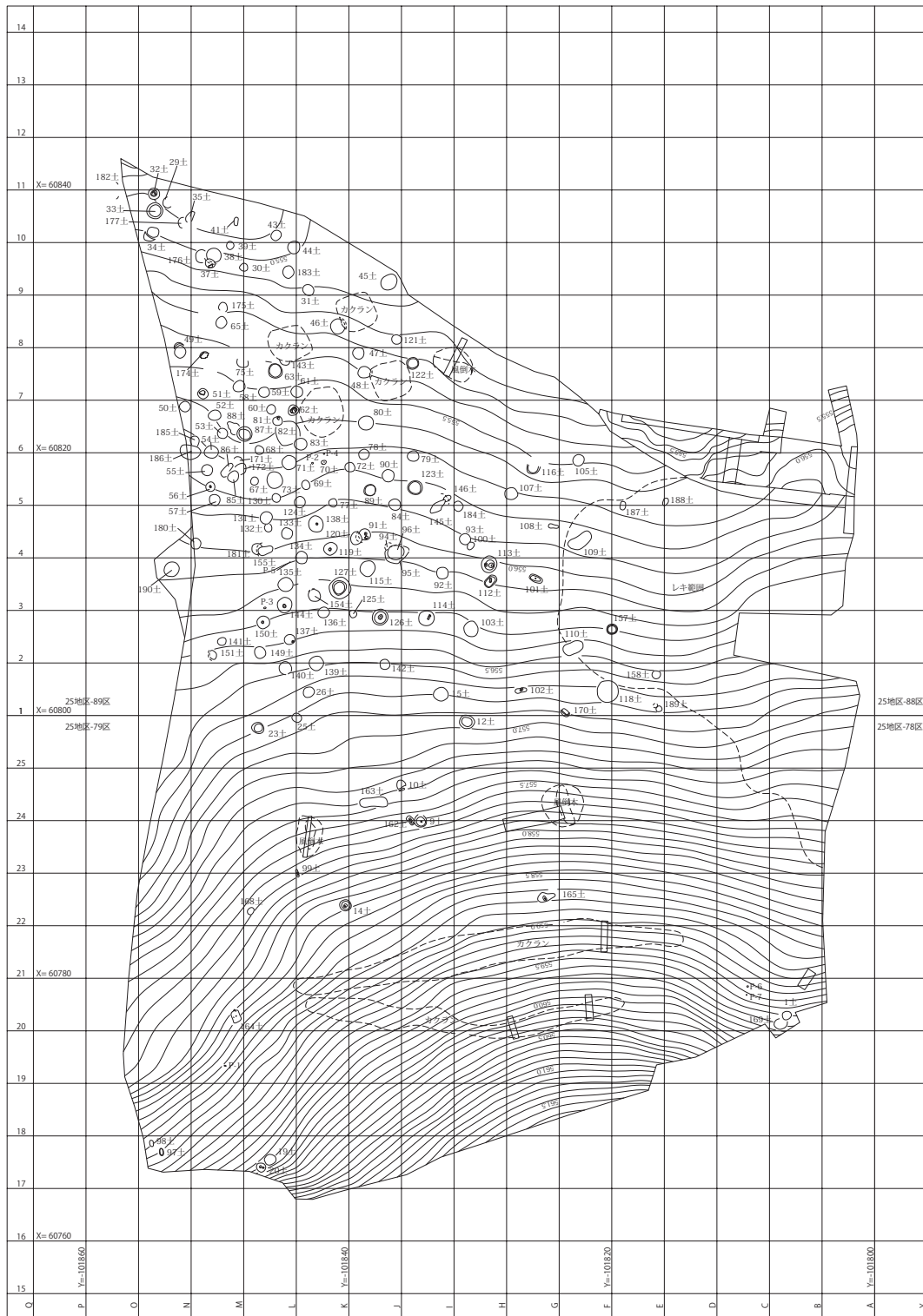
第23図 土坑 (11)

第4節 中近世以降

本遺跡では、中近世の遺構及び遺物が出土している。
遺構は主に土坑の中の陥し穴のB類や、その他の用途の

土坑、ピットなどであり、詳細は第4章で記述している。

遺物は陶磁器や軟質陶器、金属製品の銭貨や煙管など
少量である。



0 1 : 500 20m

第24図 川原湯中原Ⅲ遺跡中近世以降遺構分布図

1 土坑

14号土坑(第24図、P L . 9)

位置は79区J・K-22グリッドである。規模は径1.22m、深さ0.86mである。形状は円形である。所見は土坑の2類で、陥し穴のB類である。

23号土坑(第24図、P L . 9)

位置は79区L-25グリッドである。規模は径1.54m、深さ1.27mで、形状は円形である。所見は土坑の2類で、陥し穴のB類である。

33号土坑(第24図、P L . 9)

位置は89区N-10グリッドである。規模は径1.52m、深さ1.18mで、形状は円形である。所見は土坑の2類で、陥し穴のB類である。

37号土坑(第24図、P L . 9)

位置は89区M-9グリッドである。規模は長軸1.19m、短軸0.90m、深さ0.82mで、形状は楕円形である。主軸方位はN-58°-W。新旧関係は38号土坑より古い。所見は土坑の2類で、陥し穴のB類である。

38号土坑(第24図、P L . 9)

位置は89区M-9グリッドである。規模は径(1.52)m、深さ0.75mで、形状は円形である。新旧関係は37号土坑より新しい。所見は土坑の2類で、陥し穴のB類である。

48号土坑(第24図、P L . 9)

位置は89区J-7グリッドである。規模は径1.22m、深さ0.74mで、形状は円形である。所見は土坑の2類で、陥し穴のB類である。

49号土坑(第24図、P L . 9・10)

位置は89区N-7・8グリッドである。規模は長軸1.40m、短軸1.22m、深さ0.92mで、形状は楕円形である。主軸方位はN-18°-W。所見は土坑の2類で、陥し穴B類である。

51号土坑(第24図、P L .10)

位置は89区M-6・7グリッドである。規模は径1.28

m、深さ0.72mで、形状は円形である。所見は土坑の2類で、陥し穴のB類である。

58号土坑(第24図、P L .10)

位置は89区L・M-7グリッドである。規模は長軸1.23m、短軸1.15m、深さ0.70mで、形状は楕円形である。主軸方位はN-76°-E。所見は土坑の2類で、陥し穴のB類である。

63号土坑(第24図、P L .10)

位置は89区L-7グリッドである。規模は径1.42m、深さ0.90mで、形状は円形である。新旧関係は143号土坑とは不明。所見は土坑の2類で、陥し穴のB類である。

65号土坑(第25図、P L .10)

位置は89区M-8グリッドである。規模は径1.54m、深さ0.79mで、形状は円形である。新旧関係は66・175号土坑より新しい。所見は土坑の2類で、陥し穴のB類である。

85号土坑(第25図、P L .10)

位置は89区M-5グリッドである。規模は径1.18m、深さ0.77mで、形状は円形である。新旧関係は86・171・172号土坑より新しい。所見は土坑の2類で、陥し穴のB類である。

87号土坑(第25図、P L .10)

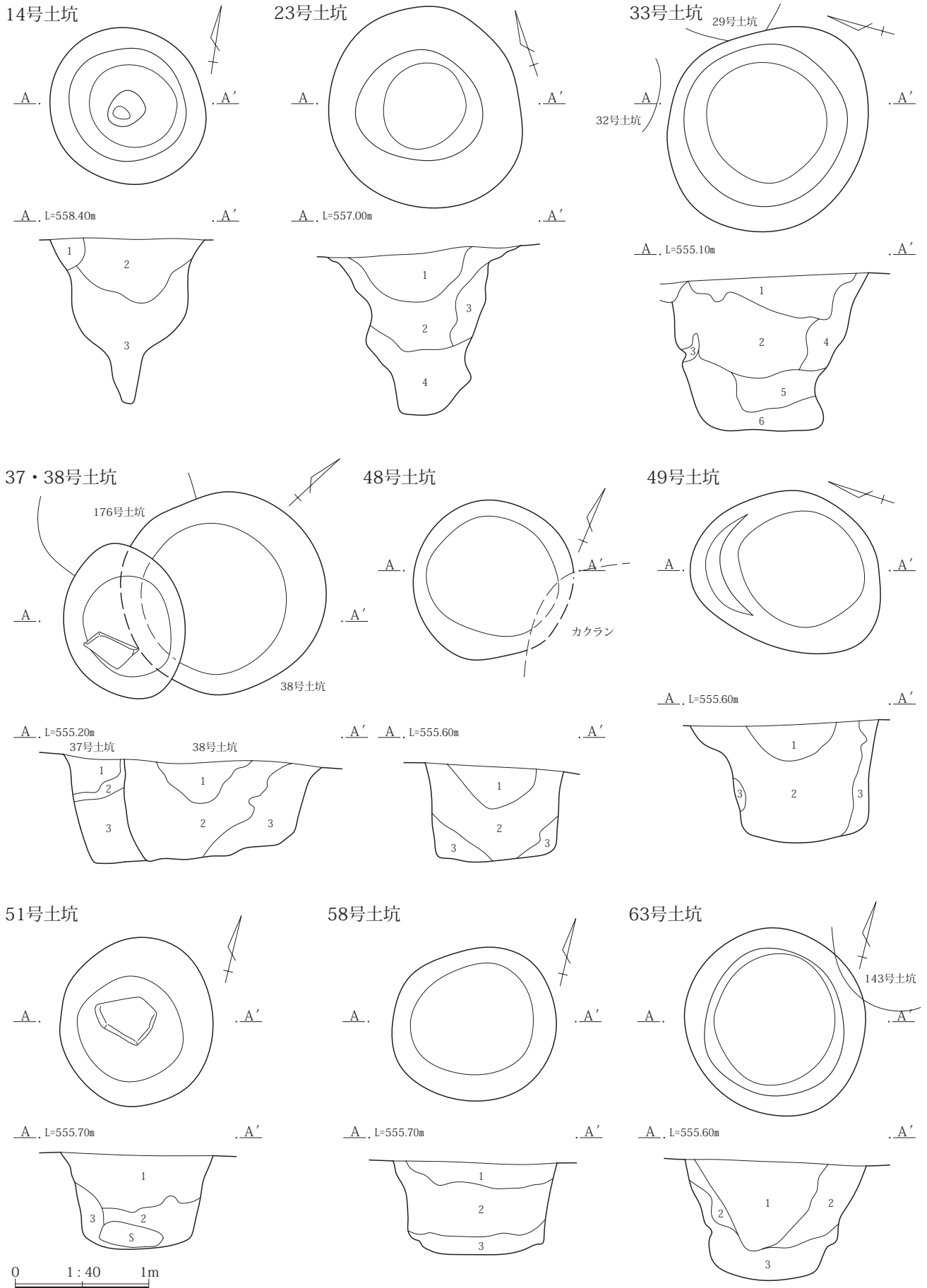
位置は89区L・M-6グリッドである。規模は径1.52m、深さ0.91mで、形状は円形である。新旧関係は88号土坑より新しい。所見は土坑の2類で、陥し穴のB類である。

89号土坑(第25図、P L .10)

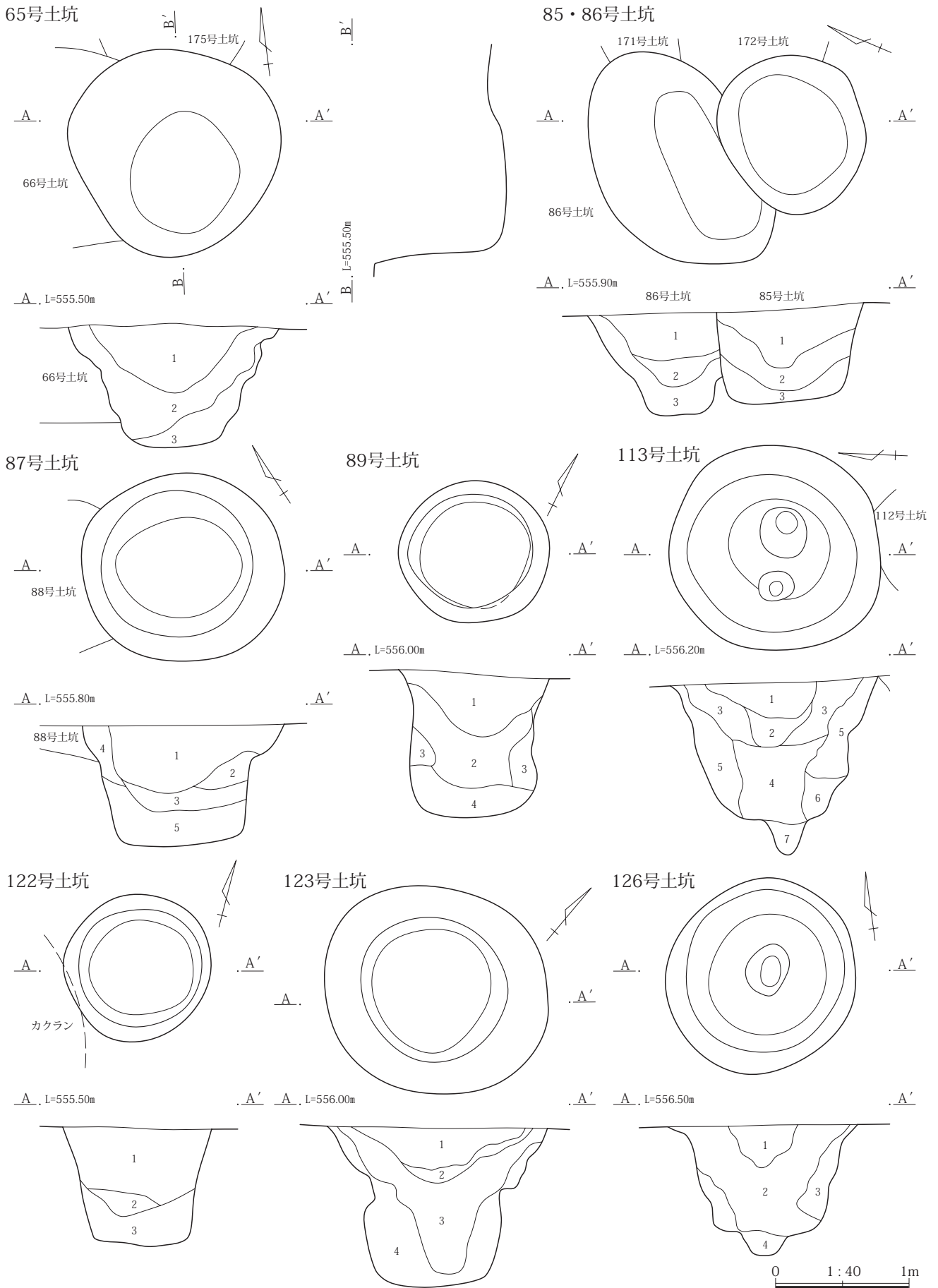
位置は89区J-5グリッドである。規模は径1.13m、深さ1.11mで、形状は円形である。所見は土坑の2類で、陥し穴のB類である。

113号土坑(第25図、P L .11)

位置は89区H-3・4グリッドである。規模は径1.58m、深さ1.03mで、形状は円形である。新旧関係は112

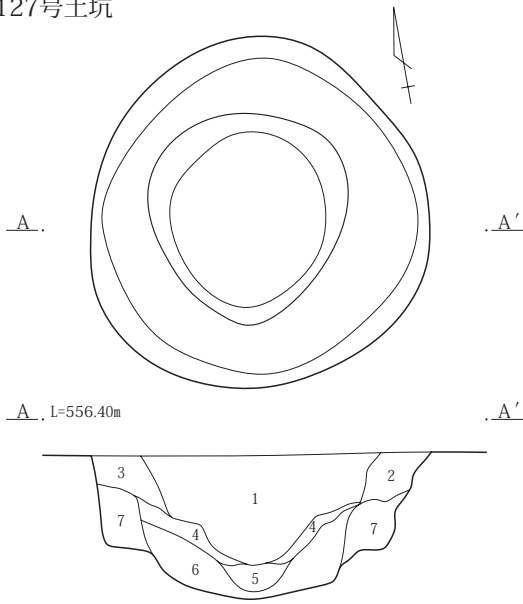


第25図 土坑 (12)

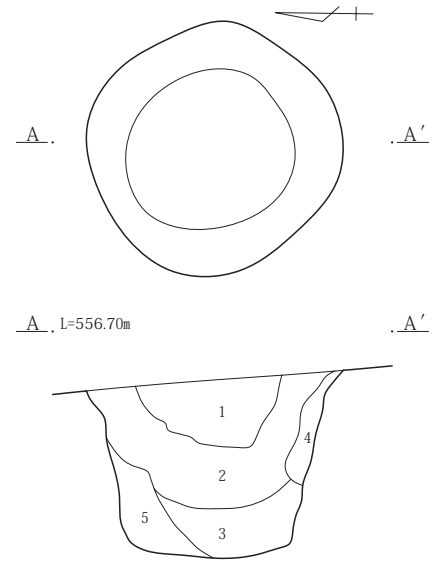


第26図 土坑 (13)

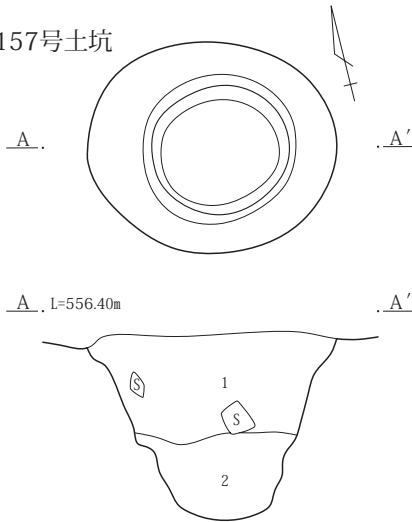
127号土坑



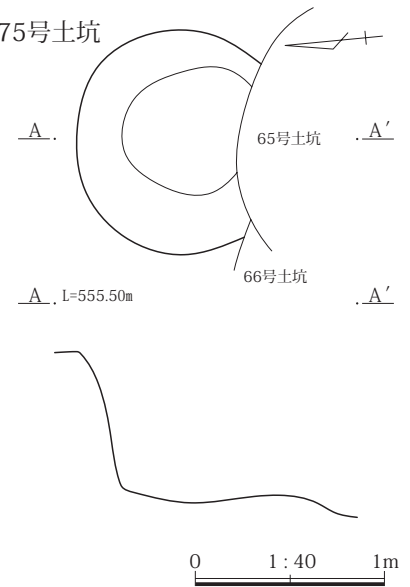
149号土坑



157号土坑



175号土坑



第27図 土坑(14)

号土坑より新しい。所見は土坑の2類で、陥し穴のB類である。

122号土坑(第25図、P L .11)

位置は89区 I - 7 グリッドである。規模は径1.10m、深さ0.90mで、形状は円形である。所見は土坑の2類で、陥し穴のB類である。

123号土坑(第25図、P L .11)

位置は89区 I - 5 グリッドである。規模は径1.74m、深さ1.20mで、形状は円形である。所見は土坑の2類で、

陥し穴のB類である。

126号土坑(第25図、P L .11)

位置は89区 J - 2・3 グリッドである。規模は径1.48m、深さ0.83mで、形状は円形である。所見は土坑の2類で、陥し穴のB類である。

127号土坑(第26図、P L .11)

位置は89区 J・K - 3 グリッドである。規模は径1.85m、深さ0.78mで、形状は円形である。所見は土坑の2類で、陥し穴のB類である。

149号土坑(第26図、P L .11)

位置は89区L-2グリッドである。規模は径1.36m、深さ0.99mで、形状は円形である。所見は土坑の2類で、陥し穴のB類である。

157号土坑(第26図、P L .11)

位置は89区E・F-2グリッドである。規模は径1.30m、深さ0.96mで、形状は円形である。所見は土坑の2類で、陥し穴のB類である。

175号土坑(第26図、P L .22)

位置は89区M-8グリッドである。規模は径1.20m、深さ0.98mで、形状は円形である。新旧関係は65・66号土坑より古い。所見は土坑の2類で、陥し穴のB類である。

1号土坑(第27図、P L .11・12)

位置は79区B-20グリッドである。規模は径1.14m、深さ0.28mで、形状は円形である。新旧関係では、169号土坑より新しい。所見は土坑の3類である。

9号土坑(第27図、P L .12)

位置は79区I-23・24グリッドである。規模は径1.10m、深さ0.51mで、形状は円形である。新旧関係では、162号土坑より新しい。所見は土坑の3類である。

15号土坑(第27図、P L .12)

位置は89区I-1グリッドである。規模は径1.30m、深さ0.20mで、形状は円形である。所見は土坑の3類である。

25号土坑(第27図、P L .12)

位置は79・89区K・L-25・1グリッドである。規模は径0.90m、深さ0.28mで、形状は円形である。所見は土坑の3類である。

29号土坑(第27図、P L .12)

位置は89区N-10グリッドである。規模は長軸(1.20m)、短軸(0.66)m、深さ0.26mで、形状は楕円形か？主軸方位はN-30°-Eである。新旧関係は、179号土坑よ

り新しい。所見は土坑の3類である。

30号土坑(第27図、P L .12)

位置は89区L・M-9グリッドである。規模は径0.92m、深さ0.35mで、形状は円形である。所見は土坑の3類である。

31号土坑(第27図、P L .12)

位置は89区K-8・9グリッドである。規模は径1.12m、深さ0.30mで、形状は円形である。所見は土坑の3類である。

32号土坑(第27図、P L .12)

位置は89区N-10・11グリッドである。規模は径0.94m、深さ0.60mで、形状は円形である。所見は土坑の3類である。

39号土坑(第27図、P L .13)

位置は89区M-9・10グリッドである。規模は径0.90m、深さ0.45mで、形状は円形である。所見は土坑の3類である。

43号土坑(第27図、P L .13)

位置は89区L-10グリッドである。規模は径0.96m、深さ0.40mで、形状は円形である。所見は土坑の3類である。

44号土坑(第27図、P L .13)

位置は89区K・L-9・10グリッドである。規模は径1.25m、深さ0.37mで、形状は円形である。所見は土坑の3類である。

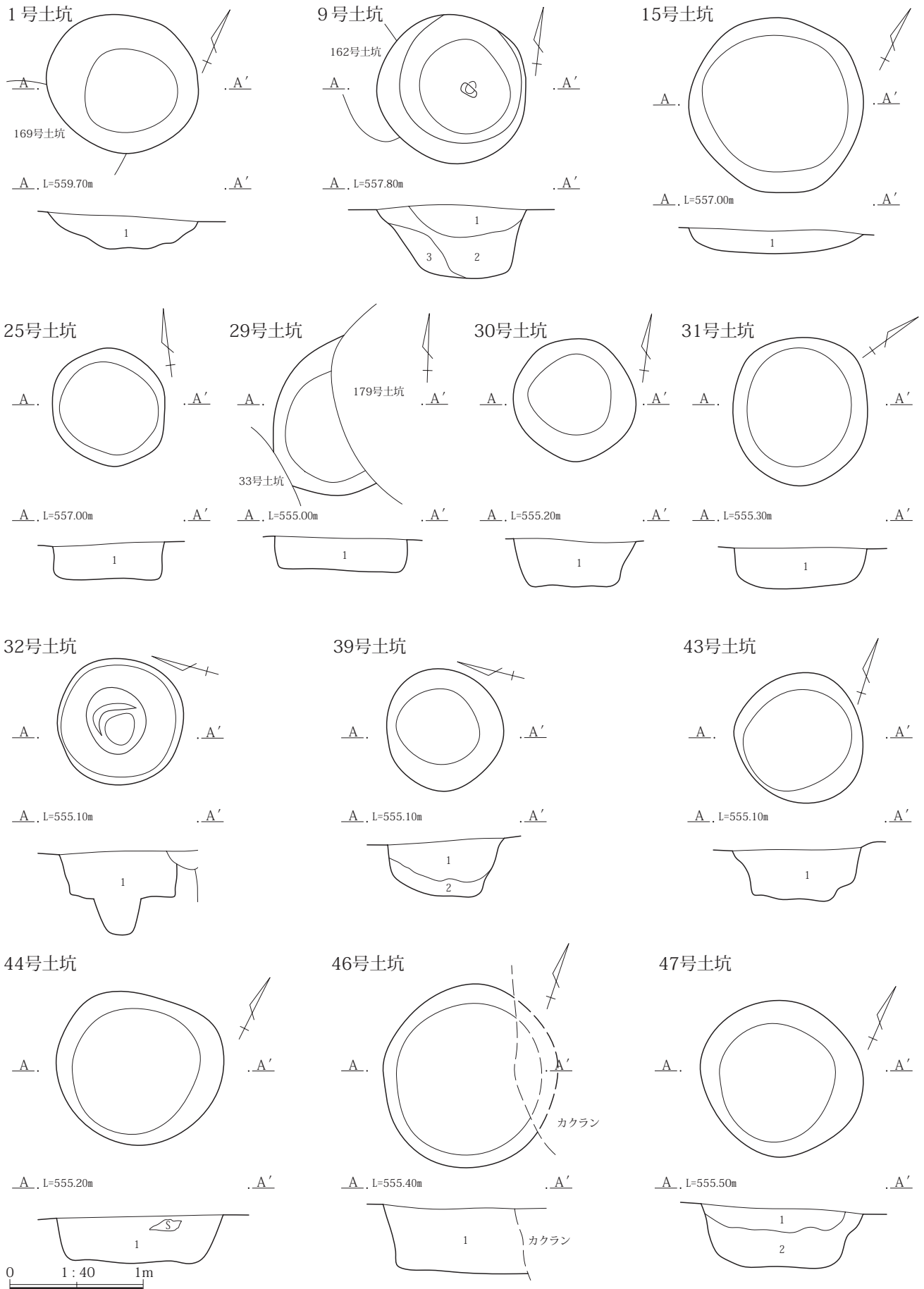
46号土坑(第27図、P L .13)

位置は89区K-8グリッドである。規模は径1.38m、深さ0.50mで、形状は円形である。所見は土坑の3類である。

47号土坑(第27図、P L .13)

位置は89区J-7グリッドである。規模は径1.24m、深さ0.49mで、形状は円形である。所見は土坑の3類で

第3章 検出された遺構と遺物



第28図 土坑 (15)

ある。

50号土坑(第28図、P L.13)

位置は89区M・N-6・7グリッドである。規模は径1.03m、深さ0.21mで、形状は円形である。所見は土坑の3類である。

52号土坑(第28図、P L.13)

位置は89区M-6グリッドである。規模は径1.18m、深さ0.25mで、形状は円形である。所見は土坑の3類である。

53号土坑(第28図、P L.13・14)

位置は89区M-6グリッドである。規模は径0.98m、深さ0.38mで、形状は円形である。所見は土坑の3類である。

54号土坑(第28図、P L.14)

位置は89区M-5・6グリッドである。規模は径1.25m、深さ0.30mで、形状は円形である。所見は土坑の3類である。

55号土坑(第28図、P L.14)

位置は89区M-5グリッドである。規模は径1.04m、深さ0.54mで、形状は円形である。所見は土坑の3類である。

56号土坑(第28図、P L.14)

位置は89区M-5グリッドである。規模は径0.86m、深さ0.20mで、形状は円形である。所見は土坑の3類である。

57号土坑(第28図、P L.14)

位置は89区M-4・5グリッドである。規模は径0.98m、深さ0.15mで、形状は円形である。所見は土坑の3類である。

59号土坑(第28図、P L.14)

位置は89区L-7グリッドである。規模は径1.06m、深さ0.36mで、形状は円形である。所見は土坑の3類である。

ある。

60号土坑(第28図、P L.14)

位置は89区L-6グリッドである。規模は径0.84m、深さ0.14mで、形状は円形である。所見は土坑の3類である。

61号土坑(第28図、P L.14)

位置は89区K・L-7グリッドである。規模は径1.12m、深さ0.57mで、形状は円形である。所見は土坑の3類である。

62号土坑(第28図、P L.15)

位置は89区K・L-6グリッドである。規模は径1.02m、深さ0.29mで、形状は円形である。所見は土坑の3類である。

67号土坑(第28図、P L.15)

位置は89区L-5グリッドである。規模は径0.76m、深さ0.32mで、形状は円形である。所見は土坑の3類である。

68号土坑(第28図、P L.15)

位置は89区L-5・6グリッドである。規模は径0.82m、深さ0.30mで、形状は円形である。所見は土坑の3類である。

69号土坑(第28図、P L.15)

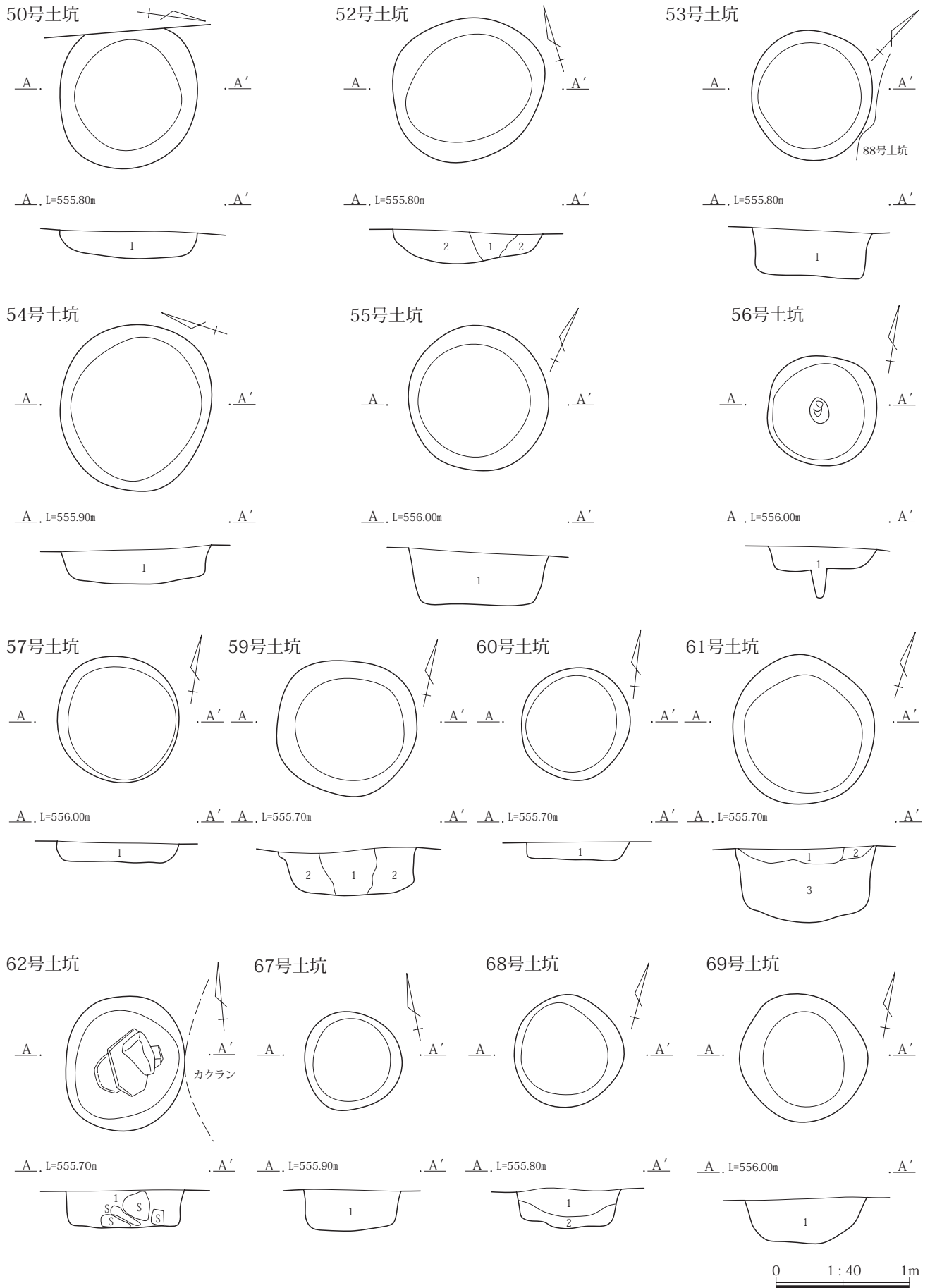
位置は89区K-5グリッドである。規模は径0.97m、深さ0.34mで、形状は円形である。所見は土坑の3類である。

70号土坑(第29図、P L.15)

位置は89区K-5グリッドである。規模は径0.55m、深さ0.22mで、形状は円形である。出土遺物は須恵器の坏2点である。所見は土坑の3類である。

71号土坑(第29図、P L.15)

位置は89区K・L-5グリッドである。規模は径1.20m、深さ0.45mで、形状は円形である。所見は土坑の3類である。



第29図 土坑 (16)

類である。

72号土坑(第29図、P L.15)

位置は89区J・K-5グリッドである。規模は径0.90m、深さ0.36mで、形状は円形である。所見は土坑の3類である。

73号土坑(第29図、P L.16)

位置は89区L-5グリッドである。規模は径1.44m、深さ0.21mで、形状は円形である。所見は土坑の3類である。

75号土坑(第29図、P L.16)

位置は89区L・M-7グリッドである。規模は長軸1.08m、短軸(0.80)m、深さ0.40mで、形状は不明である。新旧関係は、74・76号土坑より新しい。所見は土坑の3類である。

77号土坑(第29図、P L.16)

位置は89区K-4・5グリッドである。規模は径0.92m、深さ0.55mで、形状は円形である。所見は土坑の3類である。

78号土坑(第29図、P L.16)

位置は89区J-5・6グリッドである。規模は径0.99m、深さ0.23mで、形状は円形である。所見は土坑の3類である。

79号土坑(第29図、P L.16)

位置は89区I-5・6グリッドである。規模は径1.01m、深さ0.18mで、形状は円形である。所見は土坑の3類である。

80号土坑(第29図、P L.16)

位置は89区J-6グリッドである。規模は径1.46m、深さ0.55mで、形状は円形である。所見は土坑の3類である。

81号土坑(第29図、P L.16)

位置は89区L-6グリッドである。規模は径0.92m、

深さ0.59mで、形状は円形である。新旧関係は、82号土坑より新しい。83号土坑とは不明。所見は土坑の3類である。

83号土坑(第29図、P L.16・17)

位置は89区K・L-6グリッドである。規模は径1.25m、深さ0.51mで、形状は円形である。新旧関係では、82号土坑より新しい。81号土坑とは不明。所見は土坑の3類である。

84号土坑(第29図、P L.17)

位置は89区I・J-4・5グリッドである。規模は径1.13m、深さ0.56mで、形状は円形である。所見は土坑の3類である。

90号土坑(第30図、P L.17)

位置は89区J-5グリッドである。規模は長軸1.12m、深さ0.64mで、形状は円形である。所見は土坑の3類である。

91号土坑(第30図、P L.17)

位置は89区J-4グリッドである。規模は径(1.32)m、深さ0.37mで、形状は円形である。新旧関係は、120号土坑より新しい。所見は土坑の3類である。

92号土坑(第30図、P L.17)

位置は89区I-3グリッドである。規模は径1.15m、深さ0.40mで、形状は円形である。所見は土坑の3類である。

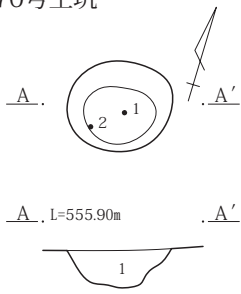
93号土坑(第30図、P L.17)

位置は89区H-4グリッドである。規模は径0.96m、深さ0.25mで、形状は円形である。新旧関係は、100号土坑より新しい。所見は土坑の3類である。

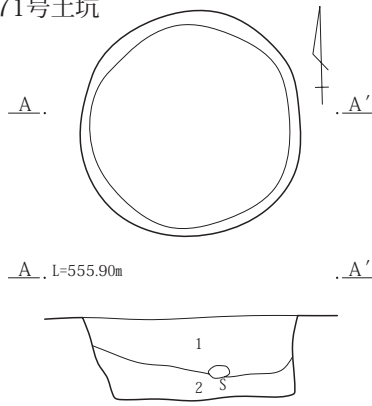
100号土坑(第30図、P L.17)

位置は89区H-4グリッドである。規模は長軸0.76m、短軸(0.56)m、深さ0.09mで、形状は楕円形である。主軸方位はN-42°-Eである。新旧関係は、93号土坑より古い。所見は土坑の3類である。

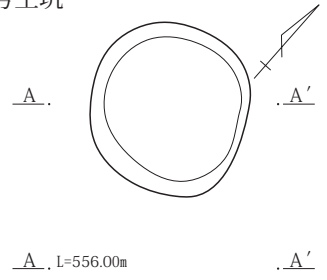
70号土坑



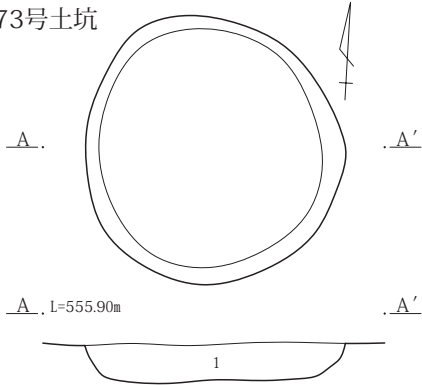
71号土坑



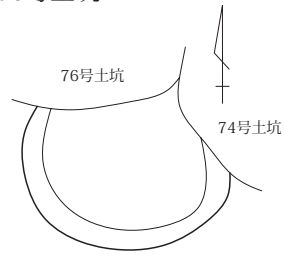
72号土坑



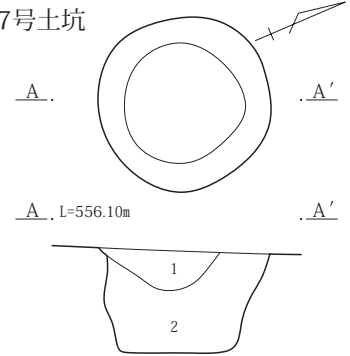
73号土坑



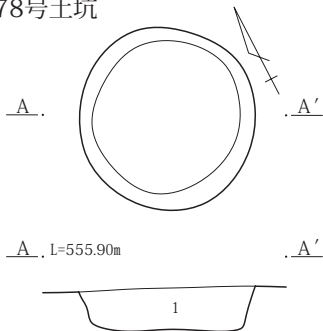
75号土坑



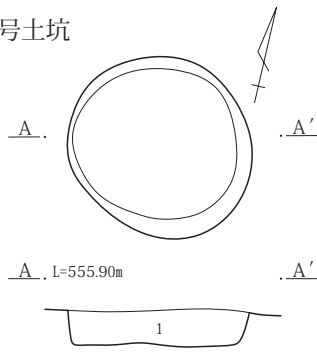
77号土坑



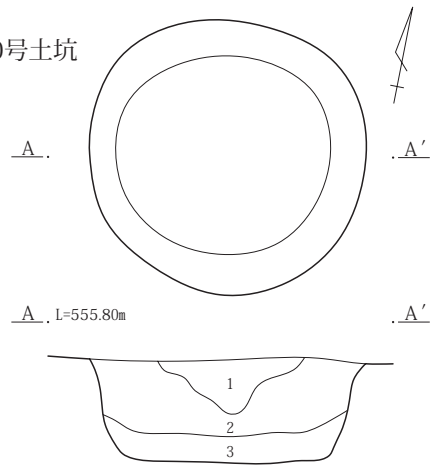
78号土坑



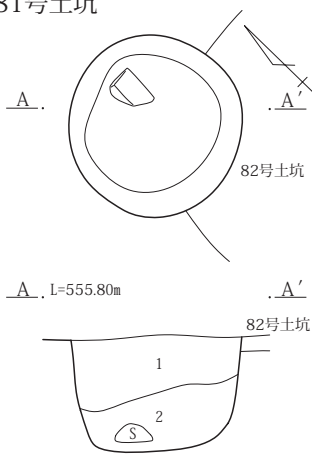
79号土坑



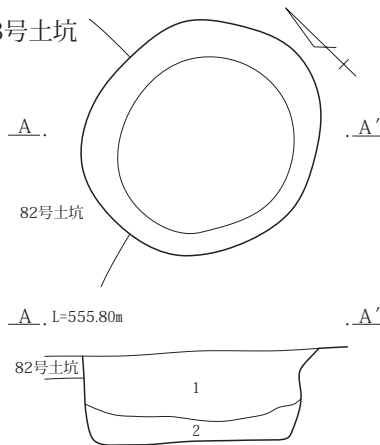
80号土坑



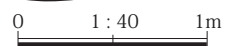
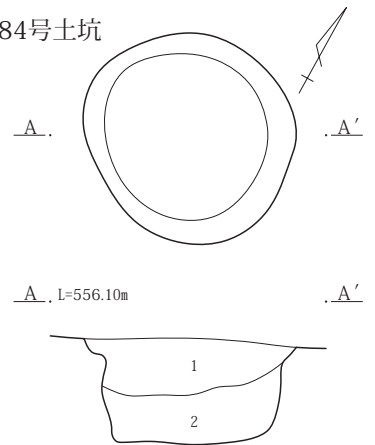
81号土坑



83号土坑



84号土坑



第30図 土坑 (17)

103号土坑(第30図、P L .17)

位置は89区H-2グリッドである。規模は径1.49m、深さ0.53mで、形状は円形である。所見は土坑の3類である。

105号土坑(第30図、P L .18)

位置は89区F-5グリッドである。規模は径1.10m、深さ0.41mで、形状は円形である。所見は土坑の3類である。

107号土坑(第30図、P L .18)

位置は89区G・H-5グリッドである。規模は径1.08m、深さ0.38mで、形状は円形である。所見は土坑の3類である。

114号土坑(第30図、P L .18)

位置は89区I-2・3グリッドである。規模は径1.53m、深さ0.57mで、形状は円形である。所見は土坑の3類である。

115号土坑(第30図、P L .18)

位置は89区J-3グリッドである。規模は径1.40m、深さ0.43mで、形状は円形である。所見は土坑の3類である。

118号土坑(第30図、P L .18)

位置は89区E・F-1グリッドである。規模は径1.92m、深さ0.45mで、形状は円形である。所見は土坑の3類である。

119号土坑(第30図、P L .18)

位置は89区K-4グリッドである。規模は径1.20m、深さ0.41mで、形状は円形である。所見は土坑の3類である。

120号土坑(第30図、P L .18)

位置は89区J-4グリッドである。規模は径1.06m、深さ0.51mで、形状は円形である。新旧関係は、91号土坑より古い。所見は土坑の3類である。

121号土坑(第30図、P L .18・19)

位置は89区I・J-8グリッドである。規模は径0.92m、深さ0.10mで、形状は円形である。所見は土坑の3類である。

124号土坑(第31図、P L .19)

位置は89区K・L-4・5グリッドである。規模は径1.00m、深さ0.32mで、形状は円形である。所見は土坑の3類である。

125号土坑(第31図、P L .19)

位置は89区J・K-2・3グリッドである。規模は径0.80m、深さ0.32mで、形状は円形である。所見は土坑の3類である。

130号土坑(第31図、P L .19)

位置は89区L-5グリッドである。規模は径0.82m、深さ0.34mで、形状は円形である。所見は土坑の3類である。

131号土坑(第31図、P L .19)

位置は89区L-4グリッドである。規模は径1.08m、深さ0.36mで、形状は円形である。新旧関係は、132号土坑より新しい。所見は土坑の3類である。

132号土坑(第31図、P L .19)

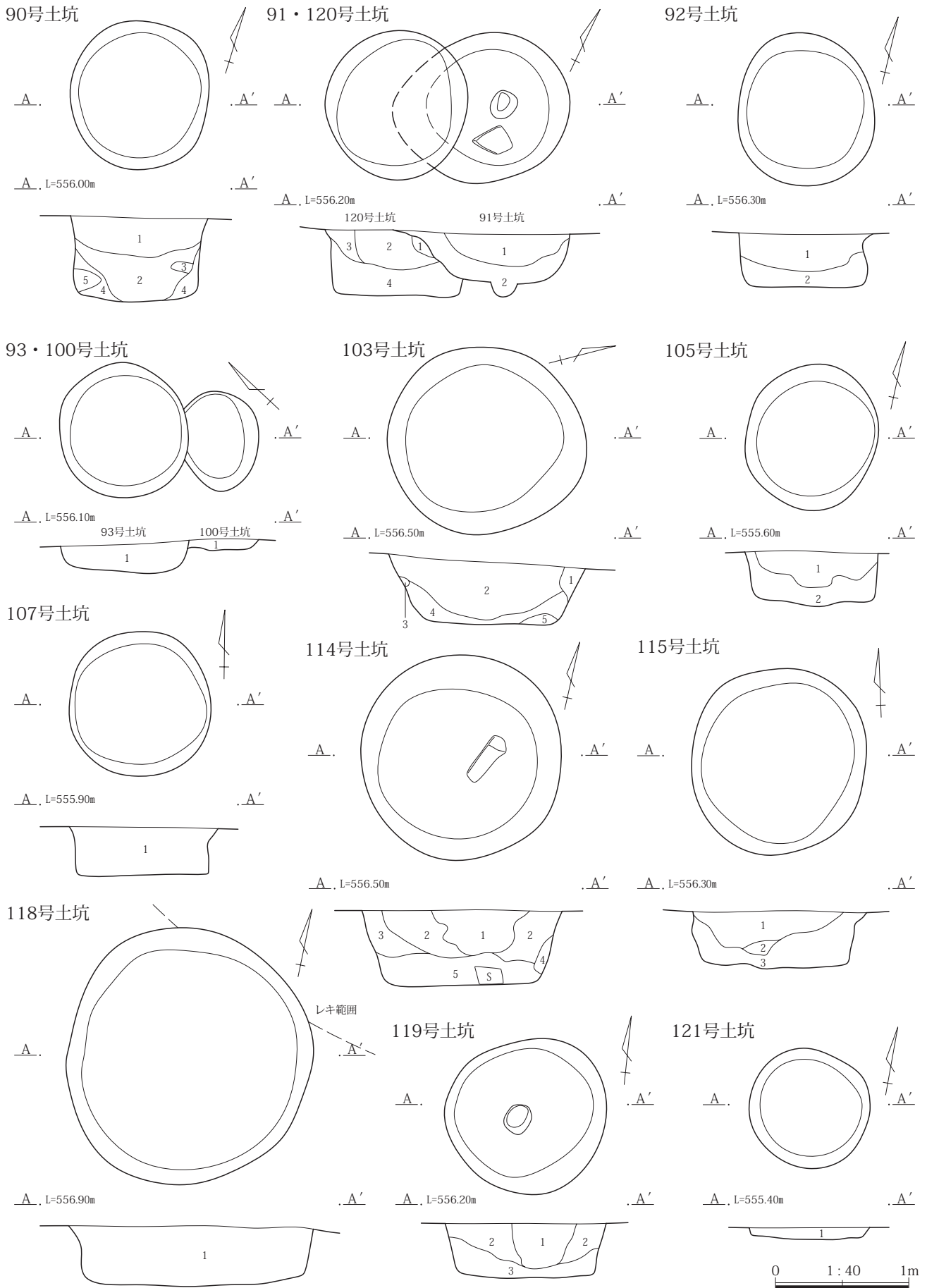
位置は89区L-4グリッドである。規模は径0.66m、深さ0.07mで、形状は円形である。新旧関係では、131号土坑より古い。所見は土坑の3類である。

133号土坑(第31図、P L .19)

位置は89区L-4グリッドである。規模は径1.10m、深さ0.44mで、形状は円形である。所見は土坑の3類である。

134号土坑(第31図、P L .19)

位置は89区K・L-3・4グリッドである。規模は径1.12m、深さ0.30mで、形状は円形である。所見は土坑の3類である。



第31図 土坑 (18)

135号土坑(第31図、P L .20)

位置は89区L-3グリッドである。規模は径1.18m、深さ0.40mで、形状は円形である。所見は土坑の3類である。

136号土坑(第31図、P L .20)

位置は89区K-2・3グリッドである。規模は径0.97m、深さ0.20mで、形状は円形である。所見は土坑の3類である。

137号土坑(第31図、P L .20)

位置は89区K・L-2グリッドである。規模は径1.08m、深さ0.39mで、形状は円形である。所見は土坑の3類である。

138号土坑(第31図、P L .20)

位置は89区K-4グリッドである。規模は径1.55m、深さ0.60mで、形状は円形である。所見は土坑の3類である。

139号土坑(第31図、P L .20)

位置は89区K-1・2グリッドである。規模は径1.38m、深さ0.47mで、形状は円形である。所見は土坑の3類である。

140号土坑(第31図、P L .20)

位置は89区L-1・2グリッドである。規模は径0.51m、深さ0.45mで、形状は円形である。所見は土坑の3類である。

141号土坑(第31図、P L .20)

位置は89区M-2グリッドである。規模は径0.86m、深さ0.16mで、形状は円形である。所見は土坑の3類である。

142号土坑(第32図、P L .20・21)

位置は89区J-1・2グリッドである。規模は径1.10m、深さ0.51mで、形状は円形である。所見は土坑の3類である。

143号土坑(第32図、P L .21)

位置は89区L-7グリッドである。規模は長軸(0.96)m、短軸(0.44)m、深さ0.26mで、形状は不明である。新旧関係は、63号土坑とは不明である。所見は土坑の3類である。

144号土坑(第32図、P L .21)

位置は89区L-2・3グリッドである。規模は径1.32m、深さ0.40mで、形状は円形である。所見は土坑の3類である。

146号土坑(第32図、P L .21)

位置は89区H・I-5グリッドである。規模は径1.22m、深さ0.51mで、形状は円形か？ 新旧関係は、145号土坑より古い。所見は土坑の3類である。

150号土坑(第32図、P L .21)

位置は89区L-2グリッドである。規模は径1.12m、深さ0.42mで、形状は円形である。所見は土坑の3類である。

151号土坑(第32図、P L .21)

位置は89区M-2グリッドである。規模は径0.96m、深さ0.23mで、形状は円形である。新旧関係は、152号土坑より新しい。所見は土坑の3類である。

154号土坑(第32図、P L .21)

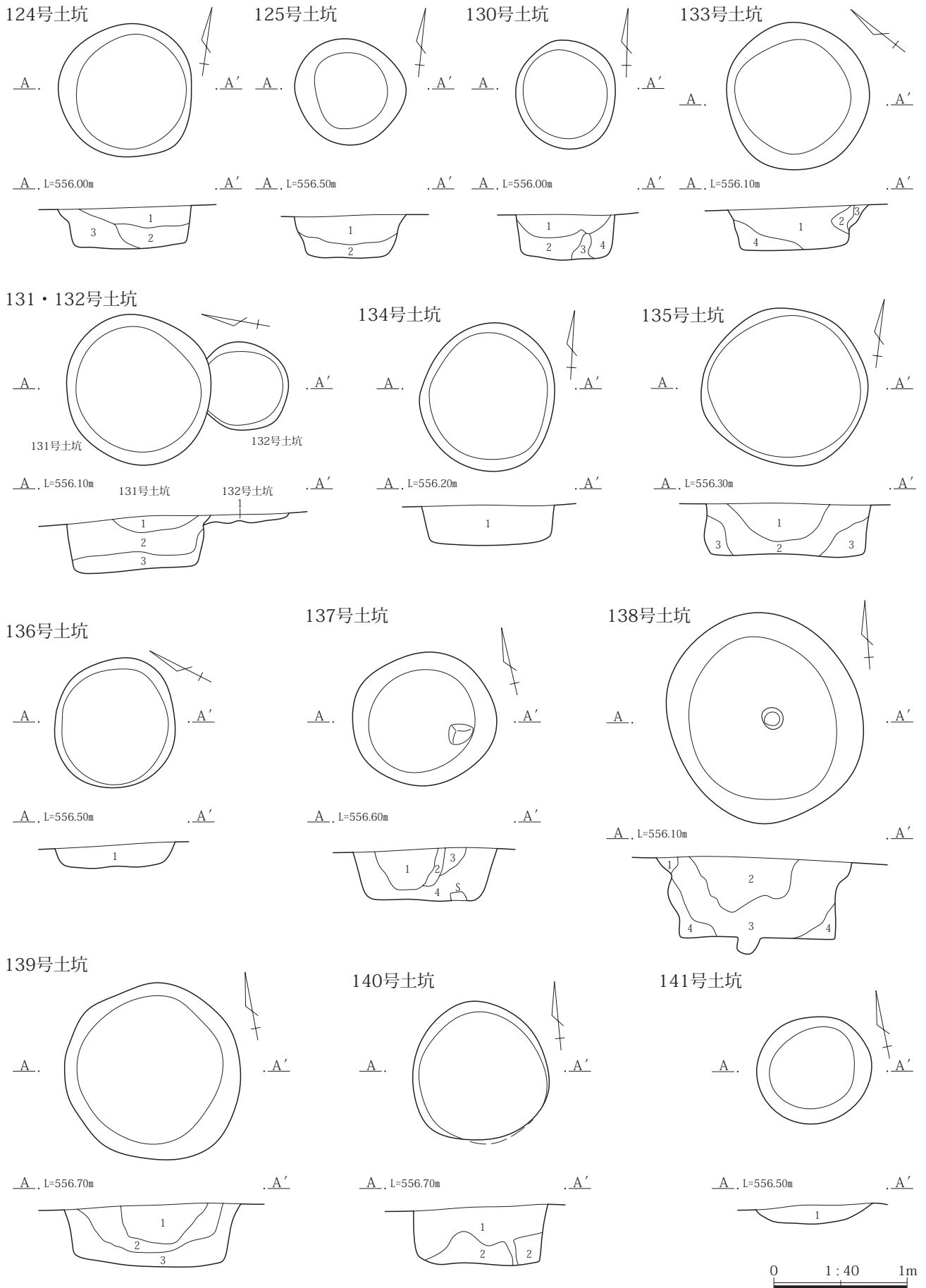
位置は89区K-3グリッドである。規模は径1.10m、深さ0.31mで、形状は円形である。新旧関係では、153号土坑より新しい。所見は土坑の3類である。

158号土坑(第32図、P L .21)

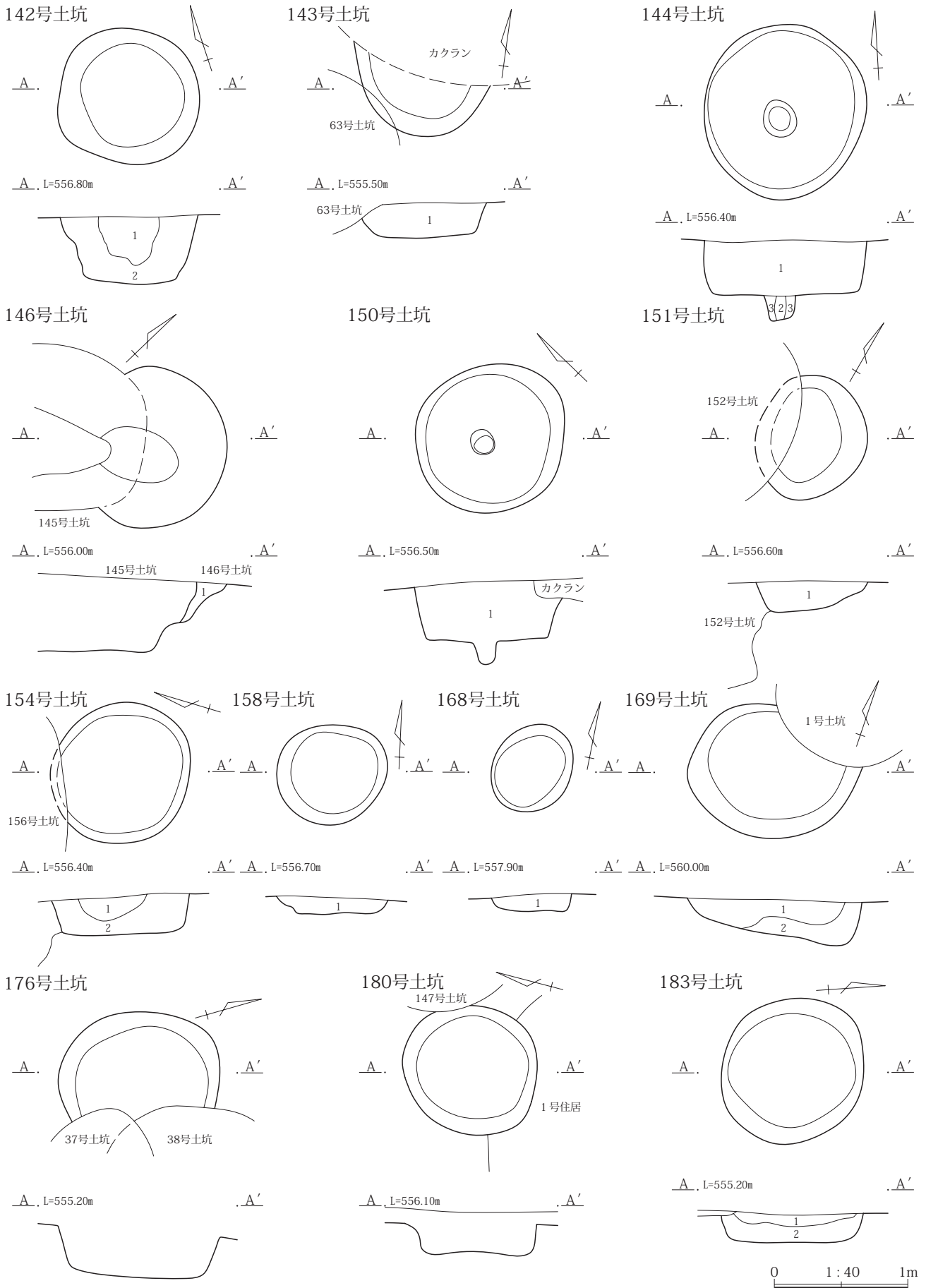
位置は89区E-1グリッドである。規模は径0.82m、深さ0.13mで、形状は円形である。所見は土坑の3類である。

168号土坑(第32図、P L .22)

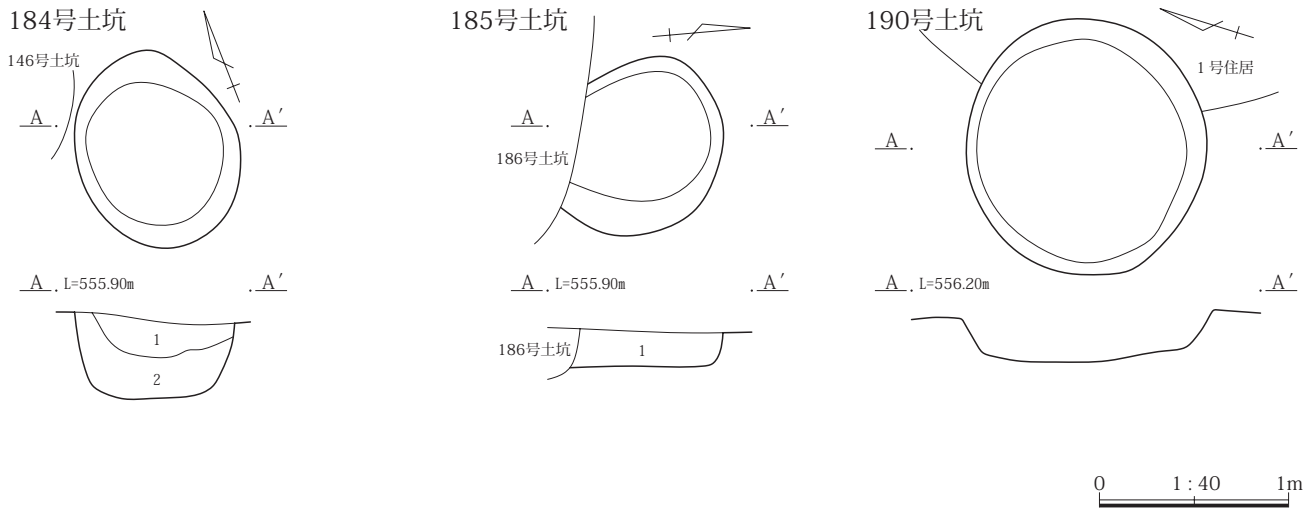
位置は79区L-22グリッドである。規模は径0.66m、深さ0.14mで、形状は円形である。所見は土坑の3類である。



第32図 土坑 (19)



第33図 土坑 (20)



第34図 土坑 (21)

169号土坑(第32図、P L .22)

位置は79区B-20グリッドである。規模は長軸(1.32)m、短軸1.02m、深さ0.36mで、形状は楕円形である。主軸方位はN-69°-Eである。新旧関係は、1号土坑より古い。所見は土坑の3類である。

176号土坑(第32図、P L .26)

位置は89区M-9グリッドである。規模は径1.22m、深さ0.40mで、形状は円形である。新旧関係は、37・38号土坑より古い。所見は土坑の3類である。

180号土坑(第32図、P L .22)

位置は89区M・N-4グリッドである。規模は径1.00m、深さ0.24mで、形状は円形である。新旧関係は、147号土坑より古い。所見は土坑の3類である。

183号土坑(第32図、P L .22)

位置は89区L-9グリッドである。規模は径1.06m、深さ0.22mで、形状は円形である。所見は土坑の3類である。

184号土坑(第33図、P L .22)

位置は89区H・I-4・5グリッドである。規模は長軸1.02m、短軸0.85m、深さ0.46mで、形状は楕円形である。主軸方位はN-0°である。所見は土坑の3類である。

185号土坑(第33図、P L .22)

位置は89区M・N-6グリッドである。規模は長軸(0.88)m、短軸0.88m、深さ0.18mで、形状は楕円形である。主軸方位はN-20°-Wである。新旧関係は、186号土坑より古い。所見は土坑の3類である。

190号土坑(第33図、P L .22)

位置は89区N-3グリッドである。規模は径1.38m、深さ0.28mで、形状は円形である。所見は土坑の3類である。

10号土坑(第34図、P L .22)

位置は79区I・J-24グリッドである。規模は長軸1.10m、短軸0.80m、深さ0.20mで、形状は楕円形である。主軸方位はN-23°-Wである。所見は土坑の4類である。

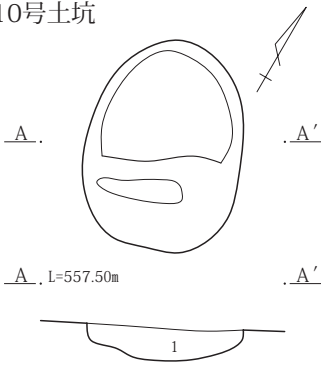
12号土坑(第34図、P L .22・23)

位置は79・89区H-25・1グリッドである。規模は長軸1.48m、短軸1.27m、深さ0.82mで、形状は楕円形である。主軸方位はN-76°-Wである。所見は土坑の4類である。

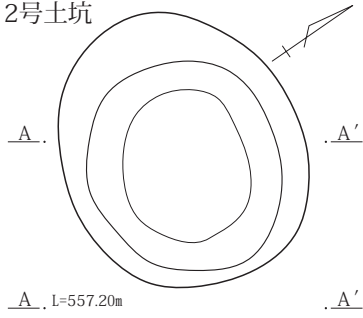
19号土坑(第34図、P L .23)

位置は79区L-17グリッドである。規模は径1.06m、深さ0.25mで、形状は円形である。新旧関係は20号土坑より新しい。所見は土坑の4類である。

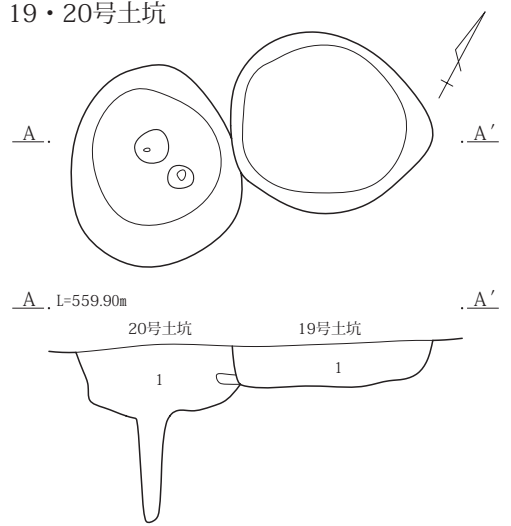
10号土坑



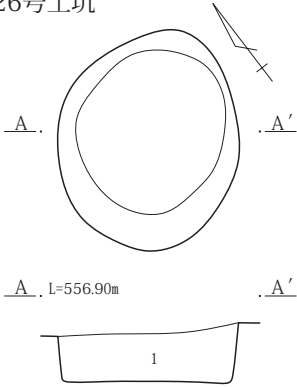
12号土坑



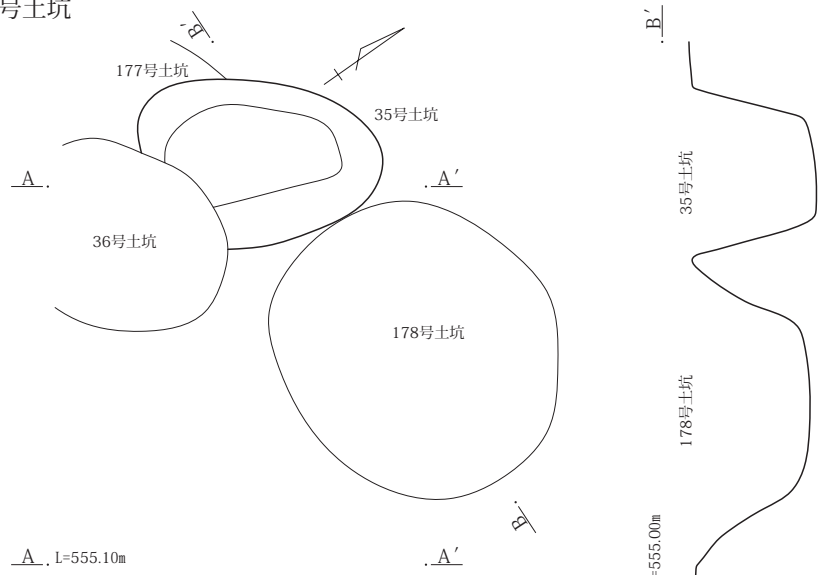
19・20号土坑



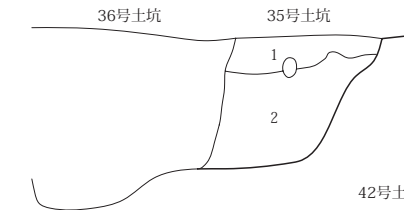
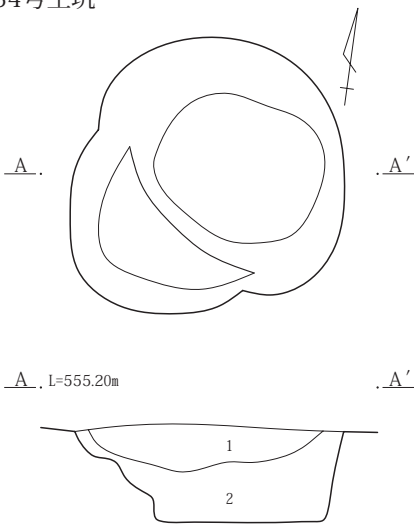
26号土坑



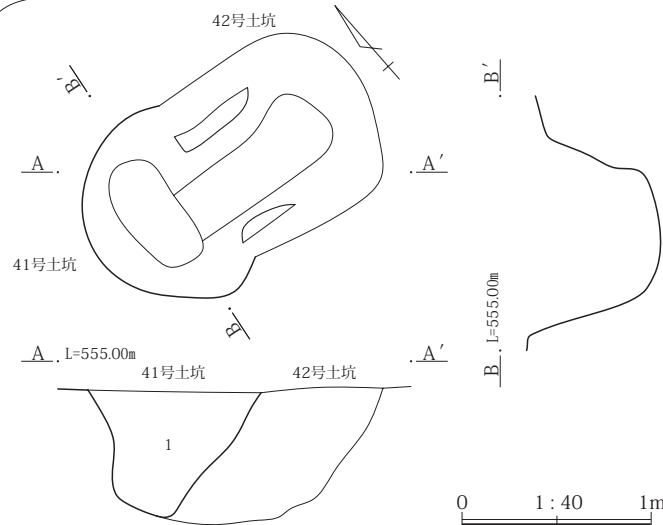
35号土坑



34号土坑



41号土坑



第35图 土坑 (22)

20号土坑(第34図、P L.23)

位置は79区L-17グリッドである。規模は径1.02m、深さ0.35mで、形状は円形である。新旧関係は19号土坑より古い。所見は土坑の4類である。

26号土坑(第34図、P L.23)

位置は89区K-1グリッドである。規模は径1.16m、深さ0.31mで、形状は円形である。所見は土坑の4類である。

34号土坑(第34図、P L.23)

位置は89区N-9・10グリッドである。規模は長軸1.60m、短軸1.49m、深さ0.48mで、形状は不定形である。主軸方位はN-35°-Eである。所見は土坑の4類である。

35号土坑(第34図、P L.23)

位置は89区M・N-10グリッドである。規模は長軸1.27m、短軸0.90m、深さ0.65mで、形状は楕円形である。主軸方位はN-34°-Eである。新旧関係は36号土坑より新しい。所見は土坑の4類である。

41号土坑(第34図、P L.23)

位置は89区M-10グリッドである。規模は長軸1.06m、短軸(0.55)m、深さ0.71mで、形状は楕円形か？主軸方位はN-8°-Eである。新旧関係は42号土坑より新しい。所見は土坑の4類である。

45号土坑(第35図、P L.23)

位置は89区J-9グリッドである。規模は長軸1.62m、短軸1.40m、深さ0.29mで、形状は楕円形である。主軸方位はN-45°-Eである。所見は土坑の4類である。

82号土坑(第35図、P L.24)

位置は89区K・L-6グリッドである。規模は径1.98m、深さ0.14mで、形状は円形である。新旧関係は81・83号土坑より古い。所見は土坑の4類である。

86号土坑(第35図、P L.24)

位置は89区M-5グリッドである。規模は長軸1.82m、短軸1.14m、深さ0.75mで、形状は楕円形である。主軸

方位はN-31°-Eである。新旧関係は85号土坑より古い。171・172土坑より新しい。所見は土坑の4類である。

88号土坑(第35図、P L.24)

位置は89区M-6グリッドである。規模は長軸1.18m、短軸(0.98)m、深さ0.28mで、形状は不定形である。主軸方位はN-56°-Wである。新旧関係は87号土坑より古い。所見は土坑の4類である。

94号土坑(第35図、P L.24)

位置は89区J-4グリッドである。規模は長軸(0.80)m、短軸(0.22)m、深さ0.50mで、形状は不明である。新旧関係は95・96号土坑より新しい。所見は土坑の4類である。

95号土坑(第35図、P L.24)

位置は89区I・J-3・4グリッドである。規模は長軸1.94m、短軸(1.46)m、深さ0.41mで、形状は楕円形である。主軸方位はN-55°-Eである。新旧関係は94号土坑より古い。96号土坑より新しい。所見は土坑の4類である。

96号土坑(第35図、P L.24)

位置は89区I・J-3・4グリッドである。規模は径1.36m、深さ0.59mで、形状は円形である。新旧関係は94・95号土坑より古い。所見は土坑の4類である。

97号土坑(第35図、P L.24)

位置は79区N-17グリッドである。規模は長軸1.00m、短軸0.62m、深さ0.57mで、形状は楕円形である。主軸方位はN-0°である。所見は土坑の4類である。

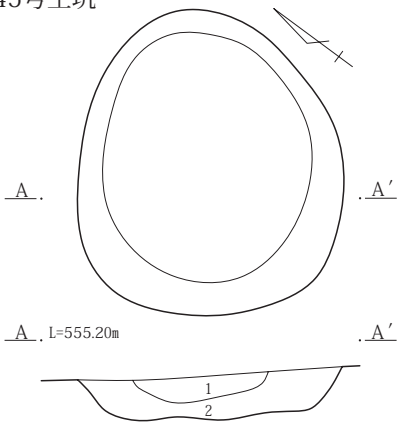
98号土坑(第35図、P L.24)

位置は79区N-17グリッドである。規模は長軸0.66m、短軸0.40m、深さ0.15mで、形状は楕円形である。主軸方位はN-18°-Wである。所見は土坑の4類である。

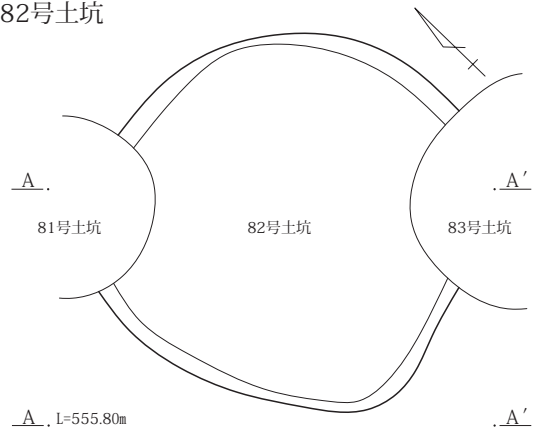
99号土坑(第35図、P L.24)

位置は79区K・L-22・23グリッドである。規模は長軸0.93m、短軸0.52m、深さ0.55mで、形状は隅丸長方

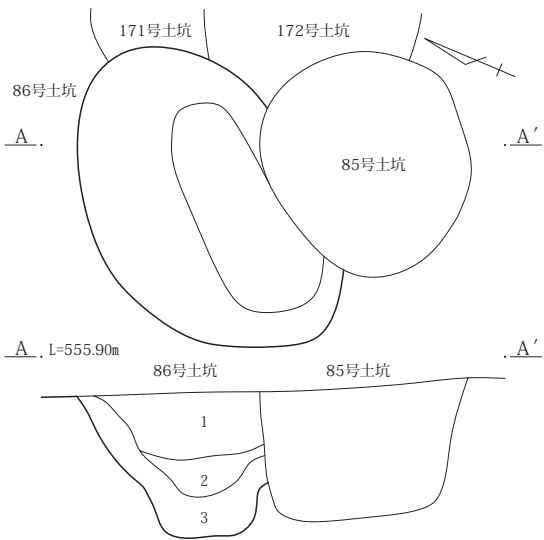
45号土坑



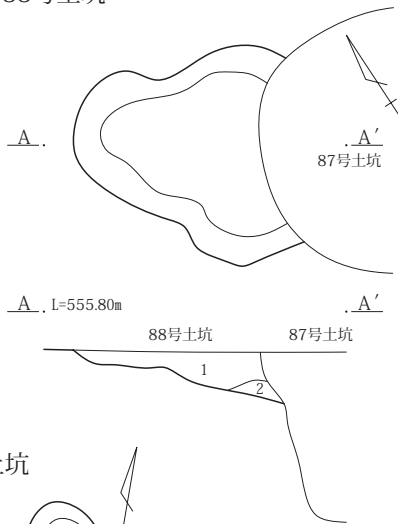
82号土坑



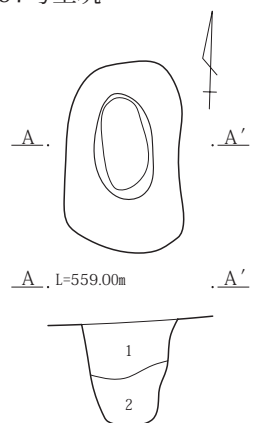
86号土坑



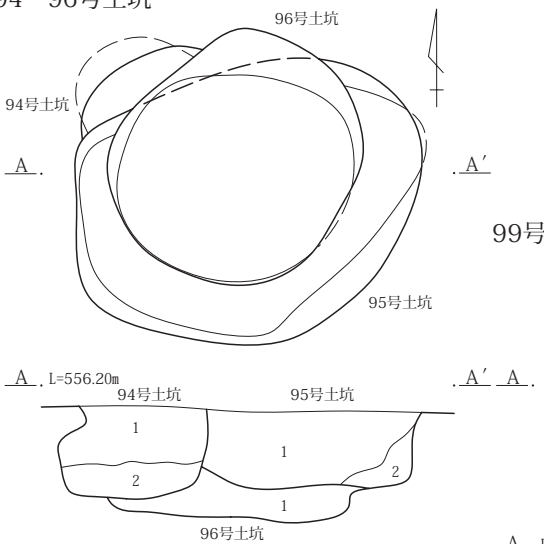
88号土坑



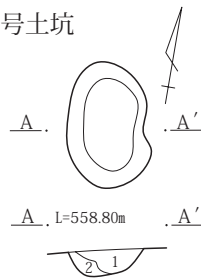
97号土坑



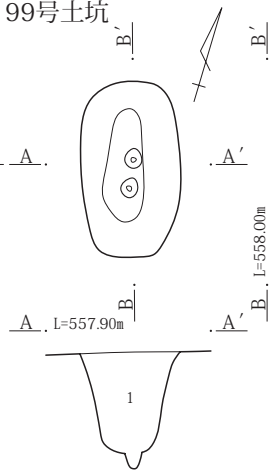
94~96号土坑



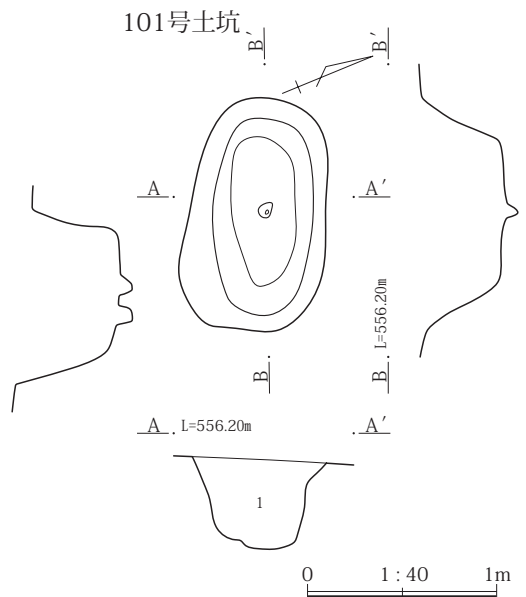
98号土坑



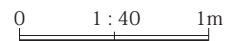
99号土坑



101号土坑



第36图 土坑 (23)



形である。主軸方位はN-17°-Wである。所見は土坑の4類である。

101号土坑(第35図、P L .24)

位置は89区G-3グリッドである。規模は長軸1.24m、短軸0.76m、深さ0.46mで、形状は隅丸長方形である。主軸方位はN-63°-Wである。所見は土坑の4類である。

102号土坑(第36図、P L .25)

位置は89区G-1グリッドである。規模は長軸1.24m、短軸0.82m、深さ0.60mで、形状は隅丸長方形である。主軸方位はN-79°-Eである。所見は土坑の4類である。

108号土坑(第36図、P L .25)

位置は89区F・G-4グリッドである。規模は長軸1.45m、短軸0.88m、深さ0.64mで、形状は楕円形である。主軸方位はN-77°-Wである。所見は土坑の4類である。

109号土坑(第36図、P L .25)

位置は89区F-4グリッドである。規模は長軸2.23m、短軸1.26m、深さ0.27mで、形状は隅丸長方形である。主軸方位はN-55°-Eである。所見は土坑の4類である。

110号土坑(第36図、P L .25)

位置は89区F-2グリッドである。規模は長軸2.19m、短軸1.42、深さ0.34mで、形状は隅丸長方形である。主軸方位はN-60°-Eである。所見は土坑の4類である。

112号土坑(第36図、P L .25)

位置は89区H-3グリッドである。規模は長軸1.16m、短軸0.94mは、深さ0.48mで、形状は楕円形である。主軸方位はN-45°-Eである。新旧関係は113号土坑より古い。所見は土坑の4類である。

116号土坑(第36図、P L .25)

位置は89区G-5グリッドである。規模は長軸1.34m、短軸(0.84)m、深さ0.53mで、形状は楕円形か？主軸方位はN-13°-Eである。新旧関係は117号土坑より新しい。所見は土坑の4類である。

145号土坑(第36図、P L .25)

位置は89区I-4・5グリッドである。規模は長軸(2.10)m、短軸1.25m、深さ0.60mで、形状は楕円形である。主軸方位はN-45°-Eである。新旧関係は146号土坑より新しい。所見は土坑の4類である。

155号土坑(第37図、P L .25・26)

位置は89区L-4グリッドである。規模は長軸(1.42)m、短軸1.12m、深さ0.68mで、形状は楕円形である。主軸方位はN-77°-Eである。新旧関係は181号土坑とは不明。所見で土坑の4類である。

162号土坑(第37図、P L .26)

位置は79区I-23・24グリッドである。規模は長軸1.15m、短軸0.56m、深さ0.54mで、形状は隅丸長方形である。主軸方位はN-39°-Wである。新旧関係は9号土坑より古い。所見は土坑の4類である。

163号土坑(第37図、P L .26)

位置で79区J-24グリッドである。規模は長軸2.32m、短軸0.98m、深さ0.27mで、形状は隅丸長方形である。主軸方位はN-87°-Eである。所見は土坑の4類である。

164号土坑(第37図、P L .26)

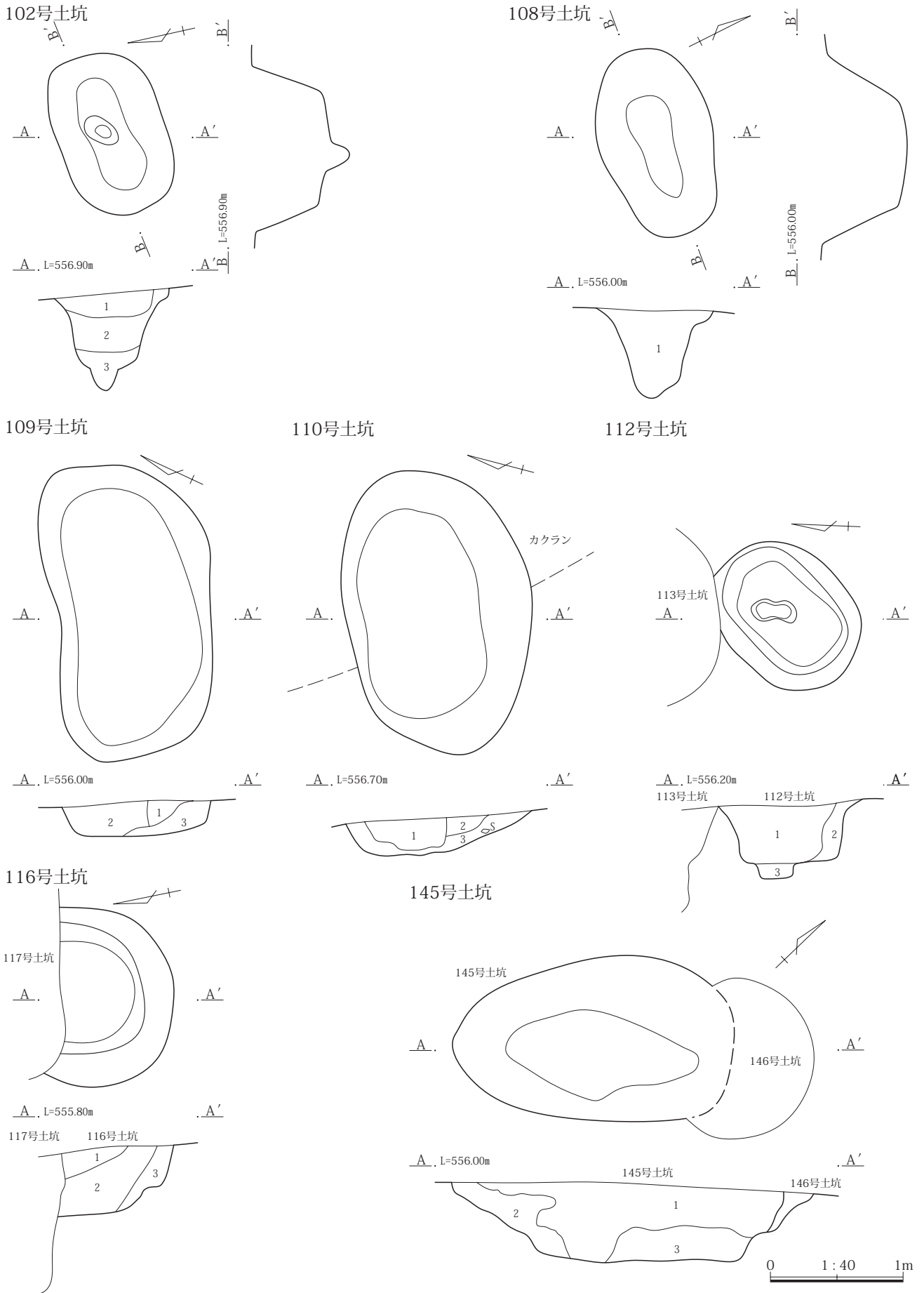
位置は79区M-20グリッドである。規模は長軸1.38m、短軸0.84m、深さ0.50mで、形状は隅丸長方形である。主軸方位はN-10°-Wである。出土遺物は人骨・煙管・古銭11枚である。所見は墓壇で土坑の4類である。

165号土坑(第37図、P L .26)

位置は79区F・G-21・22グリッドである。規模は長軸1.96m、短軸1.00m、深さ0.44mで、形状は不定形である。主軸方位はN-73°-Eである。所見は土坑の4類である。

170号土坑(第37図、P L .26)

位置は79・89区F-25・1グリッドである。規模は長軸0.96m、短軸0.72m、深さ0.54mで、形状は隅丸長方形である。主軸方位はN-41°-Wである。所見は土坑の4類である。



第37図 土坑 (24)

171号土坑(第37図、P L .26)

位置は89区L・M-5グリッドである。規模は長軸(0.84)m、短軸(0.78)m、深さ0.34mで、形状は不明である。新旧関係は85・86・172号土坑より古い。所見は土坑の4類である。

172号土坑(第37図、P L .26)

位置は89区L・M-5グリッドである。規模は長軸(1.16)m、短軸(1.12)m、深さ0.48mで、形状は不明である。新旧関係は85・86号土坑より古い。171号土坑より新しい。所見は土坑の4類である。

174号土坑(第37図、P L .26)

位置は89区M-7グリッドである。規模は径(0.90)m、深さ0.32mで、形状は円形である。新旧関係は64号土坑とは不明。所見は土坑の4類である。

177号土坑(第37図、P L .26)

位置は89区N-10グリッドである。規模は長軸(1.10)m、短軸(0.64)m、深さ0.48mで、形状は不明である。新旧関係は35・36号土坑より古い。所見は土坑の4類である。

181号土坑(第37図、P L .26)

位置は89区L-4グリッドである。規模で径1.12m、深さ(0.65)mで、形状は円形か？ 新旧関係は155号土坑とは不明。所見は土坑の4類である。

186号土坑(第38図、P L .26・27)

位置は89区M・N-5・6グリッドである。規模は長軸1.82m、短軸1.26、深さ0.36mで、形状は楕円形である。主軸方位はN-75°-Wである。新旧関係は185号土坑より新しい。所見は土坑の4類である。

187号土坑(第38図、P L .27)

位置は89区E-4・5グリッドである。規模は長軸0.94m、短軸0.68m、深さ0.25mで、形状は楕円形である。主軸方位はN-15°-Eである。所見は土坑の4類である。

188号土坑(第38図、P L .27)

位置は89区D・E-4・5グリッドである。規模は長軸0.82m、短軸0.62m、深さ0.56mで、形状は楕円形である。主軸方位はN-15°-Eである。所見は土坑の4類である。

189号土坑(第38図、P L .27)

位置は89区D・E-1グリッドである。規模は径0.70m、深さ0.95mで、形状は円形である。所見は土坑の4類である。

2 ピット

ピット(第39図、P L .27・28)

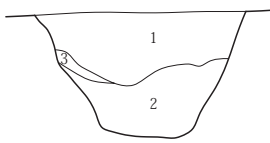
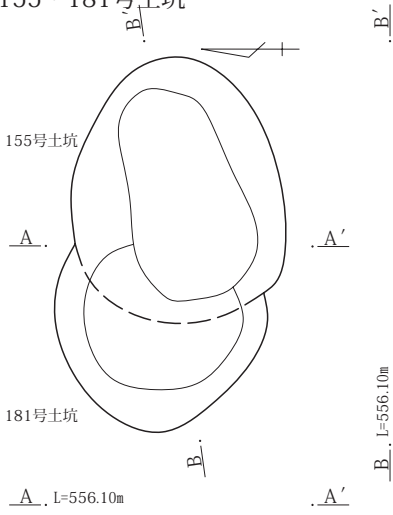
ピットは総数7基である。規模や形状から柱穴と考えられるものはないため、用途は不明である。

3 溝

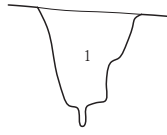
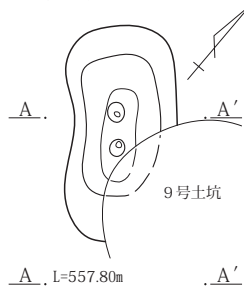
発掘調査での精査時の当初は、地形に沿うように黒土の帯が東西に延びていることから溝と認識したが、掘削すると底部も凸凹で水が流れたような痕跡も見られないことで、溝ではないと判断した。

ただ、標高に沿うように位置することから、土地の区画を目的とすると考えられる。あるいは、階段状の段差の底部かもしれない。

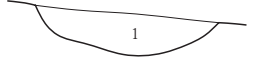
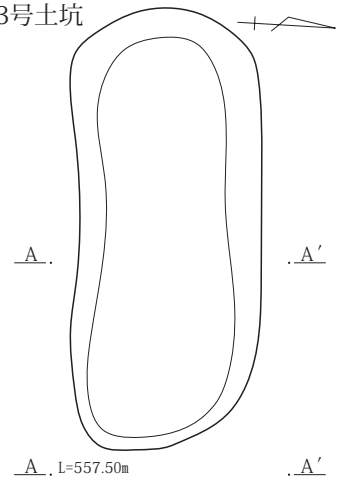
155・181号土坑



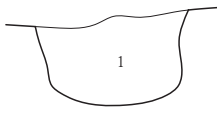
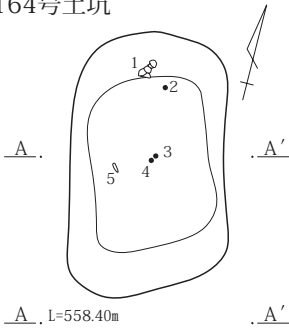
162号土坑



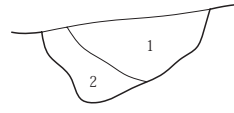
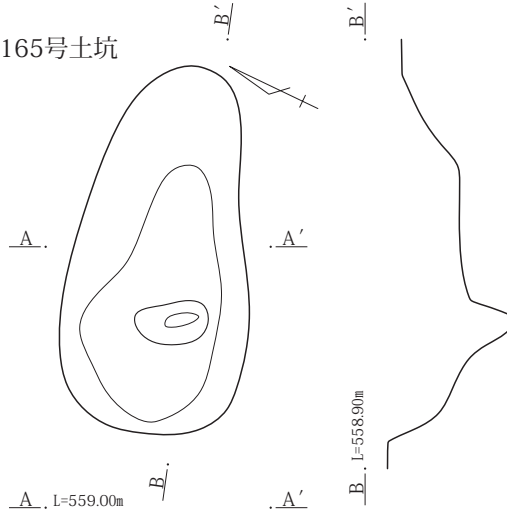
163号土坑



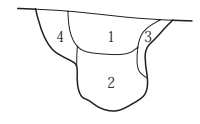
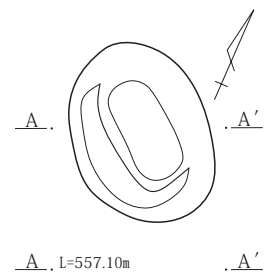
164号土坑



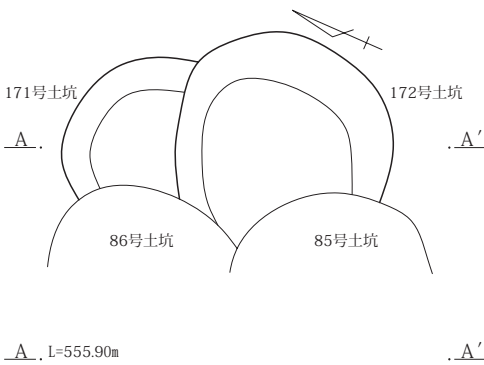
165号土坑



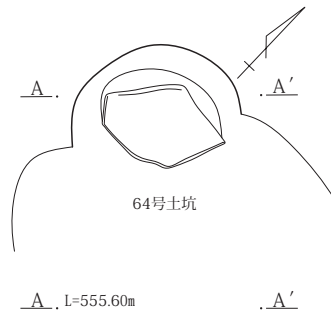
170号土坑



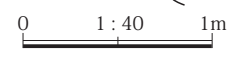
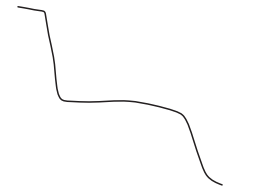
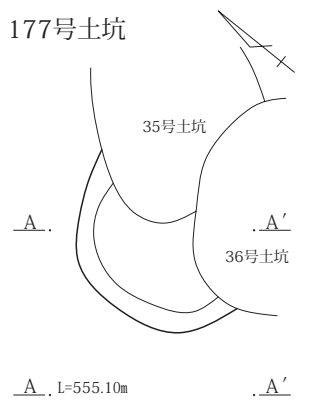
171・172号土坑



174号土坑

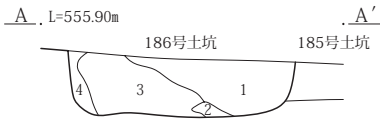
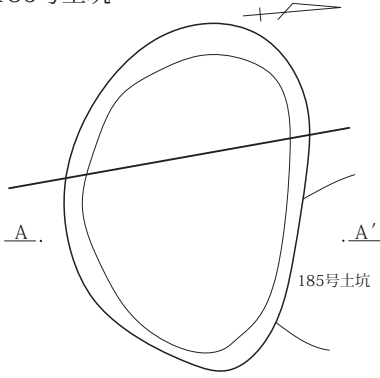


177号土坑

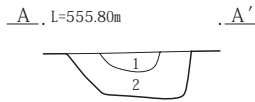
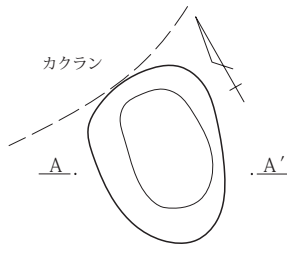


第38圖 土坑 (25)

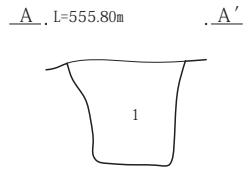
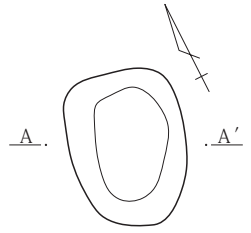
186号土坑



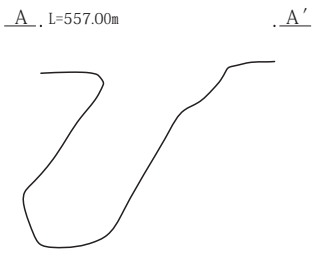
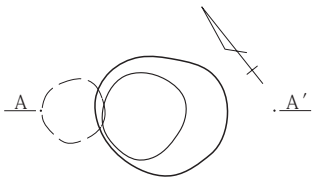
187号土坑



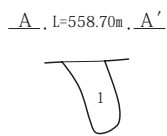
188号土坑



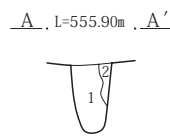
189号土坑



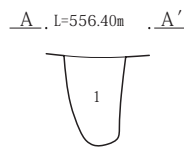
1号ピット



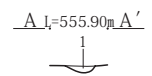
2号ピット



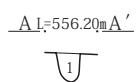
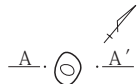
3号ピット



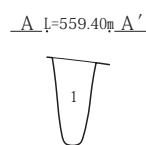
4号ピット



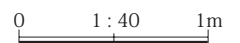
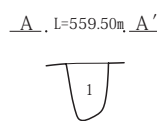
5号ピット



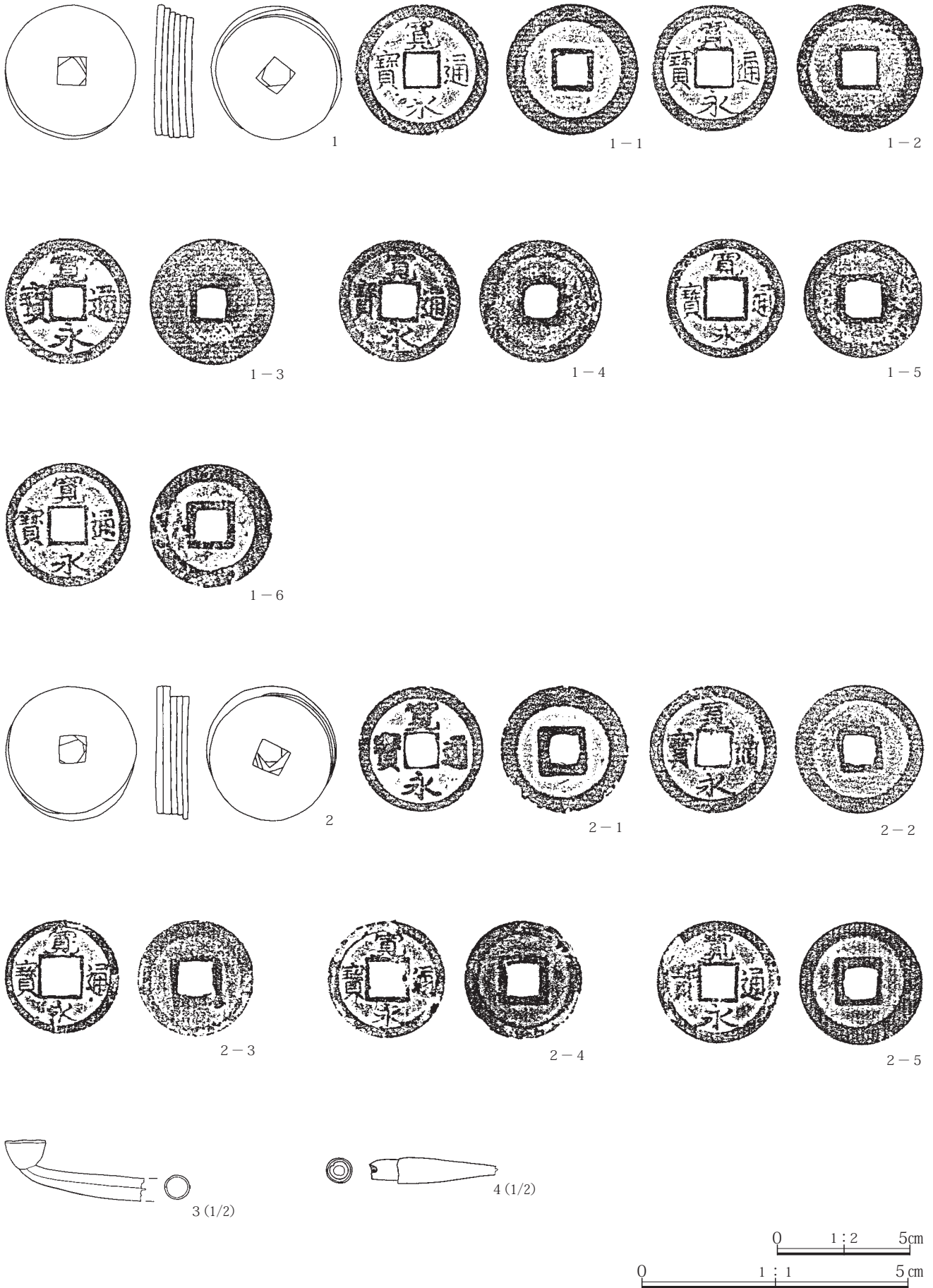
6号ピット



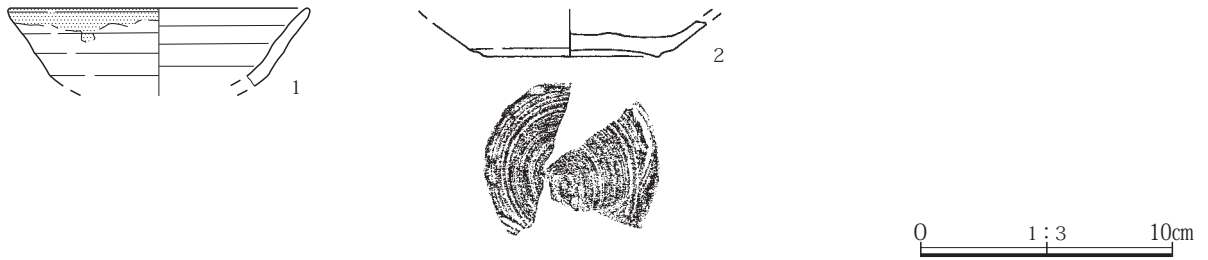
7号ピット



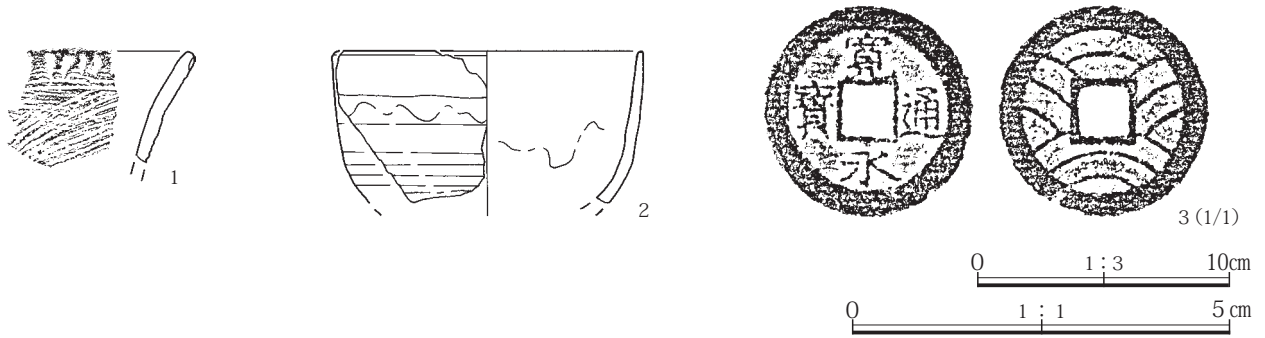
第39図 土坑 (26)・ピット



第40圖 164号土坑出土遺物



第41図 70号土坑出土遺物



第42図 遺構外出土遺物

第4章 まとめ

本遺跡の特徴の一つは、数多くの陥し穴が検出されていることである。その分類については、篠原正洋の三平 I・II 遺跡での分類によれば、楕円型陥し穴(1類:下半部のみ残存 2類:ほぼ完形)、溝型陥し穴(逆茂木を伴う場合あり)、筒型陥し穴の3種類にしているが、筆者は、遺構確認時の楕円形から確認面が下がることによる隅丸長方形について、篠原のいう一番最初の事例をA類、円形で深い資料の3つ目の事例をB類、2つ目の事例の細長い溝状陥し穴をC類と分類した。これらについては、上ノ平 I 遺跡の最新の報告事例でもある『上ノ平

I 遺跡(3)』を参照してもらいたい。

これらは、形状のみならず、埋没土の堆積状況の様子からA類が主に平安時代、B類が中近世、C類が縄文時代に多いとみられている。そこで、時期設定にあたっては、それらを大いに参考としているものの、個々の事例での実際の遺構確認面の検出時の状況や遺物からの判断も判断材料としている。だが、実際には遺構同士の重複関係や新旧関係から、一概にはうまく分類出来ないこともある。現在も発掘調査中の石川原遺跡でも多数の陥し穴が検出されていることから、更に吟味して陥し穴の時期設定などに取り組むのが今後の課題でもある。

表2 遺構一覧表

竪穴住居													
番号	区	面	グリッド	時期	種類	長軸	短軸	深さ	主軸方位	形状	面積	新旧関係・その他	写真
1	89	3	M・N-3・4	縄文	(324)	312	-	-	-	円形	(8.5) m ²	148・180・190号土坑より古い。	PL.3-1~4
土坑													
番号	区	面	グリッド	時期	種類	長軸	短軸	深さ	主軸方位	形状	分類	新旧関係・その他	写真
1	79	1	B-20		土坑	114	-	28	-	円形	3類	169号土坑より新しい。	PL.11-15、12-1
2	79	2	C-21	平安	陥穴	123	84	90	N-73°-E	楕円形	1類		PL.3-5・6
3	79	2	C-21・22	平安	陥穴	186	94	73	N-35°-E	隅丸長方形	1類		PL.3-7・8
4	79	2	C・D-21	平安	陥穴	156	100	106	N-50°-E	隅丸長方形	1類		PL.3-9・10
5	79	2	E-19	平安	陥穴	148	76	84	N-82°-E	隅丸長方形	1類		PL.4-1・2
6	79	2	E・F-19	平安	陥穴	160	108	88	N-47°-E	隅丸長方形	1類		PL.4-3・4
7	79	2	F-23・24	平安	陥穴	174	74	88	N-56°-E	隅丸長方形	1類		PL.4-5・6
8	79	2	I-24	平安	陥穴	136	76	67	N-42°-W	隅丸長方形	1類		PL.4-7・8
9	79	1	I-23・24		土坑	110	-	51	-	円形	3類	162号土坑より新しい。	PL.12-2~4
10	79	1	I・J-24		土坑	110	80	20	N-23°-W	楕円形	4類		PL.22-13・14

番号	区	面	グリッド	時期	種類	長軸	短軸	深さ	主軸方位	形状	分類	新旧関係・その他	写真
11	79	2	H-25	平安	陥穴	136	106	88	N-30°-E	隅丸長方形	1類		PL.4-9・10
12	79・89	1	H-25・1			148	127	82	N-76°-W	楕円形	4類		PL.22-15、23-1
13	79	2	J-23	平安	陥穴	150	115	223	N-63°-E	隅丸長方形	1類		PL.4-11・12
14	79	1	J・K-22	中近世	陥穴	122	-	86	-	円形	2類		PL.9-4・5
15	89	1	I-1		土坑	130	-	20	-	円形	3類		PL.12-5・6
16	79	2	K-25	平安	陥穴	145	122	79	N-40°-E	隅丸長方形	1類		PL.4-13・14
17	79	2	K-24・25	平安	陥穴	200	108	104	N-70°-E	隅丸長方形	1類		PL.4-15、5-1
18	79	2	L-19	平安	陥穴	122	100	90	N-79°-W	隅丸長方形	1類		PL.5-2・3
19	79	1	L-17		土坑	106	-	25	-	円形	4類	20号土坑より新しい。	PL.23-2・3
20	79	1	L-17		土坑	102	-	35	-	円形	4類	19号土坑より古い。	PL.23-4・5
21	79	2	M-22	平安	陥穴	160	122	94	N-46°-E	隅丸長方形	1類		PL.5-4・5
22	79	2	L-23・24	平安	陥穴	206	164	105	N-10°-E	楕円形	1類		PL.5-6・7
23	79	1	L-25	中近世	陥穴	154	-	127	-	円形	2類		PL.9-6・7
24	89	2	L-1	平安	陥穴	172	118	77	N-36°-E	隅丸長方形	1類		PL.5-8・9
25	79・89	1	K・L-25・1		土坑	90	-	28	-	円形	3類		PL.12-7
26	89	1	K-1		土坑	116	-	31	-	円形	4類		PL.23-6・7
27	79	2	F-23	平安	陥穴	160	111	130	N-65°-E	隅丸長方形	1類		PL.5-10・11
28	79	2	K-19	平安	陥穴	152	103	109	N-77°-E	隅丸長方形	1類		PL.5-12
29	89	1	N-10		土坑	(120)	(66)	26	N-30°-E	楕円形か?	3類	179号土坑より新しい。	PL.12-8・9
30	89	1	L・M-9		土坑	92	-	35	-	円形	3類		PL.12-10・11
31	89	1	K-8・9		土坑	112	-	30	-	円形	3類		PL.12-12・13
32	89	1	N-10・11		土坑	94	-	60	-	円形	3類		PL.12-14・15
33	89	2	N-10	中近世	陥穴	152	-	118	-	円形	2類		PL.9-8・9
34	89	1	N-9・10		土坑	160	149	48	N-35°-E	不定形	4類		PL.23-8・9
35	89	1	M・N-10		土坑	127	90	65	N-34°-E	楕円形	4類	36号土坑より新しい。	PL.23-10・11
36	89	2	M・N-10	平安	陥穴	117	96	97	N-66°-E	楕円形	1類	35・177号土坑より古い。	PL.5-13・14
37	89	1	M-9	中近世	陥穴	119	90	82	N-58°-W	楕円形	2類	38号土坑より古い。	PL.9-10・12
38	89	1	M-9	中近世	陥穴	(152)	-	75	-	円形	2類	37号土坑より新しい。	PL.9-11
39	89	1	M-9・10		土坑	90	-	45	-	円形	3類		PL.13-1・2
40	89	2	L・M-9	平安	陥穴	184	130	82	N-61°-E	隅丸長方形	1類		PL.5-15、6-1
41	89	1	M-10		土坑	106	(55)	71	N-8°-E	楕円形か?	4類	42号土坑より新しい。	PL.23-12・13
42	89	2	L・M-10	平安	陥穴	(115)	100	70	N-81°-W	隅丸長方形	1類	41号土坑より古い。	PL.6-2・3
43	89	1	L-10		土坑	96	-	40	-	円形	3類		PL.13-3・4
44	89	1	K・L-9・10		土坑	125	-	37	-	円形	3類		PL.13-5・6
45	89	1	J-9		土坑	162	140	29	N-45°-E	楕円形	4類		PL.23-14・15
46	89	1	K-8		土坑	138	-	50	-	円形	3類		PL.13-7・8
47	89	1	J-7		土坑	124	-	49	-	円形	3類		PL.13-9・10
48	89	1	J-7	中近世	陥穴	122	-	74	-	円形	2類		PL.9-13・14
49	89	1	N-7・8	中近世	陥穴	140	122	92	N-18°-W	楕円形	2類		PL.9-15、10-1
50	89	1	M・N-6・7		土坑	103	-	21	-	円形	3類		PL.13-11・12
51	89	1	M-6・7	中近世	陥穴	128	-	72	-	円形	2類		PL.10-2・3
52	89	1	M-6		土坑	118	-	25	-	円形	3類		PL.13-13・14
53	89	1	M-6		土坑	98	-	38	-	円形	3類		PL.13-15、14-1
54	89	1	M-5・6		土坑	125	-	30	-	円形	3類		PL.14-2・3
55	89	1	M-5		土坑	104	-	54	-	円形	3類		PL.14-4・5
56	89	1	M-5		土坑	86	-	20	-	円形	3類		PL.14-6・7
57	89	1	M-4・5		土坑	98	-	15	-	円形	3類		PL.14-8・9
58	89	1	L・M-7	中近世	陥穴	123	115	70	N-76°-E	楕円形	2類		PL.10-4・5
59	89	1	L-7		土坑	106	-	36	-	円形	3類		PL.14-10・11
60	89	2	L-6		土坑	84	-	14	-	円形	3類		PL.14-12・13
61	89	1	K・L-7		土坑	112	-	57	-	円形	3類		PL.14-14・15
62	89	1	K・L-6		土坑	102	-	29	-	円形	3類		PL.15-1・2
63	89	1	L-7	中近世	陥穴	142	-	90	-	円形	2類	143号土坑とは不明。	PL.10-6・7
64	89	2	M-7	平安	陥穴	194	170	124	N-76°-W	隅丸長方形	1類	174号土坑とは不明。	PL.6-4・5
65	89	1	M-8	中近世	陥穴	154	-	79	-	円形	2類	66・175号土坑より新しい。	PL.10-8・9
66	89	2	M-8	平安	陥穴	152	(106)	72	N-82°-W	隅丸長方形か?	1類	65号土坑より古い。	PL.6-6・7
67	89	1	L-5		土坑	76	-	32	-	円形	3類		PL.15-3・4
68	89	1	L-5・6		土坑	82	-	30	-	円形	3類		PL.15-5・6
69	89	1	K-5		土坑	97	-	34	-	円形	3類		PL.15-7・8
70	89	1	K-5		土坑	55	-	22	-	円形	3類		PL.15-9～11
71	89	1	K・L-5		土坑	120	-	45	-	円形	3類		PL.15-12・13
72	89	1	J・K-5		土坑	90	-	36	-	円形	3類		PL.15-14・15
73	89	1	L-5		土坑	144	-	21	-	円形	3類		PL.16-1・2
74	89	2	L-7・8	平安	陥穴	155	140	66	N-86°-E	隅丸長方形	1類	75・76号土坑より古い。	PL.6-8・9
75	89	1	L・M-7		土坑	108	(80)	40	-	不明	3類	74・76号土坑より新しい。	PL.16-3・4
76	89	2	L・M-7・8	平安	陥穴	(148)	120	78	N-72°-W	隅丸長方形	1類	74・75号土坑より古い。	PL.6-10・11
77	89	1	K-4・5		土坑	92	-	55	-	円形	3類		PL.16-5・6
78	89	1	J-5・6		土坑	99	-	23	-	円形	3類		PL.16-7・8
79	89	1	I-5・6		土坑	101	-	18	-	円形	3類		PL.16-9・10

遺構一覧表

番号	区	面	グリッド	時期	種類	長軸	短軸	深さ	主軸方位	形状	分類	新旧関係・その他	写真
80	89	1	J-6			146	-	55	-	円形	3類		PL.16-11・12
81	89	1	L-6			92	-	59	-	円形	3類	82号土坑より新しい。83号土坑とは不明。	PL.16-13・14
82	89	1	K・L-6			198	-	14	-	円形	4類	81・83号土坑より古い。	PL.24-1・2
83	89		K・L-6			125	-	51	-	円形	3類	82号土坑より新しい。81号土坑とは不明。	PL.16-15、17-1
84	89	1	I・J-4・5			113	-	56	-	円形	3類		PL.17-2・3
85	89	1	M-5	中近世	陥穴	118	-	77	-	円形	2類	86・171・172号土坑より新しい。	PL.10-10・11
86	89	1	M-5			182	114	75	N-31°-E	楕円形	4類	85号土坑より古い。171・172号土坑より新しい。	PL.24-3・4
87	89	1	L・M-6	中近世	陥穴	152	-	91	-	円形	2類	88号土坑より新しい。	PL.10-12・13
88	89	1	M-6			118	(98)	28	N-56°-W	不定形	4類	87号土坑より古い。	PL.24-5
89	89	1	J-5	中近世	陥穴	113	-	111	-	円形	2類		PL.10-14・15
90	89	1	J-5			112	-	64	-	円形	3類		PL.17-4・5
91	89	1	J-4			(132)	-	37	-	円形	3類	120号土坑より新しい。	PL.17-6・7
92	89	1	I-3			115	-	40	-	円形	3類		PL.17-8・9
93	89	1	H-4			96	-	25	-	円形	3類	100号土坑より新しい。	PL.17-10・11
94	89	1	J-4			(80)	(22)	50	-	不明	4類	95・96号土坑より新しい。	PL.24-6・7
95	89	1	I・J-3・4			194	(146)	41	N-55°-E	楕円形	4類	94号土坑より古い。96号土坑より新しい。	PL.24-6・7
96	89	1	I・J-3・4			136	-	59	-	円形	4類	94・95号土坑より古い。	PL.24-6・7
97	79	1	N-17			100	62	57	N-0°	楕円形	4類		PL.24-8・9
98	79	1	N-17			66	40	15	N-18°-W	楕円形	4類		PL.24-10・11
99	79	1	K・L-22・23			93	52	55	N-17°-W	隅丸長方形	4類		PL.24-12・13
100	89	1	H-4			76	(56)	9	N-42°-E	楕円形	3類	93号土坑より古い。	PL.17-12・13
101	89	1	G-3			124	76	46	N-63°-W	隅丸長方形	4類		PL.24-14・15
102	89	1	G-1			124	82	60	N-79°-E	隅丸長方形	4類		PL.25-1・2
103	89	1	H-2			149	-	53	-	円形	3類		PL.17-14・15
104	89	2	F-6	平安	陥穴	132	-	118	-	隅丸長方形	1類		PL.6-12・13
105	89	1	F-5			110	-	41	-	円形	3類		PL.18-1・2
106	89	2	I-3・4	平安	陥穴	206	150	100	N-7°-E	隅丸長方形	1類		PL.6-14・15
107	89	1	G・H-5			108	-	38	-	円形	3類		PL.18-3・4
108	89	1	F・G-4			145	88	64	N-77°-W	楕円形	4類		PL.25-3・4
109	89	1	F-4			223	126	27	N-55°-E	隅丸長方形	4類		PL.25-5・6
110	89	1	F-2			219	142	34	N-60°-E	隅丸長方形	4類		PL.25-7・8
111	89	2	G-1	平安	陥穴	162	80	107	N-73°-W	隅丸長方形	1類		PL.7-1・2
112	89	1	H-3			116	94	48	N-45°-E	楕円形	4類	113号土坑より古い。	PL.25-9・10
113	89	1	H-3・4	中近世	陥穴	158	-	103	-	円形	2類	112号土坑より新しい。	PL.11-1・2
114	89	1	I-2・3			153	-	57	-	円形	3類		PL.18-5・6
115	89	1	J-3			140	-	43	-	円形	3類		PL.18-7・8
116	89	1	G-5			134	(84)	53	N-13°-E	楕円形か?	4類	117号土坑より新しい。	PL.25-11・12
117	89	2	G-5	平安	陥穴	180	76	107	N-84°-W	隅丸長方形	1類	116号土坑より古い。	PL.7-3・4
118	89	1	E・F-1			192	-	45	-	円形	3類		PL.18-9・10
119	89	1	K-4			120	-	41	-	円形	3類		PL.18-11・12
120	89	1	J-4			106	-	51	-	円形	3類	91号土坑より古い。	PL.18-13・14
121	89	1	I・J-8			92	-	10	-	円形	3類		PL.18-15、19-1
122	89	1	I-7	中近世	陥穴	110	-	90	-	円形	2類		PL.11-3・4
123	89	1	I-5	中近世	陥穴	174	-	120	-	円形	2類		PL.11-5・6
124	89	1	K・L-4・5			100	-	32	-	円形	3類		PL.19-2・3
125	89	1	J・K-2・3			80	-	32	-	円形	3類		PL.19-4・5
126	89	1	J-2・3	中近世	陥穴	148	-	83	-	円形	2類		PL.11-7・8
127	89	1	J・K-3	中近世	陥穴	185	-	78	-	円形	2類		PL.11-9・10
128	89	2	H・I-2	平安	陥穴	188	148	111	N-55°-E	楕円形	1類		PL.7-5・6
129	89	2	I-6・7	平安	陥穴	177	147	139	N-74°-W	隅丸長方形	1類		PL.7-7・8
130	89	1	L-5			82	-	34	-	円形	3類		PL.19-6・7
131	89	1	L-4			108	-	36	-	円形	3類	132号土坑より新しい。	PL.19-8・9
132	89	1	L-4			66	-	7	-	円形	3類	131号土坑より古い。	PL.19-10・11
133	89	1	L-4			110	-	44	-	円形	3類		PL.19-12・13
134	89	1	K・L-3・4			112	-	30	-	円形	3類		PL.19-14・15
135	89	1	L-3			118	-	40	-	円形	3類		PL.20-1・2
136	89	1	K-2・3			97	-	20	-	円形	3類		PL.20-3・4
137	89	1	K・L-2			108	-	39	-	円形	3類		PL.20-5・6
138	89	1	K-4			155	-	60	-	円形	3類		PL.20-7・8
139	89	1	K-1・2			138	-	47	-	円形	3類		PL.20-9・10
140	89	1	L-1・2			51	-	45	-	円形	3類		PL.20-11・12
141	89	1	M-2			86	-	16	-	円形	3類		PL.20-13・14
142	89	1	J-1・2			110	-	51	-	円形	3類		PL.20-15、21-1
143	89	1	L-7			(96)	(44)	26	-	不明	3類	63号土坑とは不明。	PL.21-2・3
144	89	1	L-2・3			132	-	40	-	円形	3類		PL.21-4・5

番号	区	面	グリッド	時期	種類	長軸	短軸	深さ	主軸方位	形状	分類	新旧関係・その他	写真
145	89	1	I-4・5			(210)	125	60	N-45°-E	楕円形	4類	146号土坑より新しい。	PL.25-13・14
146	89	1	H・I-5			122	-	51	-	円形か?	3類	145号土坑より古い。	PL.21-6・7
147	89	2	M-4	平安	陥穴	146	122	83	N-17°-E	楕円形	1類	180号土坑より古い。	PL.7-9・10
148	89	2	M-3	平安	陥穴	200	138	82	N-20°-E	隅丸長方形	1類		PL.7-11・12
149	89	1	L-2	中近世	陥穴	136	-	99	-	円形	2類		PL.11-11・12
150	89	1	L-2			112	-	42	-	円形	3類		PL.21-8・9
151	89	1	M-2			96	-	23	-	円形	3類	152号土坑より新しい。	PL.21-10・11
152	89	2	M・N-1・2	平安	陥穴	218	156	90	N-46°-E	隅丸長方形	1類	151号土坑より古い。	PL.7-13・14
153	89	2	K-3	平安	陥穴	172	124	95	N-61°-E	隅丸長方形	1類	154号土坑より古い。	PL.7-15、8-1
154	89	1	K-3			110	-	31	-	円形	3類	153号土坑より新しい。	PL.21-12・13
155	89	1	L-4			(142)	112	68	N-77°-E	楕円形	4類	181号土坑とは不明。	PL.25-15、26-1
156	89	2	L・M-3	平安	陥穴	216	(187)	108	N-45°-W	隅丸長方形	1類	159号土坑より古い。	PL.8-2・3
157	89	1	E・F-2	中近世	陥穴	130	-	96	-	円形	2類		PL.1-13・14
158	89	1	E-1			82	-	13	-	円形	3類		PL.21-14・15
159	89	2	M-2・3	平安	陥穴	178	136	117	N-26°-E	隅丸長方形	1類	156号土坑より新しい。	PL.8-4・5
160	89	2	J・K-1・2	平安	陥穴	252	130	154	N-32°-E	隅丸長方形	1類		PL.8-6・7
161	79	2	L-21・22	平安	陥穴	217	120	77	N-87°-E	隅丸長方形	1類		PL.8-8・9
162	79	1	I-23・24			115	56	54	N-39°-W	隅丸長方形	4類	9号土坑より古い。	PL.26-2・3
163	79	1	J-24			232	98	27	N-87°-E	隅丸長方形	4類		PL.26-4・5
164	79	2	M-20	江戸	墓壇	138	84	50	N-10°-W	隅丸長方形	4類	人骨・煙管・古銭が出土。	PL.26-6・7
165	79	1	F・G-21・22			196	100	44	N-73°-E	不定形	4類		PL.26-8・9
166	79	2	F・G-21・22	平安	陥穴	172	96	71	N-26°-E	隅丸長方形	1類		PL.8-10・11
167	79	2	H・I-19	平安	陥穴	190	93	118	N-67°-E	隅丸長方形	1類		PL.8-12・13
168	79	1	L-22			66	-	14	-	円形	3類		PL.22-1
169	79	1	B-20			(132)	102	36	N-69°-E	楕円形	3類	1号土坑より古い。	PL.22-2・3
170	79・89	1	F-25・1			96	72	54	N-41°-W	隅丸長方形	4類		PL.26-10
171	89	1	L・M-5			(84)	(78)	34	-	不明	4類	85・86・172号土坑より古い。	PL.26-11
172	89	1	L・M-5			(116)	(112)	48	-	不明	4類	85・86号土坑より古い。171号土坑より新しい。	PL.26-11
173	89	2	O-10・11	平安	陥穴	180	122	73	N-82°-W	隅丸長方形	1類		PL.8-14・15
174	89	1	M-7			(90)	-	32	-	円形	4類	64号土坑とは不明。	PL.26-12
175	89	1	M-8	中近世	陥穴	120	-	98	-	円形	2類	65・66号土坑より古い。	PL.22-4
176	89	1	M-9			122	-	40	-	円形	3類	37・38号土坑より古い。	PL.26-13
177	89	1	N-10			(110)	(64)	48	-	不明	4類	35・36号土坑より古い。	PL.26-14
178	89	2	M-10	平安	陥穴	160	140	62	N-85°-E	楕円形	1類		PL.9-1
179	89	2	N-10・11	平安	陥穴	178	158	93	N-49°-W	隅丸長方形	1類	29号土坑より古い。	PL.9-2・3
180	89	1	M・N-4			100	-	24	-	円形	3類	147号土坑より古い。	PL.22-5
181	89	1	L-4			112	-	(65)	-	円形か?	4類	155号土坑とは不明。	PL.26-1
182	89	1	O-10・11			(138)	-	20	-	-	-		
183	89	1	L-9			106	-	22	-	円形	3類		PL.22-6・7
184	89	1	H・I-4・5			102	85	46	N-0°	楕円形	3類		PL.22-8・9
185	89	1	M・N-6			(88)	88	18	N-20°-W	楕円形	3類	186号土坑より古い。	PL.22-10・11
186	89	1	M・N-5・6			182	126	36	N-75°-W	楕円形	4類	185号土坑より新しい。	PL.26-15、27-1
187	89	1	E-4・5			94	68	25	N-15°-E	楕円形	4類		PL.27-2・3
188	89	1	D・E-4・5			82	62	56	N-15°-E	楕円形	4類		PL.27-4・5
189	89	1	D・E-1			70	-	95	-	円形	4類		PL.27-6
190	89	1	N-3			138	-	28	-	円形	3類		PL.22-12

ピット

番号	区	面	グリッド	時期	種類	長軸	短軸	深さ	主軸方位	形状	分類	新旧関係・その他	写真
1	79	2	M-19			36	30	38	-	円形			PL.27-7・8
2	89	2	K-5			26	22	37	-	円形			PL.27-9・10
3	89	2	L-2・3			44	32	47	-	円形			PL.27-11・12
4	89	2	K-5・6			16	14	4	-	円形		焼土僅含。	PL.27-13・14
5	89	2	L-3			17	13	15	-	円形			PL.27-15、28-1
6	79	2	C-20			24	20	46	-	円形			PL.28-2・3
7	79	2	C-20			25	20	30	-	円形			

表3 遺物観察表

遺物集中

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	残存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特徴	備考
第10図 PL.30	1	縄文土器 深鉢	口縁部	64,65,67	口:(27.4)	白色・褐色粒。内面に焦げ付着。	波状口縁。隆線+沈線区画。縄文。	加曾利E式
第10図 PL.30	2	縄文土器 深鉢	口縁~胴部	76		白色・褐色粒。砂礫。	隆線+沈線区画。縄文。	加曾利E式
第10図 PL.30	3	縄文土器 深鉢	口縁部	43		白色・黒色粒。	沈線区画。縄文。内面研磨。	加曾利E式
第10図 PL.30	4	縄文土器 深鉢	口縁部	75,76		白色・黒色粒。	波状口縁。沈線区画。縄文。	加曾利E式

遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	残存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
第10図 PL.30	5	縄文土器 深鉢	口縁部	51,57		白色・黒色粒。	波状口縁。沈線区画。縄文。	加曾利E式
第10図 PL.30	6	縄文土器 深鉢	口縁部	84		白色・黒色粒。	口縁部は外反する。隆線+刻み。	勝坂式
第10図 PL.30	7	縄文土器 深鉢	胴部	60,61,73, 77		白色・黒色粒。	沈線区画。縄文。	加曾利E式
第10図 PL.30	8	縄文石器 磨製石斧	頭部欠損	24	長:9.4、幅:4.9 厚:2.8、重:232.4	変玄武岩	体部表面剥離。	
第10図 PL.30	9	縄文石器 打製石斧	完形	82	長:11.6、幅:5.9 厚:2.9、重:156.6	細粒輝石安山岩	分銅形。	
第10図 PL.30	10	縄文石器 打製石斧	完形	34	長:14.1、幅:5.3 厚:2.4、重:160.8	細粒輝石安山岩	短冊形。	
第11図 PL.30	11	縄文石器 打製石斧	頭部残存	81	長:3.6、幅:3.8 厚:2.2、重:30.7	流紋岩	短冊形か?	
第11図 PL.30	12	縄文石器 削器	完形	87	長:5.0、幅:7.2 厚:1.7、重:59.4	黒色頁岩	周縁からの両面調整。	
第11図 PL.30	13	縄文石器 加工痕ある剥片	完形	42	長:4.1、幅:3.2 厚:2.9、重:12.6	黒曜石	縦長剥片素材。	
第11図 PL.30	14	縄文石器 石核	完形		長:2.3、幅:3.0 厚:1.1、重:9.3	流紋岩	2方向からの両面剥離	

70号土坑

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	残存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
第41図 PL.31	1	須恵器 坏	口縁部	1	口:(12.0)	灰白色。白色粒。 自然釉付着。	轆轤成形。口縁部に自然釉付着。	
第41図 PL.31	2	須恵器 坏	底部	2	底:7.0	灰白色～にぶい橙 色。白色粒。	轆轤成形。底部回転糸切り。	

164号土坑

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	残存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
第40図 PL.31	1-1	銭貨 寛永通寶	完形		径:2.5、重:3.2			
第40図 PL.31	1-2	銭貨 寛永通寶	完形		径:2.4、重:2.6			
第40図 PL.31	1-3	銭貨 寛永通寶	完形		径:2.4、重:2.7			
第40図 PL.31	1-4	銭貨 寛永通寶	完形		径:2.3、重:3.1			
第40図 PL.31	1-5	銭貨 寛永通寶	完形		径:2.2、重:1.9			
第40図 PL.31	1-6	銭貨 寛永通寶	完形		径:2.3、重:2.8			
第40図 PL.31	2-1	銭貨 寛永通寶	完形	4	径:2.4、重:3.4			
第40図 PL.31	2-2	銭貨 寛永通寶	完形	4	径:2.4、重:3.5			
第40図 PL.31	2-3	銭貨 寛永通寶	完形	4	径:2.2、重:2.9			
第40図 PL.31	2-4	銭貨 寛永通寶	完形	4	径:2.2、重:2.5			
第40図 PL.31	2-5	銭貨 寛永通寶	完形	4	径:2.2、重:2.5			
第40図 PL.31	3	金属製品 煙管・雁首	欠損	2	長:(5.2)、径:0.9 重:5.9			
第40図 PL.31	4	金属製品 煙管・吸口	欠損		長:(4.8)、径:1.0 重:2.3			

遺構外

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	残存	出土位置	計測値(cm)・(g)	石材/胎土	特 徴	備 考
第42図 PL.31	1	縄文土器 深鉢	口縁部			白色粒。石英粒。	口縁部に笠状の縦の刻み。横・斜めの条痕。	
第42図 PL.31	2	陶器 碗	口縁～胴部		口:12.0	褐灰色。白色粒。 鉄釉。	轆轤成形。施釉。	
第42図 PL.31	3	銭貨 寛永通寶	完形		径:2.8、重:4.2			

写真図版



1. 川原湯中原Ⅲ遺跡(西上空から)



2. 川原湯中原Ⅲ遺跡全景(南から)



1. 川原湯中原Ⅲ遺跡全景(南から)



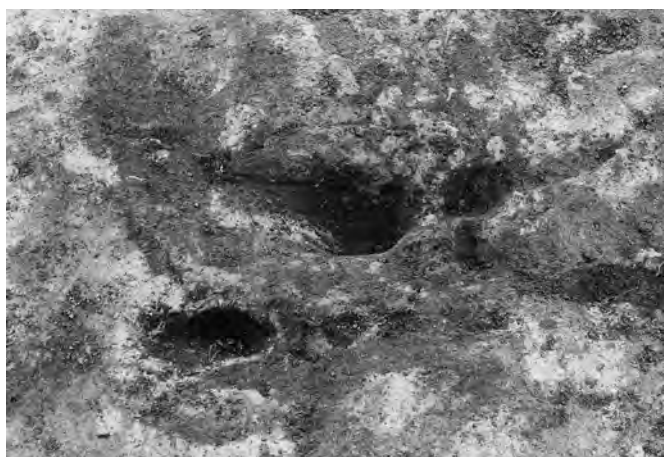
2. 川原湯中原Ⅲ遺跡全景(東から)



1. 1号竪穴住居全景(北から)



2. 1号竪穴住居炉セクション(北から)



3. 1号竪穴住居炉掘り方全景(東から)



4. 1号竪穴住居掘り方全景(東から)



5. 2号土坑セクション(東から)



6. 2号土坑全景(東から)



7. 3号土坑セクション(北東から)



8. 3号土坑全景(北東から)



9. 4号土坑セクション(北東から)



10. 4号土坑全景(北東から)

PL.4



1. 5号土坑セクション(東から)



2. 5号土坑全景(東から)



3. 6号土坑セクション(北東から)



4. 6号土坑全景(北東から)



5. 7号土坑セクション(北東から)



6. 7号土坑全景(北東から)



7. 8号土坑セクション(北西から)



8. 8号土坑全景(北西から)



9. 11号土坑セクション(北東から)



10. 11号土坑全景(北東から)



11. 13号土坑セクション(西から)



12. 13号土坑全景(西から)



13. 16号土坑セクション(北東から)



14. 16号土坑全景(北東から)



15. 17号土坑セクション(東から)



1. 17号土坑全景(東から)



2. 18号土坑セクション(西から)



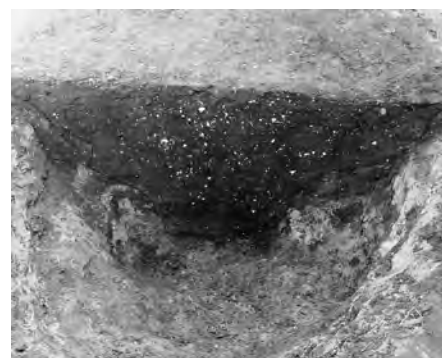
3. 18号土坑全景(西から)



4. 21号土坑セクション(北東から)



5. 21号土坑全景(北東から)



6. 22号土坑セクション(北から)



7. 22号土坑全景(北から)



8. 24号土坑セクション(北東から)



9. 24号土坑全景(北東から)



10. 27号土坑セクション(北東から)



11. 27号土坑全景(北東から)



12. 28号土坑全景(東から)



13. 36号土坑セクション(北西から)



14. 36号土坑全景(北から)



15. 40号土坑セクション(西から)

PL.6



1. 40号土坑全景(東から)



2. 42号土坑セクション(北東から)



3. 42号土坑全景(西から)



4. 64号土坑セクション(西から)



5. 64号土坑全景(東から)



6. 66号土坑セクション(北から)



7. 66号土坑全景(北から)



8. 74号土坑セクション(北から)



9. 74号土坑全景(北から)



10. 76号土坑セクション(北から)



11. 76号土坑全景(西から)



12. 104号土坑セクション(西から)



13. 104号土坑全景(北から)



14. 106号土坑セクション(北から)



15. 106号土坑全景(北から)



1. 111号土坑セクション(北西から)



2. 111号土坑全景(北西から)



3. 117号土坑セクション(西から)



4. 117号土坑全景(西から)



5. 128号土坑セクション(北から)



6. 128号土坑全景(東から)



7. 129号土坑セクション(北から)



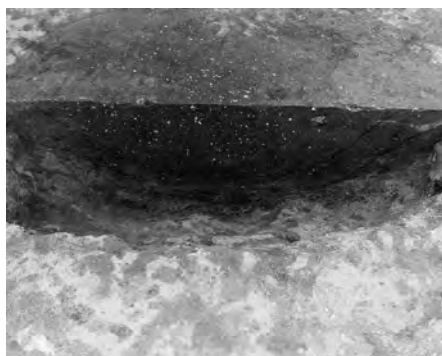
8. 129号土坑全景(西から)



9. 147号土坑セクション(北西から)



10. 147号土坑全景(北から)



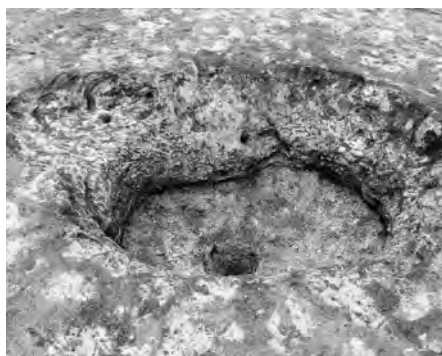
11. 148号土坑セクション(南東から)



12. 148号土坑全景(北から)



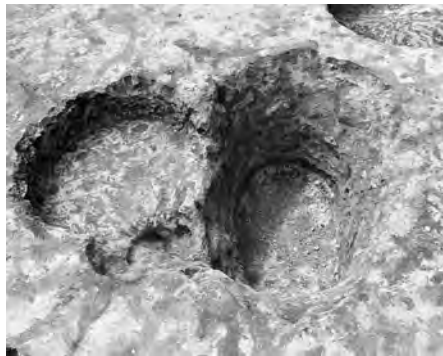
13. 152号土坑セクション(北西から)



14. 152号土坑全景(北西から)



15. 153号土坑セクション(東から)



1. 153号土坑全景(東から)



2. 156号土坑セクション(北西から)



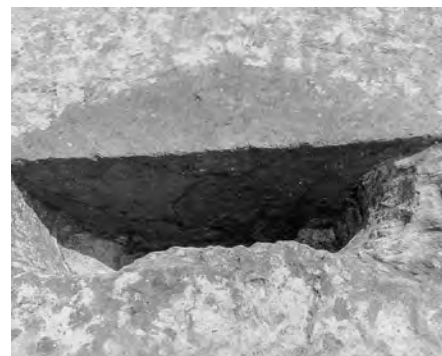
3. 156号土坑全景(北西から)



4. 159号土坑セクション(北西から)



5. 159号土坑全景(南西から)



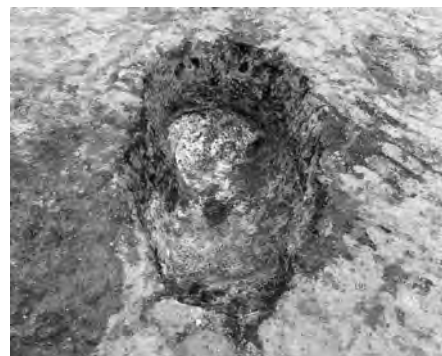
6. 160号土坑セクション(北西から)



7. 160号土坑全景(南西から)



8. 161号土坑セクション(北から)



9. 161号土坑全景(西から)



10. 166号土坑セクション(北東から)



11. 166号土坑全景(北東から)



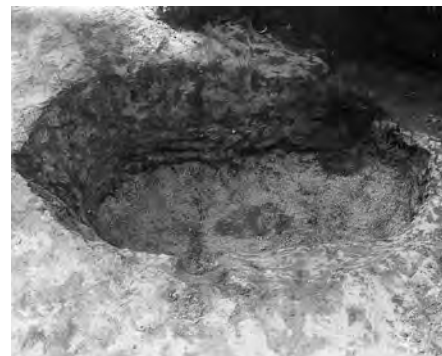
12. 167号土坑セクション(北西から)



13. 167号土坑全景(南西から)



14. 173号土坑セクション(東から)



15. 173号土坑全景(北から)



1. 178号土坑全景(北から)



2. 179号土坑セクション(北西から)



3. 179号土坑全景(北西から)



4. 14号土坑セクション(北から)



5. 14号土坑全景(北から)



6. 23号土坑セクション(北から)



7. 23号土坑全景(西から)



8. 33号土坑セクション(西から)



9. 33号土坑全景(北から)



10. 37号土坑セクション(南東から)



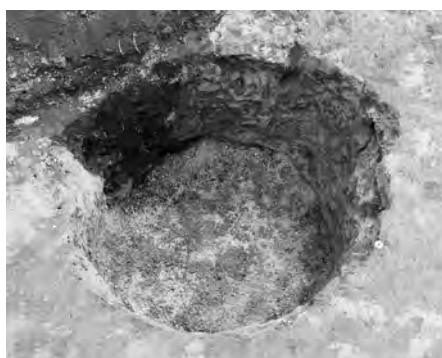
11. 38号土坑セクション(南東から)



12. 37・38号土坑全景(西から)



13. 48号土坑セクション(北から)



14. 48号土坑全景(北から)



15. 49号土坑セクション(東から)



1. 49号土坑全景(北から)



2. 51号土坑セクション(北から)



3. 51号土坑全景(北から)



4. 58号土坑セクション(北から)



5. 58号土坑全景(北から)



6. 63号土坑セクション(北から)



7. 63号土坑全景(西から)



8. 65号土坑セクション(北から)



9. 65号土坑全景(西から)



10. 85号土坑セクション(北東から)



11. 85号土坑全景(北から)



12. 87号土坑セクション(北東から)



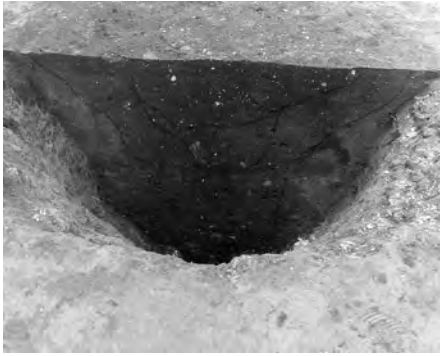
13. 87号土坑全景(北から)



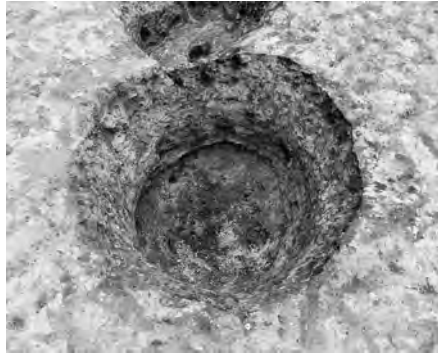
14. 89号土坑セクション(北西から)



15. 89号土坑全景(北から)



1. 113号土坑セクション(東から)



2. 113号土坑全景(北から)



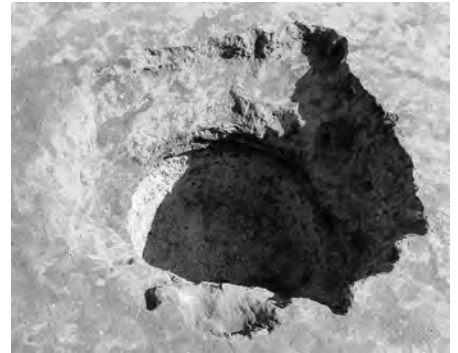
3. 122号土坑セクション(北から)



4. 122号土坑全景(北から)



5. 123号土坑セクション(北西から)



6. 123号土坑全景(北から)



7. 126号土坑セクション(北から)



8. 126号土坑全景(北から)



9. 127号土坑セクション(北から)



10. 127号土坑全景(北から)



11. 149号土坑セクション(東から)



12. 149号土坑全景(北から)



13. 157号土坑セクション(北から)



14. 157号土坑全景(北から)



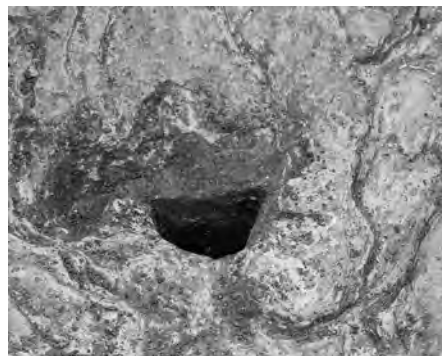
15. 1号土坑セクション(北西から)



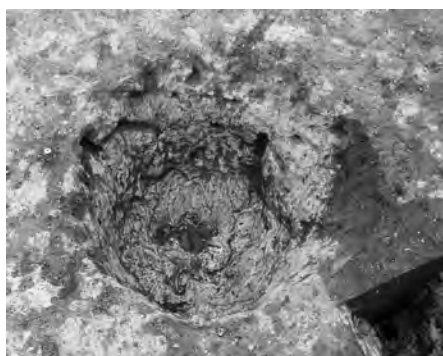
1. 1号土坑全景(北から)



2. 9号土坑セクション(北から)



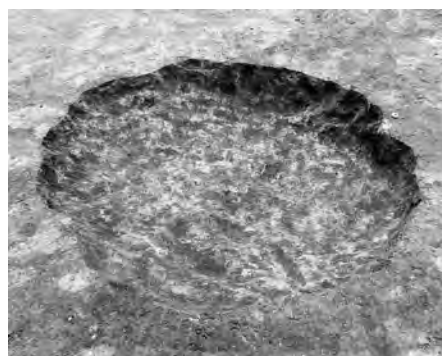
3. 9号土坑逆茂木セクション(北から)



4. 9号土坑全景(北から)



5. 15号土坑セクション(北西から)



6. 15号土坑全景(北西から)



7. 25号土坑セクション(北から)



8. 29号土坑セクション(南から)



9. 29号土坑全景(北から)



10. 30号土坑セクション(北から)



11. 30号土坑全景(北から)



12. 31号土坑セクション(北西から)



13. 31号土坑全景(北から)



14. 32号土坑セクション(西から)



15. 32号土坑全景(北から)



1. 39号土坑セクション(東から)



2. 39号土坑全景(北から)



3. 43号土坑セクション(北から)



4. 43号土坑全景(北から)



5. 44号土坑セクション(北西から)



6. 44号土坑全景(北西から)



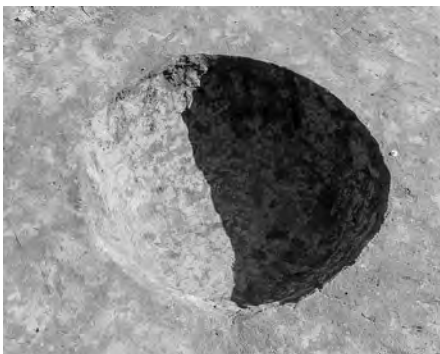
7. 46号土坑セクション(北から)



8. 46号土坑全景(北から)



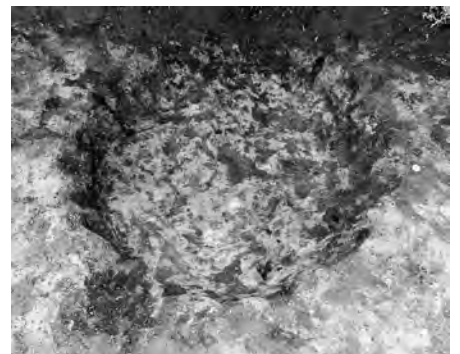
9. 47号土坑セクション(北から)



10. 47号土坑全景(北から)



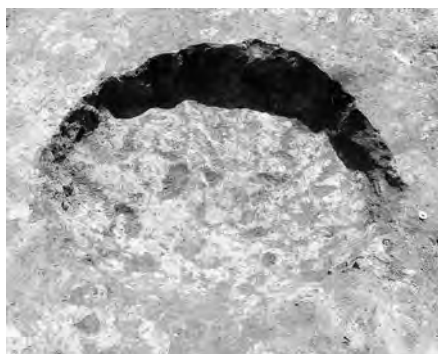
11. 50号土坑セクション(東から)



12. 50号土坑全景(東から)



13. 52号土坑セクション(北から)



14. 52号土坑全景(北から)



15. 53号土坑セクション(北西から)



1. 53号土坑全景(北から)



2. 54号土坑セクション(東から)



3. 54号土坑全景(北から)



4. 55号土坑セクション(北から)



5. 55号土坑全景(北から)



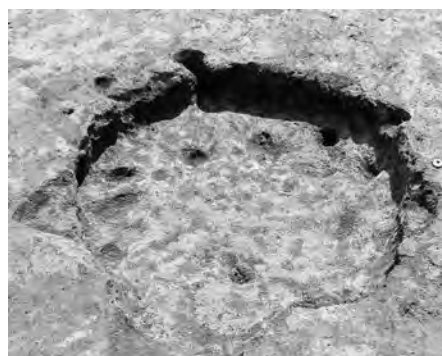
6. 56号土坑セクション(北から)



7. 56号土坑全景(北から)



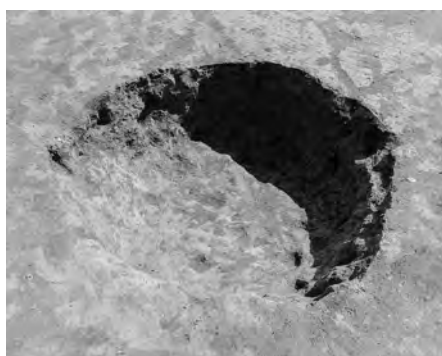
8. 57号土坑セクション(北から)



9. 57号土坑全景(北から)



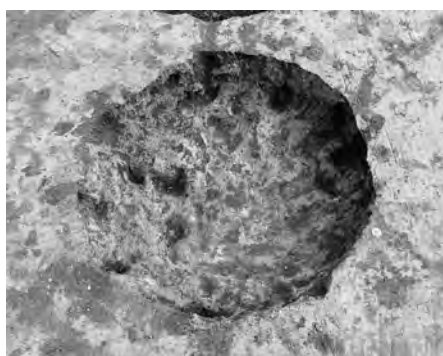
10. 59号土坑セクション(北から)



11. 59号土坑全景(北から)



12. 60号土坑セクション(北から)



13. 60号土坑全景(北西から)



14. 61号土坑セクション(北から)



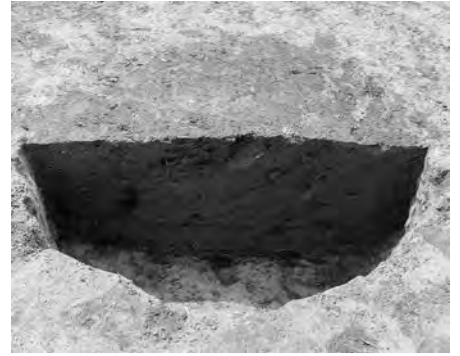
15. 61号土坑全景(北から)



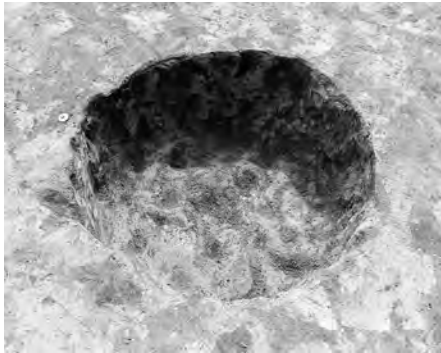
1. 62号土坑セクション(北から)



2. 62号土坑全景(北西から)



3. 67号土坑セクション(北から)



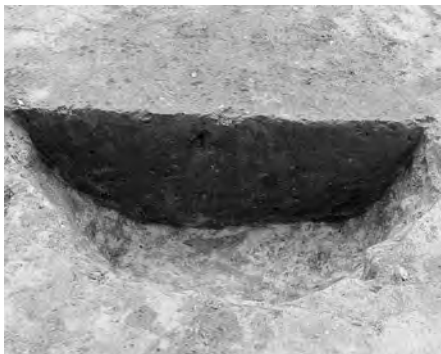
4. 67号土坑全景(北から)



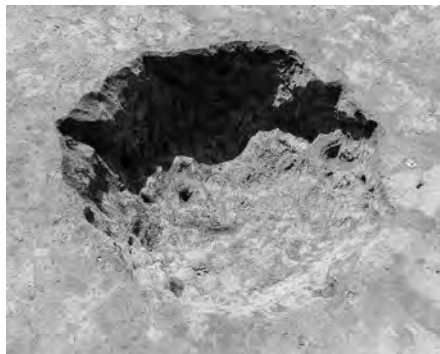
5. 68号土坑セクション(北から)



6. 68号土坑全景(北から)



7. 69号土坑セクション(北から)



8. 69号土坑全景(北から)



9. 70号土坑セクション(北から)



10. 70号土坑遺物出土状態(北から)



11. 70号土坑全景(北から)



12. 71号土坑セクション(北から)



13. 71号土坑全景(北から)



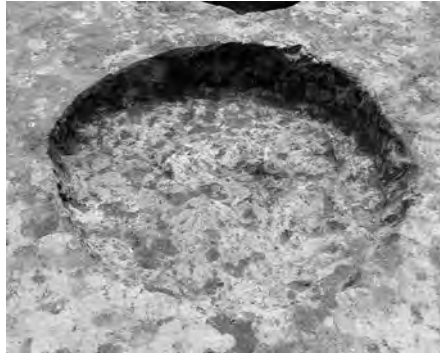
14. 72号土坑セクション(北西から)



15. 72号土坑全景(北西から)



1. 73号土坑セクション(北から)



2. 73号土坑全景(北から)



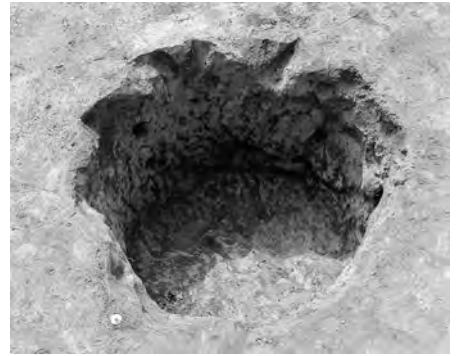
3. 75号土坑セクション(北から)



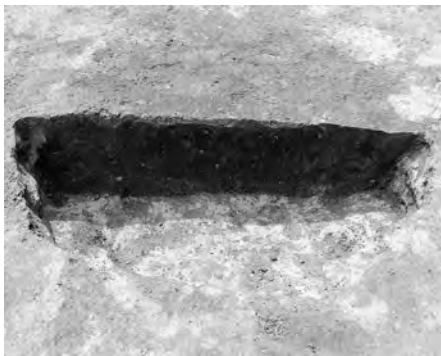
4. 75号土坑全景(北から)



5. 77号土坑セクション(北西から)



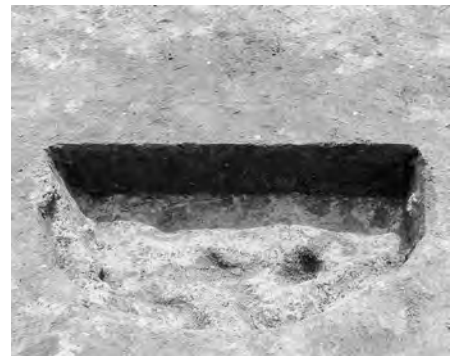
6. 77号土坑全景(北から)



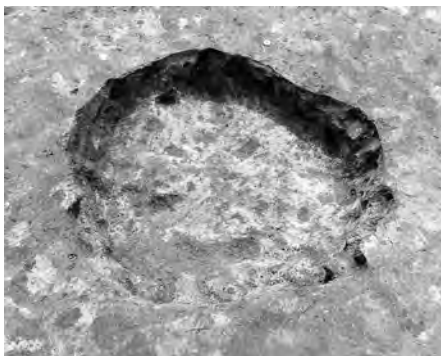
7. 78号土坑セクション(北東から)



8. 78号土坑全景(北から)



9. 79号土坑セクション(北から)



10. 79号土坑全景(北から)



11. 80号土坑セクション(北から)



12. 80号土坑全景(北から)



13. 81号土坑セクション(北東から)



14. 81号土坑全景(北東から)



15. 83号土坑セクション(北東から)



1. 83号土坑全景(北東から)



2. 84号土坑セクション(北西から)



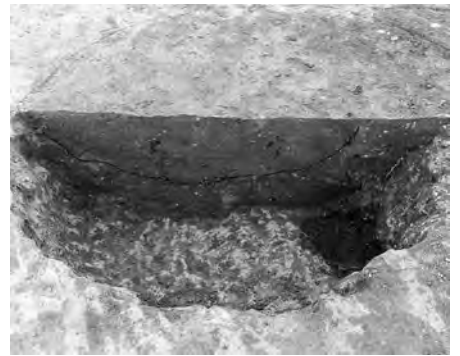
3. 84号土坑全景(北西から)



4. 90号土坑セクション(南から)



5. 90号土坑全景(北から)



6. 91号土坑セクション(北西から)



7. 91号土坑全景(北西から)



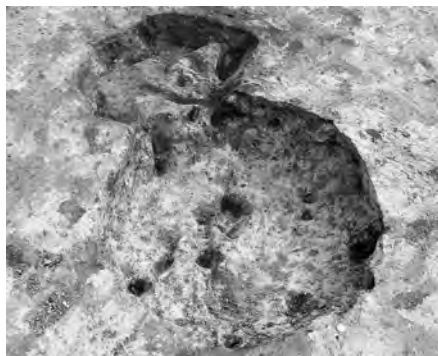
8. 92号土坑セクション(北西から)



9. 92号土坑全景(北西から)



10. 93号土坑セクション(北東から)



11. 93号土坑全景(北東から)



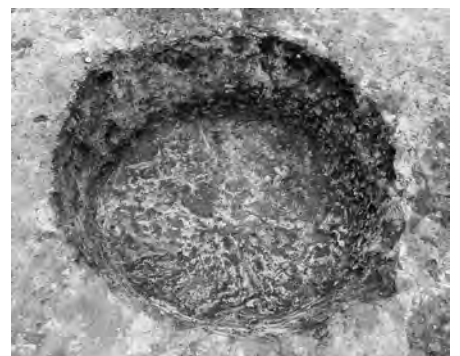
12. 100号土坑セクション(北東から)



13. 100号土坑全景(北から)



14. 103号土坑セクション(東から)



15. 103号土坑全景(東から)



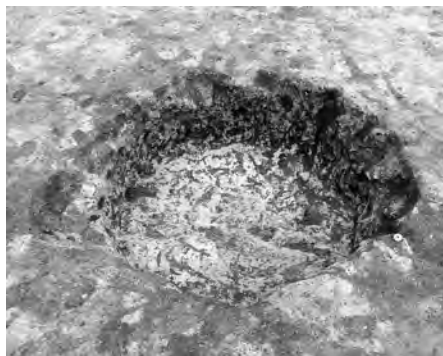
1. 105号土坑セクション(北から)



2. 105号土坑全景(北から)



3. 107号土坑セクション(北から)



4. 107号土坑全景(北から)



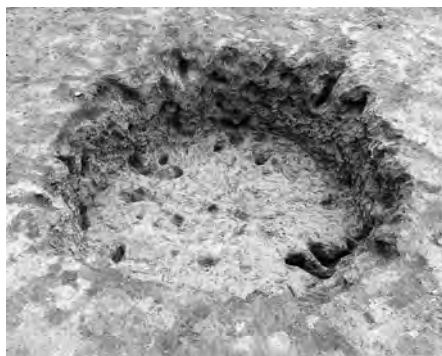
5. 114号土坑セクション(北から)



6. 114号土坑全景(北西から)



7. 115号土坑セクション(北から)



8. 115号土坑全景(北から)



9. 118号土坑セクション(北から)



10. 118号土坑全景(北から)



11. 119号土坑セクション(北から)



12. 119号土坑全景(北から)



13. 120号土坑セクション(北西から)



14. 120号土坑全景(北西から)



15. 121号土坑セクション(北から)



1. 121号土坑全景(北から)



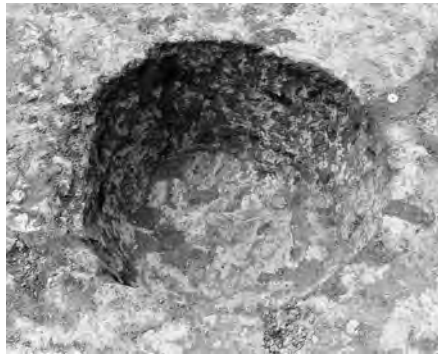
2. 124号土坑セクション(北から)



3. 124号土坑全景(北から)



4. 125号土坑セクション(北から)



5. 125号土坑全景(北東から)



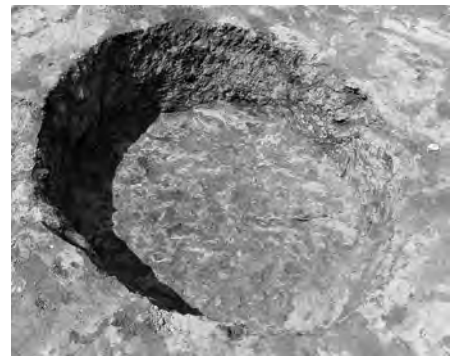
6. 130号土坑セクション(北から)



7. 130号土坑全景(北から)



8. 131号土坑セクション(東から)



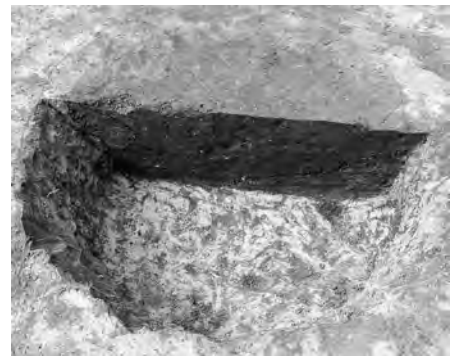
9. 131号土坑全景(北から)



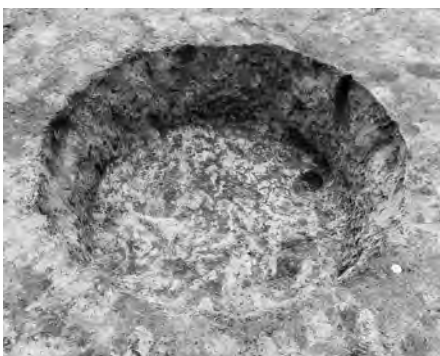
10. 132号土坑セクション(東から)



11. 132号土坑全景(北から)



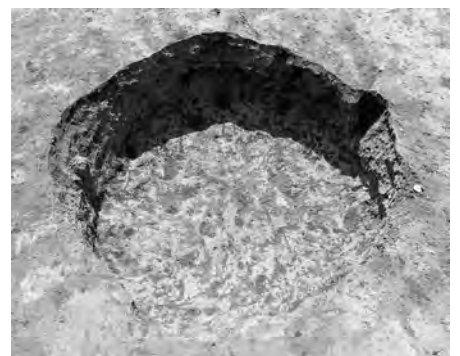
12. 133号土坑セクション(北東から)



13. 133号土坑全景(北から)



14. 134号土坑セクション(北から)



15. 134号土坑全景(北から)



1. 135号土坑セクション(北から)



2. 135号土坑全景(北から)



3. 136号土坑セクション(東から)



4. 136号土坑全景(北から)



5. 137号土坑セクション(北から)



6. 137号土坑全景(北から)



7. 138号土坑セクション(北から)



8. 138号土坑全景(北から)



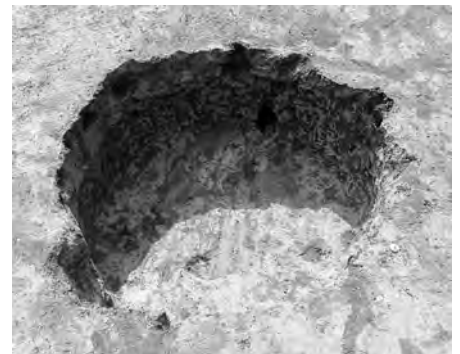
9. 139号土坑セクション(北から)



10. 139号土坑全景(北から)



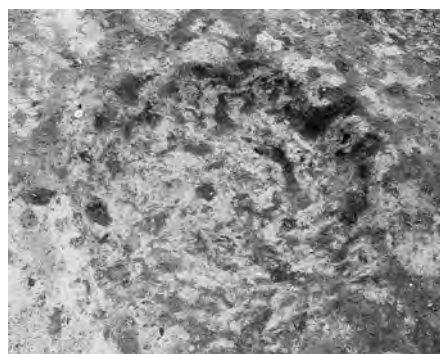
11. 140号土坑セクション(北から)



12. 140号土坑全景(北から)



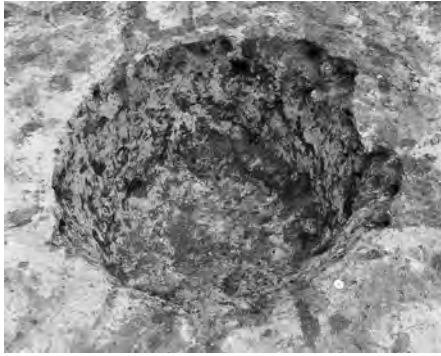
13. 141号土坑セクション(北から)



14. 141号土坑全景(北から)



15. 142号土坑セクション(北から)



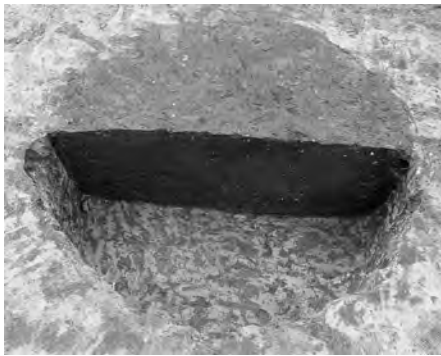
1. 142号土坑全景(南から)



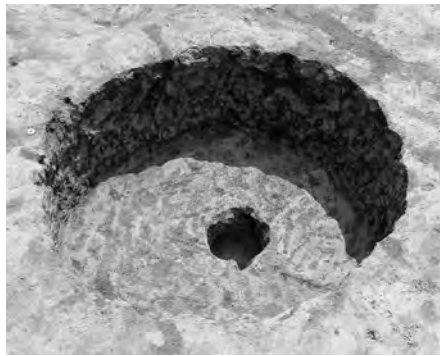
2. 143号土坑セクション(北から)



3. 143号土坑全景(北から)



4. 144号土坑セクション(北から)



5. 144号土坑全景(北から)



6. 146号土坑セクション(北西から)



7. 146号土坑全景(北西から)



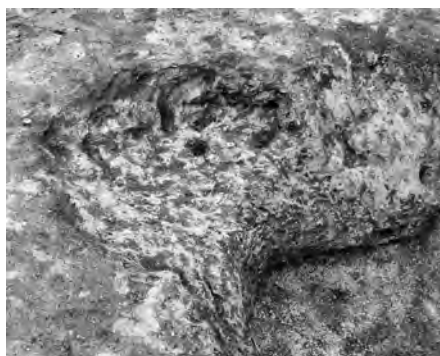
8. 150号土坑セクション(北東から)



9. 150号土坑全景(北から)



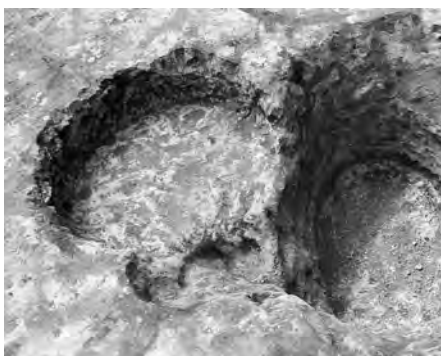
10. 151号土坑セクション(北西から)



11. 151号土坑全景(北西から)



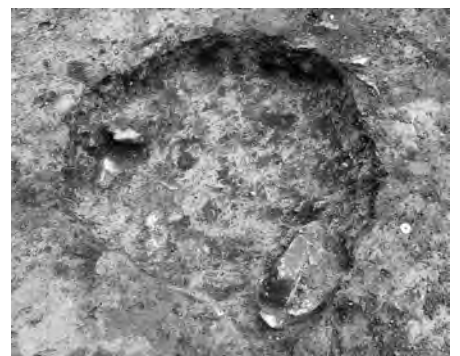
12. 154号土坑セクション(東から)



13. 154号土坑全景(東から)



14. 158号土坑セクション(北から)



15. 158号土坑全景(北から)



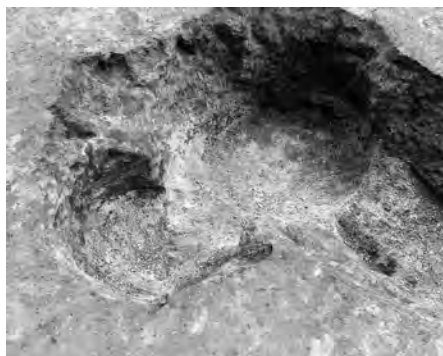
1. 168号土坑セクション(北から)



2. 169号土坑セクション(北から)



3. 169号土坑全景(北から)



4. 175号土坑全景(北西から)



5. 180号土坑セクション・全景(東から)



6. 183号土坑セクション(東から)



7. 183号土坑全景(北から)



8. 184号土坑セクション(北東から)



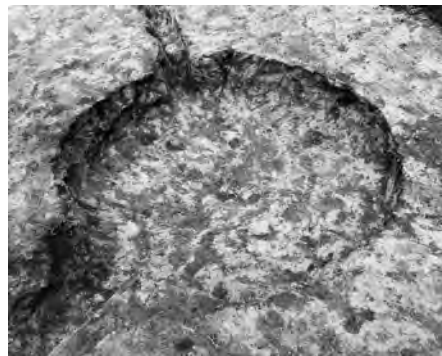
9. 184号土坑全景(北から)



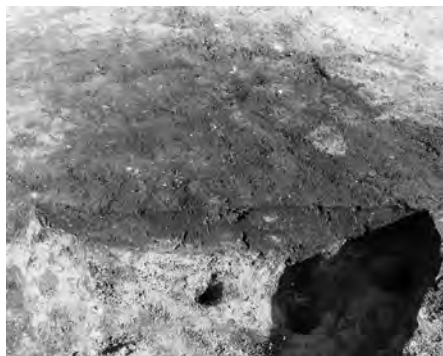
10. 185号土坑セクション(東から)



11. 185号土坑全景(東から)



12. 190号土坑全景(北から)



13. 10号土坑セクション(北西から)



14. 10号土坑全景(北西から)



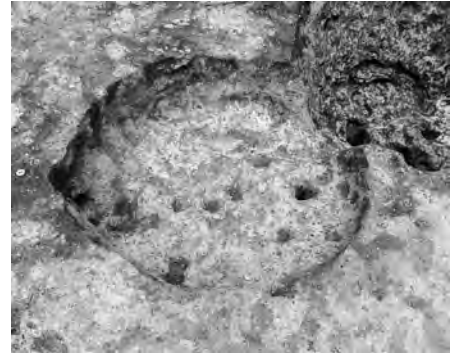
15. 12号土坑セクション(北西から)



1. 12号土坑全景(北から)



2. 19号土坑セクション(北西から)



3. 19号土坑全景(北から)



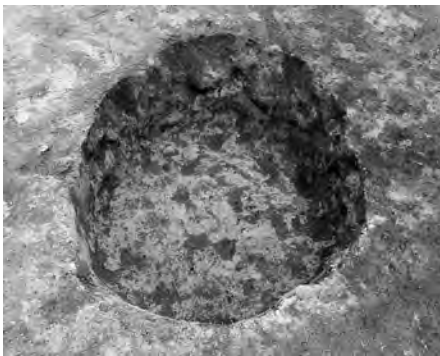
4. 20号土坑セクション(北西から)



5. 20号土坑全景(北から)



6. 26号土坑セクション(北東から)



7. 26号土坑全景(北東から)



8. 34号土坑セクション(南から)



9. 34号土坑全景(東から)



10. 35号土坑セクション(北西から)



11. 35号土坑全景(北東から)



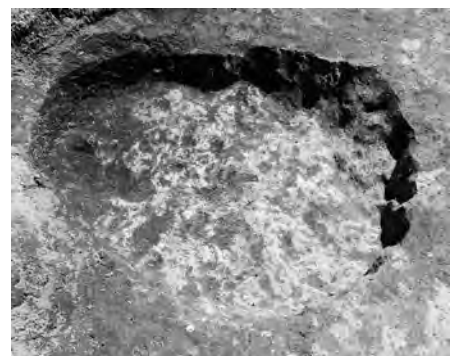
12. 41号土坑セクション(北東から)



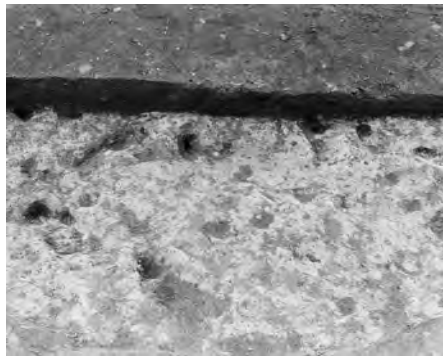
13. 41号土坑全景(北から)



14. 45号土坑セクション(南西から)



15. 45号土坑全景(北西から)



1. 82号土坑セクション(北東から)



2. 82号土坑全景(北から)



3. 86号土坑セクション(北東から)



4. 86号土坑全景(北から)



5. 88号土坑セクション(北東から)



6. 94・95・96号土坑セクション(北から)



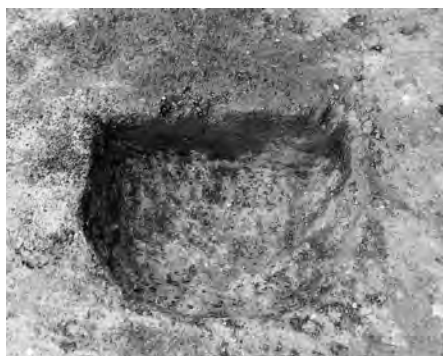
7. 94・95・96号土坑全景(北から)



8. 97号土坑セクション(北から)



9. 97号土坑全景(北から)



10. 98号土坑セクション(北から)



11. 98号土坑全景(北から)



12. 99号土坑セクション(北から)



13. 99号土坑全景(北から)



14. 101号土坑セクション(北西から)



15. 101号土坑全景(南東から)



1. 102号土坑セクション(北西から)



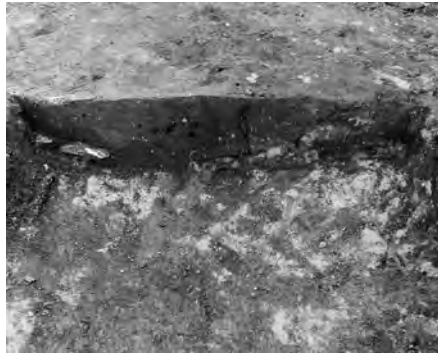
2. 102号土坑全景(東から)



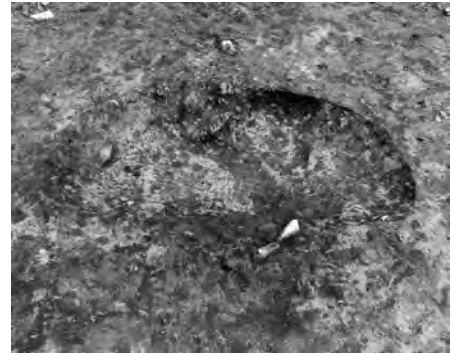
3. 102号土坑セクション(北西から)



4. 108号土坑全景(西から)



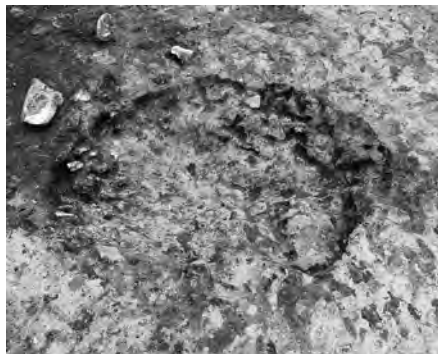
5. 109号土坑セクション(南西から)



6. 109号土坑全景(北から)



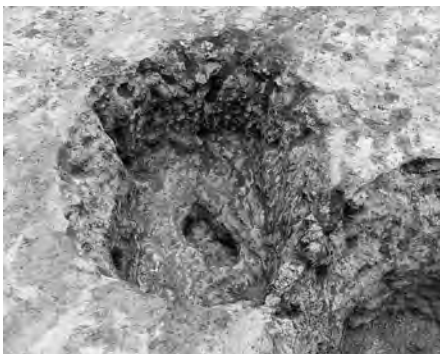
7. 110号土坑セクション(西から)



8. 110号土坑全景(北から)



9. 112号土坑セクション(東から)



10. 112号土坑全景(北東から)



11. 116号土坑セクション(西から)



12. 116号土坑全景(北から)



13. 145号土坑セクション(北西から)



14. 145号土坑全景(北東から)



15. 155号土坑セクション(東から)



1. 155・181号土坑全景(東から)



2. 162号土坑セクション(北西から)



3. 162号土坑全景(北西から)



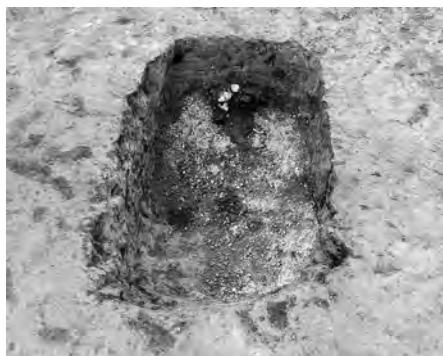
4. 163号土坑セクション(西から)



5. 163号土坑全景(北から)



6. 164号土坑セクション(北から)



7. 164号土坑全景(南から)



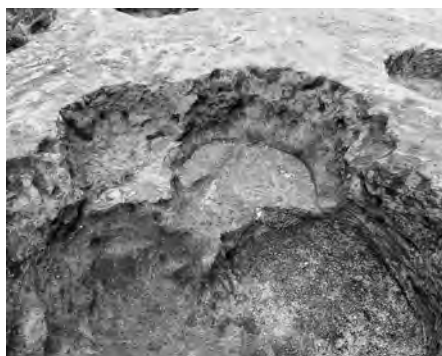
8. 165号土坑セクション(西から)



9. 165号土坑全景(東から)



10. 170号土坑セクション(北から)



11. 171・172号土坑全景(南西から)



12. 174号土坑全景(北から)



13. 176号土坑全景(北東から)



14. 177号土坑全景(北から)



15. 186号土坑セクション(東から)



1. 186号土坑全景(東から)



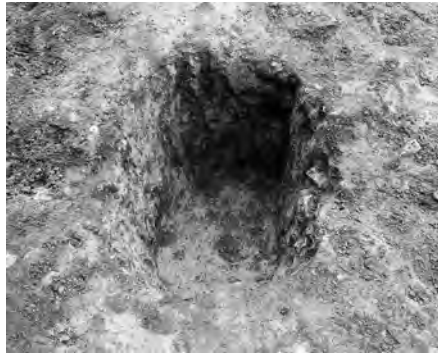
2. 187号土坑セクション(北東から)



3. 187号土坑全景(北から)



4. 188号土坑セクション(北東から)



5. 188号土坑全景(北から)



6. 189号土坑全景(東から)



7. 1号ピットセクション(北から)



8. 1号ピット全景(北から)



9. 2号ピットセクション(北から)



10. 2号ピット全景(北から)



11. 3号ピットセクション(北から)



12. 3号ピット全景(北から)



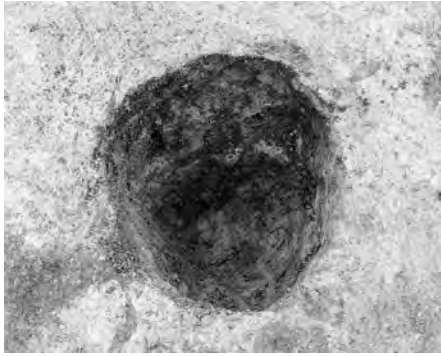
13. 4号ピットセクション(北西から)



14. 4号ピット全景(北から)



15. 5号ピットセクション(北西から)



1. 5号ピット全景(北西から)



2. 6号ピットセクション(北から)



3. 6号ピット全景(北から)



4. 1・2号縄文遺物集中全景(西から)



5. 1号縄文遺物集中出土状態(東から)



6. 1号縄文遺物集中出土状態(西から)



7. 2号縄文遺物集中出土状態(東から)



8. 表土掘削(北から)



9. 遺構確認作業(北から)



1. 土坑(陥し穴)掘削作業(西から)



2. 土坑掘削作業(西から)



3. 縄文遺物集中地点調査(南から)



4. 縄文遺物集中地点調査(西から)



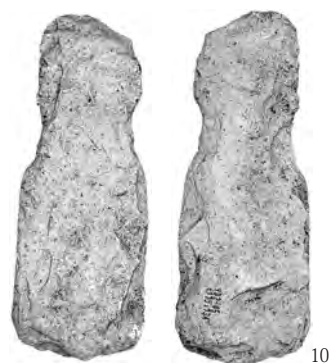
5. 測量作業(南から)



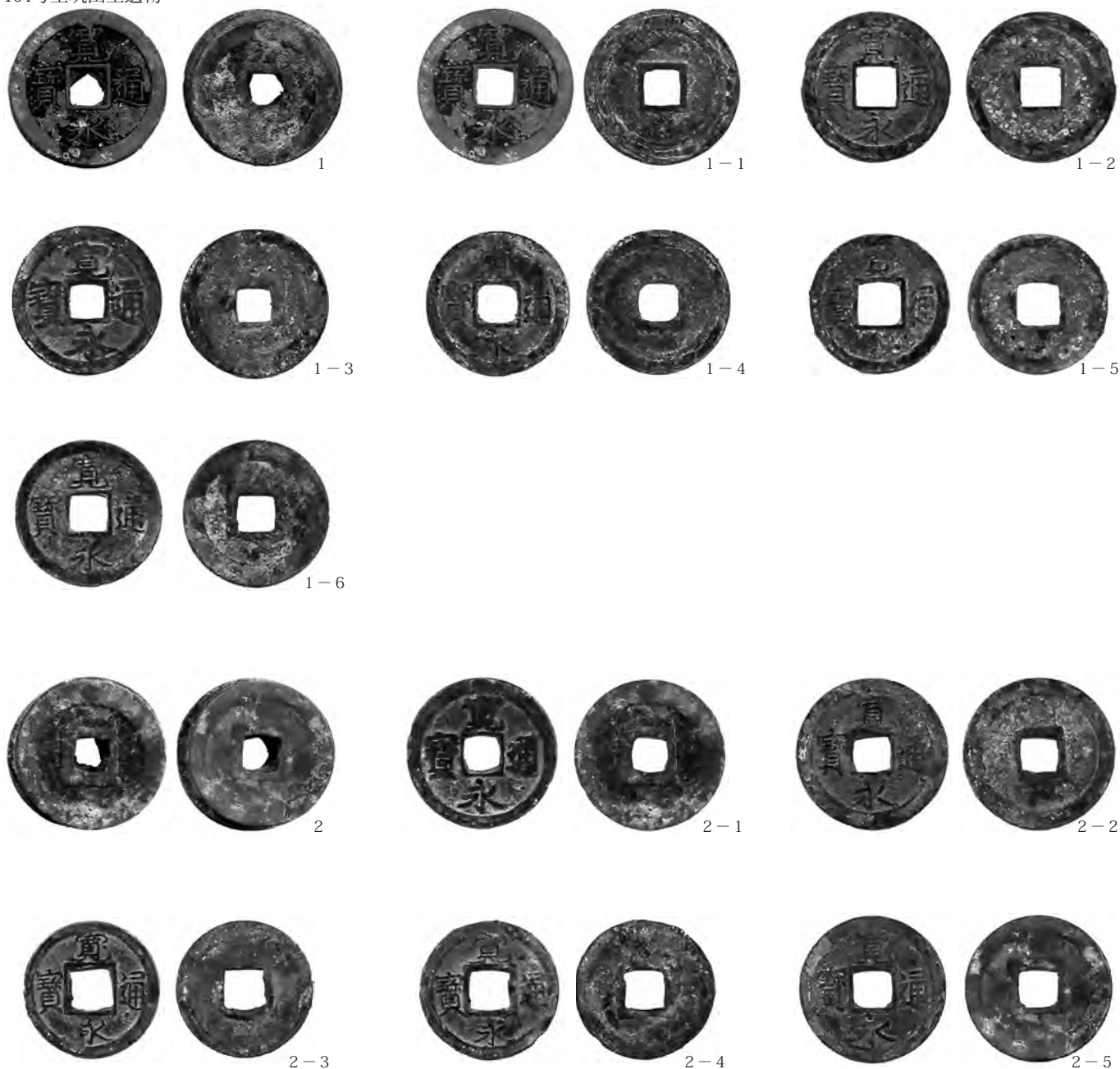
6. 竪穴住居調査(東から)

PL.30

遺物集中出土遺物



164号土坑出土遺物



70号土坑出土遺物



遺構外出土遺物



公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書 第639集

川原湯中原皿遺跡

ハツ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第59集

平成30(2018)年3月8日 印刷

平成30(2018)年3月15日 発行

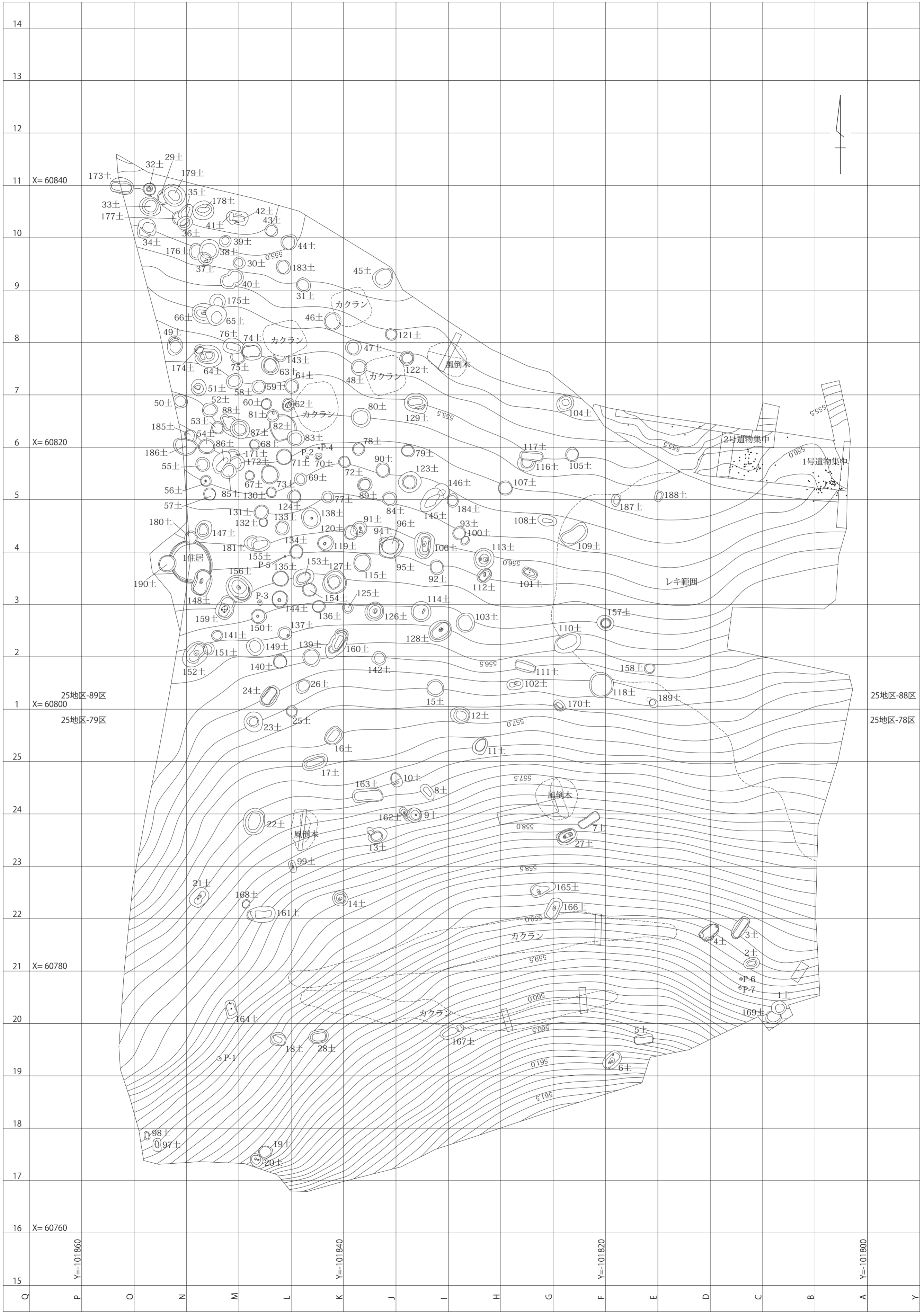
編集・発行／公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

〒377-8555 群馬県渋川市北橘町下箱田784番地2

電話(0279)52-2511(代表)

ホームページアドレス <http://www.gunmaibun.org/>

印刷／株式会社 開文社印刷所



川原湯中原Ⅲ遺跡 付図 川原湯中原Ⅲ遺跡全体図

